

会長のページ 医師不足問題と医療関係職種の業務分担の見直しについて	稲倉 正孝	3
日州医談 公益法人制度改革について(最終回)	立元 祐保	4
旅行記 スタンド・バイ・ミー	川野啓一郎	6
随 筆 祖父と戦艦金剛	柳田喜美子	8
がん(雁)と、かも(鴨)	松岡 弘	10
濱田不二雄先生を悼みて	貴島テル子	12
エコー・リレー(400)	沖 美和, 久保 浩秀	13
メディアの目 大震災への備え	千田 伸二	22
国公立病院だより(宮崎市立田野病院)	吉岡 誠	23
宮崎大学医学部だより(感覚運動医学講座 皮膚科学分野)	西田 隆昭	24
部会だより(園医部会)	先成 英一	25
診療メモ 自傷行為(リストカット)	古郷 博	68
叙 勲・祝 賀		14
表 彰・祝 賀		15
あなたできますか?(平成 19 年度医師国家試験問題)		19
宮崎県感染症発生動向		20
宮崎県医師会親善ゴルフ大会		26
各種委員会(定款・諸規定検討委員会)		28
第 30 回産業保健活動推進全国会議		29
都道府県医師会「地域医療, 保健, 福祉を担う幅広い能力を有する医師」の養成を 目的とする認定制度に関する協議会		31
日医 FAX ニュースから		36
医事紛争情報		38
薬事情報センターだより(259) 新薬紹介(その 21)		40
理 事 会 日 誌		41
県 医 の 動 き		45
追悼のことば		46
会 員 消 息		50
ドクターバンク情報		52
ベストセラー		55
読者の広場		56
行 事 予 定		57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		59
おしえて! ドクター健康耳寄り相談室		70
平成 20 年総目次		74
あ と が き		88
~~~~~		
お知らせ 診療報酬引当融資及び互助会基金引当融資の金利改定について		51
日医認定医療秘書養成制度の卒業生求職のお願い!		66
日州医事投稿についてのお知らせ		67
郡市医師会への送付文書		72
年末・年始の休館について		87

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品〕

### 和 顔 愛 語

延岡市 岡村 公子 作

和顔愛語(わがんあいご又はわけんあいご)は「無財の七施」に出てきます。菩薩行、六波羅蜜(布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧)の一つです。

岡村瑛翠先生(延岡市医師会長)に、墓碑銘のつもりで隷書で、とお願いしました。

身震いするような出来栄です。

何は無くとも、穏やかな微笑みと慈しみの言葉を忘れないように、拳々服膺して余生を送りたいと眺めています。 (県医師会顧問 秦 喜八郎)

## 会長のページ

医師不足問題と医療関係職種の  
業務分担の見直しについていな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 20年 10月 26日に開催された第 119回日本医師会臨時代議員会において、九州ブロックの嶋田丞代議員(大分県医師会副会長)が個人質問で「医療関係職種の業務分担と裁量権の見直しについて」提案された。重要な問題なので紹介する。

大分県立看護科学大学と大分岡病院は平成 20年 11月 11日、同大学病院修士課程で養成している NP:ナースプラクティショナー(高度実践看護師)が初期診察などの医業ができるように規制を緩和する特区を県内に設けるよう国に申請した。

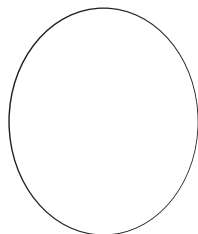
NP は日本では制度化されていないが、アメリカでは 40年以上の歴史があり、10万人以上の NP が医師と連携しながら医療、保健を支えている。医師にしか認められていない医業の一部を一定の条件を満たす場合に NP が行えるよう医師法等の規制を緩和することを要望している。具体的には、発熱、嘔吐、下痢などの初期診察と治療(各種書類の代筆、保健指導を含む)、症状が安定している高血圧、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患等の患者に対する継続診察と継続診療、継続診療を行った患者の死亡の確認と死亡診断書の作成、NP 学生が医療施設で医師の指導下に行う実習等 6 項目である。これらは、多くの医師の診療内容と変わらない。活動の場所は医師不足の病院外来及び医療施設不足の地域としているが、わが国の現状ではほとんどの地域が該当する。

経済財政諮問会議では「医療と医療従事者の業務分担の見直し」の観点から「麻酔専門看護師」の導入、歯科医による「医科麻酔」の解禁、正常分娩における助産師の活用などが議論されている。病院団体の代表や大学教授の発言でも目先の事のみ考えての賛成意見が見受けられる。

医師不足を医療関係職種の業務分担の見直しや裁量権の拡大で補おうとしても、医療の質の低下と混乱を招くだけである。疾病、医療の全体像を理解できるのは医学教育をきちんと受けた医師のみである。医師不足に対しては、時間・費用をかけて実力のある立派な医師を養成すべきである。チーム医療では熟練したリーダー医師の下に十分に訓練された多職種医療スタッフが一致協力して、お互いの職務を果たし、尊重し合いながら連携を深めることによって、はじめて医療の質を確保し、医療事故を防止し、医療の効率化を図ることができ、安心・安全の医療が可能であると考えられる。

(平成 20年 11月 25日)

## 日州医談



## 公益法人制度改革について( 最終回 )

常任理事 たつもとすけやす  
立 元 祐 保

前回まで、公益法人制度のあらまし、公益認定を受ける条件やメリットについて述べてきました。最終回の今回は医師会が公益認定を受けの際に直面する諸問題点について述べます。

## 1. 現在の代議員制度は認められるのか

現行制度では理事会や代議員会などは主務官庁の指導監督や法人の判断により置かれている任意の機関でした。しかし新制度においては法律の定めるところにより社員総会、理事、理事会、幹事が必要です。現行制度では会員( = 社員 )の中より代議員を選出しますがこれは認められません。移行後は会員( ≠ 社員 )と言う資格を設け、会員の中より社員( = 代議員 )を選出することになります。新制度で代議員制度をとる場合には以下の5要件を満たす必要があります。

- 1) 「社員」( 代議員 )を選出するための制度の骨格( 定数、任期、選出方法 )が定款で定められていること。
- 2) 会員に、代議員選挙の選挙権及び被選挙権が等しく保証されていること。
- 3) 代議員選挙が理事及び理事会から独立して行われること。
- 4) 選出された「社員」が責任追及の訴え、社員総会決議取り消しの訴えなど、法律上認められた各種訴権を行使中の場合には、その間当該「社員」の任期が終了しないことと定めること。
- 5) 会員に社員と同等の情報開示請求権など

を付与すること。

## 2. 医師会病院など共同利用施設事業は公益と認められるか

これについては何回か日医と公益認定等委員会事務局において話し合いが持たれ、現場の視察やヒアリングが行われました。その結果現状では、開放型病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等は公益性について一定の理解が得られているようです。しかし、臨床検査センター、健診センターは難しいようです。

要は一般事業者との違いをどう説明し、理解してもらうかが課題となります。

一般論としては 不特定多数の利益増進への寄与、 受益の機会の公開、「質」を担保する仕組み、 特定の者の利益になっていないこと、等がしっかり説明できれば良いということになります。

具体的な方法としては、運営委員会等に住民や行政を参画させる、利用者を制限しない、最後のセーフティネットとして重症患者を差別しない、24時間いつでも診る、データベースを蓄積解析して公益的利用に供する、医師会の特質を生かし地域連携を行う、などが考えられます。

## 3. いわゆる「3分の1要件」について

新制度では、公益法人においてはその役員( 理事・監事とも )の3分の1以上が他の同一団体の役員を兼ねてはならないと定められて

います。

宮崎県医師会では役員の多くが医師協同組合や医師連盟の役員を兼任していますが、これは認められないことになります。

ところで「他の同一団体」には法人格を持たない任意団体も含みます。また協同組合、医師連盟などは当然「他の同一団体」に該当されますが、公益法人は含まれません。

#### 4. 「収支相償」の問題

医師会が公益認定を受ける上で、意外と大きな障壁となりそうなのがいわゆる「収支相償」の問題です。収支相償については前回説明しましたが大雑把に言うと「公益目的事業は中期的にみて収支トントン」でなければなりません。

「収支相償」は2段階で定められています。第1段階で事業ごとに収支相償を満たし、さらに第2段階として法人の公益全体で収支相償を満たす必要があります。従って恒常的に利益が出る事業がある場合、

1) それが収益・共益事業である場合、

(1) 利益の2分の1以上を公益目的事業に繰り入れる必要があります。

(2) 例えば健診センターの利益を建て替え資金に積み立てている場合、利益の2分の1を公益に組み入れて、それでもやって行けるか？

2) 一方、公益目的事業である場合、

(1) 個々の事業ごとに「収支相償」を満たす必

要がありますので、利益を出して、他の公益事業の財源を補填することは出来なくなります。

(2) また公益目的事業が会費収入等で概ねまかなえている場合、収益事業から利益の2分の1を繰り入れたことによって、公益目的事業が恒常的に黒字になることはないか。

等がクリアすべき問題となります。ここで2)の(1)については、利益のある公益事業と赤字の公益事業を一つの事業として「収支相償」の要件を満たすことは可能です。

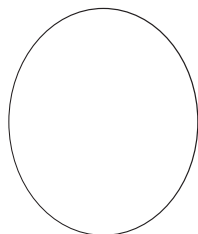
#### 5. 終わりに

以上「公益法人制度改革」について、その概要を3回に分けて説明しました。公益法人である医師会は12月1日から自動的に特例民法法人になりました。今後5年以内に一般法人に移行する必要があります。移行手続きの際同時に公益認定の申請をするか否か重大な判断を迫られますが、まだ不透明な要素も多く方針を決めかねている郡市医師会も多いと思います。

とりあえずは一般法人への移行をしておいて様子を見て公益認定を受けるのも、現実的な選択なのかもしれません。公益認定の申請には5年という制限はありません。

( 終わり )

## 旅 行 記



## スタンド・バイ・ミー

宮崎市 まつばし川野整形外科 かわ の 野 啓一郎 けいいちろう

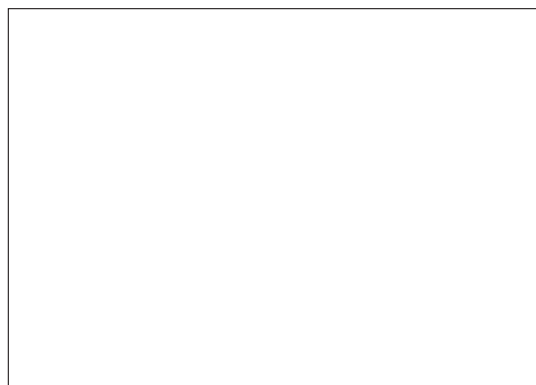
私がかつて若者だった頃、暇を見つけては国内のひとり旅を楽しんだものだった。当時は旅の行程もしっかり定めないことが多く失敗もそれなりにあった。

ある時、急に思い立って長崎県の対馬に渡ったことがある。巖原の港に着いて初めて、目的の小茂田浜までの公共の交通機関がないことを知り、仕方なくヒッチハイクをすることにした。運良く農家の若奥さんが運転する軽四輪トラックが止まってくれて安心したのも束の間、しばらく走った所で急に「ギアが外れた」との叫び声と共に車は停止してしまった。「ギアが外れた」という新しい状況に私自身判断がつかないでいると、その若奥さんは丁度傍を通ったタクシーを止め、「これに乗りなさい」と言う。私は旅先ではタクシーを使わないという信条であったので丁寧にお断りをするも、無理やりタクシーの中へ押し込まれてしまった。これでは戻りしかない。車中でがっかりしていると、タクシーの

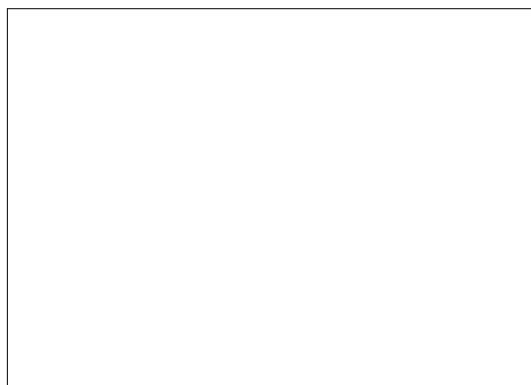
運転手がバックミラーにちょっと目をやりながら、「さっきの人はうちの社長の娘さんですわぁ」とおっしゃった。結局タクシーをヒッチハイクする結果となってしまった。

あれから 30 年以上、頭の中にはリベンジの文字がちらついていて。ようやく今年のはじめ、折りたたみ式自転車を手に入れることができ、時機到来と感じた。お盆休みを決行の日と定め、近隣を走り回りトレーニングを積みながら情報を収集した。走り回ってはじめて折りたたみであるが故の欠点に気付いた。7.5kg と軽量である事と、12 インチの小さな車輪、前後ともリムブレーキである為、カーブや下り坂に際し、危険性があることが分かり不安を感じた。しかし練習期間中に転倒は、雨上がりの日に 1 回だけで、それも両膝、左手の擦過創程度ですんだのは幸いだった。

いよいよ決行当日、宮崎空港の JAL の手荷物カウンターでは思った以上に「取り扱い注意」の



福岡空港より港への国道 3 号線路上にて



小茂田浜にて

荷物を丁寧に取り扱いってくれて安心したが、しっかりと「破損しても賠償請求はしない」という誓約書も書かされてしまった。

博多港からは、「ニューつしま」というフェリーに乗船し、23時40分出航。お盆の期間中で大混雑であった。夜中の2時に壱岐の芦辺に寄港し、対馬の巖原港に着いたのが早朝4時10分、外は真っ暗であった。待合室にて販売機から缶コーヒーを買ってきて、前日、博多のコンビニで買っておいしたパン3個を朝食として食べた。5時半頃より外が明るくなり始めたため、自転車を組立て、出発の準備をした。6時丁度にスタート。コースは島を横断する形で巖原から山を越えた小茂田の港までの片道約20kmである。幸い、雨の心配は無い。

しばらくは平坦な道だが徐々に登り坂となりスピードが落ちる。厳しい登りではやむなく自転車を降り、押しながらの登りとなる。インターネットの地図で下調べしたようにそう楽では無い。途中、山水が流れ出ている給水場を見つけ顔を洗う。夏の暑さがこたえる。汗をびっしょりかくので、熱中症に注意しながら所々で休みを取りリュックに入れてきた3本のスポーツドリンクと宮崎から持ってきた「熱中アメ」を補給する。熱中症ばかりでなく、操作ミスによる、転倒事故や自動車との接触事故、はたまた崖からの転落事故等心配のタネはいくらでもある。とにかく医者としてみっともないマネはできない。山道で休んでいると、野鳥やミンミンゼミの鳴き声が身近に聞こえ遠くには低い山並の向こうに東シナ海が目に入ったが楽しんでいる余裕は無い。むしろ、小さな羽虫やアブがまとわりつき、振り払うのに参ってしまう。果ては毛虫まで腕を這い回り、慌てて払いのけた後にリンデロン軟膏をぬる始末だ。

更に前進を続け、ようやく「上見坂」の標識が見えるようになり、やがて坂の頂上に到達。後は下り坂、ブレーキ操作に注意しながら車のコー

ス取りのような巧い走りができたため、かなりの距離の下り坂を予定以上の短時間で下ることができた。

小茂田到着8時10分。30年以上前に目指し、到達を断念せざるを得なかった場所ようやく立てたという達成感を感じた瞬間であった。

浜に立ち海をながめながら、遠い昔、元の軍勢が押しよせて来た様を想像してみた。しかし若い頃の自分がなぜここを目指したのか？80年の昔、3万という圧倒的な軍勢を前にわずか80騎と少数の手勢で迎え撃った宋助国に興味を持ったためなのか？よく思い出せないまま、現在では平和でのんびりした風景となっている小茂田浜や漁港の周辺を走り回り9時10分帰途に着いた。帰りも同じ道を戻り、今度は登りと下りの苦労が逆になった。巖原の港に帰り着いたのが、11時30分。5時間半の小旅行であった。

その夜は博多に戻り、宿で体を休めた。ひとりビールで乾杯したのは言うまでもない。

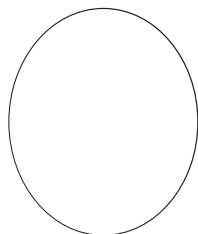
翌日、宮崎空港に着陸した後は、220号線を北上し、一気に自宅まで突っ走るつもりであったが、橘橋の手前で、ふと徒然草の「高名の木登り」の話を思い出し、ここは慎重に、自転車を止めた。リュックを下ろし、ダラダラ流れる汗を拭き、スポーツドリンクを500ml補給し、安全を期して再出発。

橘橋を渡りながらようやく「無事、帰って来た！」という実感が湧いてきた。アメリカ映画で、少年たちの夏休みの冒険を描いたほほえましい映画があるが、私なりに、いくつになっても冒険心は持ち続けたいと思っている。橋の上でペダルをこぎながら頭の中には、その映画の主題歌が流れてきた。

自宅の門をくぐり、出発前に「無謀だ！」と言っていた家内や子供達に対し、思いっきりガッツポーズ！

還暦を前にしたひと夏のささやかな冒険旅行であった。

## 随 筆



## 祖 父 と 戦 艦 金 剛

都城市 柳田病院 ^{やなぎ た き み こ} 柳 田 喜美子

さかのぼれば 10年程前のことになる。私は戦中派世代であり、それ程激しく戦争に接した世代ではない。戦争の恐怖は知っているが、特に戦艦に深く興味を抱いている者でもない。しかしこの戦艦に大きく関わらざるを得ない人がいる。祖父(母方)である。祖父は明治 8 年の生まれで、都城小学校から鹿児島高等造士館に入学し、明治 29 年熊本第五高等学校に入校、同 32 年京都帝国大学工学部機械工学科に入学し、同 35 年卒業と同時に長崎三菱造船所に入社した。その当時の日本海軍は 190 年計画の国産弩級戦艦河内型を建造中であつたが、構想や技術的に欧米に劣る点が多く認められた。そこで戦艦「金剛」が建造されることになった際、日本海軍初の超弩級巡洋艦として発注先は技術導入を兼ねて英国のヴィッカーズ社に決まり、依頼されることになった。戦艦金剛は大正初期に竣工した巡洋戦艦で、その高速性能を活かし、太平洋戦争で活躍した代表的な日本海軍の戦艦で、戦艦の中では最も美しくバランスのとれたシルエットを持っていたと記載されており、又写真でも見ることが出来る。のちの日本海軍連合艦隊の旗艦になったが、装甲鋼板にはヴィッカーズ社の特殊鋼板「VC 鋼板」が使用され、改装の際ドリルで穴をあけようとしても、国産のものはやすやすと通ったにもかかわらず本艦だけはドリルが折れてしまうことがあったという。当時三菱造船所にいた祖父は大正元年、命を受けて造船業を

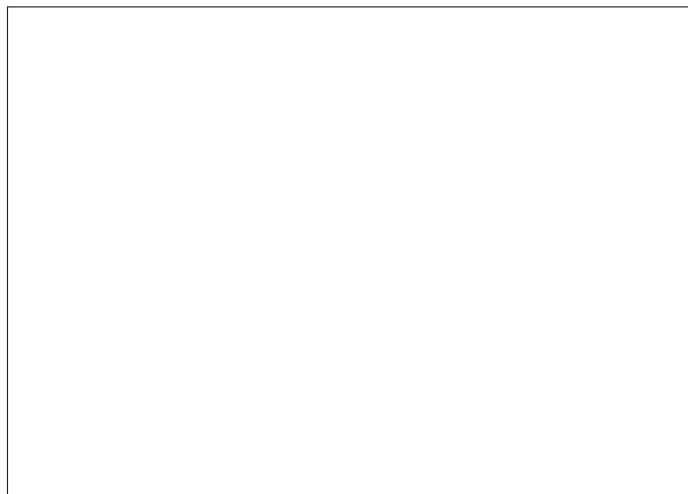
見学、この戦艦金剛の製作監督として英国に出張することになったのである。その後ドイツ、フランスを視察して同 2 年 2 月帰朝した。

このことは当時、何の目的で英国に出張するのか家族にさえ箝口令が敷かれており、当時の日本の軍事機密であつた。あとで祖母の手紙のなかに書かれていた。その後祖父は昇進し、勇退して悠悠自適の人生を送つたが、明治百年都城人物誌には資性重厚謹厳な人柄であつたとつけ加えられている。又、宮崎県の旧国名を名づけた戦艦「日向」他の設計にも関わつた。戦艦「日向」も長崎三菱造船所で 1915 年 5 月 6 日起工、1917 年 1 月 2 日進水、1918 年 4 月 30 日就役とある。超弩級戦艦として誕生し、最強を誇つた戦艦は防御力においても優秀な設計であつたと記されている。祖父のルーツを辿るべく、三菱造船所の赤レンガの資料館へと足を運んだことがある。80 歳位の係の方がくわしく御存じで説明を受け、進水式で祖母も出席している写真まで保存してあるのを見ることが出来、何だかタイムトンネルにはいっているような気がした。後日当時の資料も送って戴き、新たな感慨を覚えた。

一方平成 12 年豪華客船といわれる「飛鳥」が宮崎日日新聞 60 周年記念事業の一環として宮崎港に寄港し、小豆島を巡る 2 泊 3 日の船旅が企画された。船好きの主人に誘われ、この小旅行に出かけた。特室であつたためか大変な歓迎を受け、船長自ら案内してくれた。その際の会話の

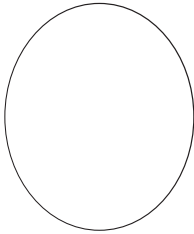
やりとりであるが『この客船は、殆んど揺れを感じませんね』と問いかけると、「これは長崎三菱造船所で建造されたもので元良さんという方が横ゆれ防止を発明されたからです」とのこと、どこかで聞いた名前だと思った。母が昔の手紙を整理していた際、祖父の退官の時、見送りにこられた方々の名簿を見つけ、見せてくれたが珍しい苗字が最初に書かれていたので記憶に残っていたからだ。早速母に報告、確認した。まさ

にその人だった。祖父の部下であり後に長崎三菱造船所長になった方である。不思議なえにしがあるものだと思った。諸外国で造船技術を学び戦艦の製作監督に関わった者としても、祖父の当時の心情を思い、いつの日かヴィッカーズ社を訪れ、そのルーツを再び辿りたいと思うと同時に一医師となった私はどうてい祖父のような緻密な才能を持ち合わせていなかったとしきりに思うこの頃である。



飛 鳥

## 随 筆



## がん(雁)と、かも(鴨)

日向市 松岡内科医院 まつ おか ひろし  
松 岡 弘

冬の訪れとともに川には鴨が浮いている。一方あまり見なくなはなったが、少年の頃には初冬の空に、へんの字やノの字を描いて空高く飛ぶ、拾数羽の雁の群れを年長の青年に教えられた記憶がある。しかし果たしてその編隊は雁だったのか鴨だったのか。

雁と鴨とはどう違うのか。雁には詩歌文芸の趣きを感じ、鴨には宴会の匂いを感じる。前漢の武帝に北方匈奴に使いさせられたが、その儘19年間も抑留されていた蘇武は雁の足に手紙を託して、己の無事を家郷に知らせることが出来たとされ、「雁の便り」の故事が伝えられる。

日向市中心部のやや南に河口の水流幅は50米程の小さな二級河川が流れ、その河岸にゴルフのミニコースが作られている。冬には数十羽の鴨が浮遊している。その中に頸の色が特に綺麗なのが何羽か混じっている。誰かがオシドリだと叫ぶ。オシドリを見たことも無い我われは「うんオシドリだ」と同調する。後日誰だかに「赤岩川にオシドリが居るよ」と伝えたら、「オシドリは河口には居らんよ、山間の湖沼や溪流などにしか居らんよ」と教えてくれる。道理で、街の野鳥写真家に「川にオシドリが居るぞ」と言っても、その写真家は腰を上げなかった訳だ。

三省堂大辞林を引っ張ることとなる。ガンはガン・カモ科の水鳥で、ハクチョウ類に次いで大きい。雌雄ともに地味な色で水辺に住む。日本における代表的な渡り鳥で、秋、北方より渡

来し、春、北に去る。飛ぶときはV字形などの編隊を組む。かり、かりがねと言うとある。カモはガン・カモ料のうちハクチョウ類・ガン類・アイサ類を除いた物の総称で、中型の水鳥であると。雄は一般に派手な色合いで、雌は地味な茶褐色が多い。ガン類は雌雄ともに地味な茶褐色であると。カルガモは留鳥で他は冬鳥であるとある。

マガンと言う鳥とマガモと言う鳥が区別されている。大辞林によれば、真雁はガン・カモ科の水鳥で全長75センチほどで、全体が褐色、腹に黒色の縞模様がある。日本各地に冬鳥として渡来する。近年減少している天然記念物であると。真鴨はガン・カモ科の水鳥で全長60センチ程、雄は頭部が緑色、胸が栗色で首に白い輪がある。雌は地味な褐色。池や海上などに群れて休み、主に夜間に餌をとる。日本各地に冬鳥として渡来する。肉は美味である。雄は「あおくび」ともいう。

何のことはない。オシドリと言って騒いだのは、マガモの雄「あおくび」だったのだ。ガンの方がカモよりも少し大型か。遠距離を渡るのに必要か。

「かりがね」の項を大辞林で調べる。“ガンの鳴き声”とも記され、“ガンの別名”とも記されているが、全長60センチ程で、マガンに似るが、やや小型で顔の白色部が多いと記される。日本にはマガンやヒシクイの群れに混じって稀に冬鳥

として渡来するとある。「かり」と「かりがね」とは同一の鳥か、別物の鳥かとの疑問がうかぶ。

成美堂出版の野鳥観察図鑑 2,000円なる本を眺めてみた。似たような記載である。オシドリは雄は相当な綺麗さがある様だ。オシドリは水生昆虫も食べるが、主に植物食で、草木の実、とくにドングリを好むと記される。なるほど、山間の湖畔が好みの避寒地か。また、マガモが飼育されてアヒルになったと記されている。

伝書鳩はその帰巢本能を利用したものと聞いてはいたが、雁の足に託した手紙が目的地に届く確率は微塵のものであろう。蘇武は前漢の時代の人であり、紙の発明者とされる蔡倫は後漢の人であるから、「雁の便り」の説話は眉唾のことであろうか。インターネットの蘇武の項を開いて見たが、「雁の便り」についての記載は見当たらない。

追記：以上の文章は正しいかどうか、と言うことで、この文を千葉県我孫子市の山階鳥類研究所に送り添削をお願いした。約 40日後にご返事を頂いた。その要約は、

「ガン・カモ科」の呼称は 2000 年以後「カモ科」と呼ばれていること。

大型の鳥が遠距離を飛ぶのに有利とは言い切れないとのこと、長距離を飛ぶことで有名なキョクアジサシは全長 33~ 36センチの中型の鳥であると。

三省堂大辞林は「かり」と「かりがね」を混同しているのではないかと要旨であったと理解する。良くは理解できないが、「かりがね」とは雁の鳴き声のことの様であり、「かりがね」と言う鳥は居ない様に読み取れる返事であった。ということは、大辞林の記述は誤りと言うことか。

一方成美堂の野鳥観察図鑑には「かりがね」の鳥のカラー写真が載っているし、「かりがね」についての解説は大辞林の記述とそっくりである。

## 随 筆

## 濱田不二雄先生を悼みて

宮崎市 貴島小児科 ^き貴 ^{しま}島 ^{て る こ}テル子

長らく意識不明が続いているとのことでお見舞いも控えていた矢先の訃報に驚き残念で一杯の思いだった。

私が医師免許を取って初めて勤めたのが県立日南病院だったが、そのとき日南の病院の婦人科に先生はお勤めでした。先生とは、私の主人とは従兄弟の関係だし主人の弟、私の弟とは宮中同期生で其の様な関係で私にとって初めての勤務でも心強かった、いろんなことを思い出していた。

ある夜 1歳の娘が転び回って腹痛を訴えて来院と私は起こされ診察？すぐ分娩と濱田先生を起こしてもらった。先生が診察間もなく「オギャー」と産声が出てきた。母親は驚きそそくさとあわてて飛び出して産着などを買いに出て行った。父親は怒り心頭に上り大騒ぎになったことがあった。

当時一緒に勤めた吉賀先生からお話があり、友清先生、濱田先生と私とで、昔話をしようじゃないかと言われたまま実現はしないままだった

が、今考えると残念だったと悔やまれます。

アルバムを繰ってみるといろんな事が思い出される。いつぞや「しのめ」に出した一枚の写真、それは海軍予備学生当時の主人が夏休みも終わり帰隊するのを宮崎駅に見送りに来て頂いたとき、或いは一ッ葉浜で催されたいとこ会に主人は私を紹介するために連れて行ったことがあるが、此の時主人の父が結婚もしていないのに連れて行くなどと怒っていたと後で聞かされたが、このときの写真にも濱田先生は学生姿で私どもの横に写っていらっしゃる。

私が開業して間もなく先生が見えて「テル子さん、貴女医師会入会金納めていないそうじゃないか、どうも公衆衛生から来た人はそんなことが多いそうだよ」と、とんでもない私は入会と同時に入れましたよと言ったことがありましたが、親戚だけに何かとご心配をおかけしたことと思います。今改めて感謝しています。

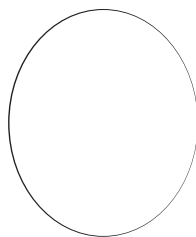
次々と親しい方々が亡くなり心寂しい昨今です。

## エ コ ー ・ リ レ ー

( 40回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 土 鍋 の ご は ん

小林市 沖内科・小児科医院 おき 沖 み 美 わ 和

我が家の炊飯器が壊れた。  
最近のものはとてもいいとは  
聞いていたが、土鍋を使って  
みることにした。三千円弱の  
その炊飯用の土鍋は、真っ黒  
で重くて、まあくぼってり  
として、二重のふたがついて

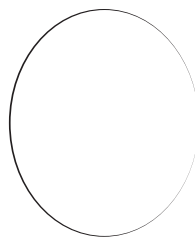
いる。お米を入れて、水を線まで注ぎ、ふたを  
2つしてコンロに置く。コンロはセンサー付き  
で自動でごはんが炊けるので、スイッチを入れ  
れば火加減の調節は不要である。蒸らしまで含  
めて30分強でごはんが炊ける。

こんな単純作業なのに、毎日ごはんの炊きあ  
がりが違う。最初は蒸らす加減がわからず、お  
こげが鍋底にこびりついてしまった。しゃもじ  
で取れず、食べる分が少なくなってしまった。  
説明書を読み返し、火力を弱めにしてみたり、  
水を多目に入れてみたり…。家族には「ベチャベ  
チャだあ」や「おこげが硬くて多すぎ」等と不平を  
言われながら、ようやく少々のおこげにふっく  
らごはんが炊けるようになってきた。

タイマーはないので、朝早く起きてスイッチ  
を入れる。でも、スイッチさえ入れたら、ぼっ  
かりと暇な時間ができる。眠い時はもう1度布  
団に戻るが、この時間が意外と楽しい。ストレッ  
チをしたり、念入りに顔の手入れをしてみたり  
…。書類を整理する事もある。朝が弱い私だが、  
おいしいごはん楽しい時間は周りの予想に反  
して続いている。寒い冬の朝が来るので、不安  
と言えば不安なのだが、無理のない程度に頑張っ  
てみようと思う。

〔次回は、清武町の山崎俊輔先生にお願いします〕

## 旅 行 の 楽 し み

日向市 今給黎医院 く 久 ぼ 保 ひろ 浩 ひで 秀

最近持病の首の痛みが再  
発し、唯一と言っていた楽し  
みだったバドミントンもでき  
なくなり、無趣味な自分に拍  
車がかかってきている。

学生の頃ば「温泉同好会ゆ組」  
に入っていたこともあり、自

治医大近辺の栃木、群馬、岩手、山形、秋田な  
どの温泉にしばしば行っていた。旅行の楽し  
みを知り、学生の頃は、中国に2回、ヨーロッ  
パに1回、1人旅をした。と言うとリッチな学  
生時代と思われるだろうが、例えば中国4日間の  
旅では、交通費、宿泊費、食費、おみやげ代全  
て込みで15万円程度であった。典型的な貧乏学  
生旅行である。その中国はカルチャーショック  
と驚きの連発であった。苦労も多かったが楽し  
かった。マスコミを通じて知る限り最近の中国  
は私が旅行した頃とは随分変わったようで、旅行  
者としては多少面白みがなくなったかもしれない。  
ヨーロッパは中国よりもお金がかかったが、  
スペインなどでは1泊1,000円以内で済ませるこ  
とができた。1か月あまりで総額40万円程度だっ  
たと思う。卒業してからは長期の休みがとれな  
くなり、主に国内旅行になったが、新婚旅行は  
特別に1週間以上休みをいただき、オーストラ  
リアに行った。

最近1年に1回の北海道里帰りツアー以外  
は、めっきり旅行にも行かなくなってしまっ  
たが、近場の温泉には家族で時々行く。私が行  
った中では、県北は北川の祝子川温泉、県南はえ  
びの高原露天風呂がお勧めである。いずれも露  
天風呂からの眺めが素晴らしい。

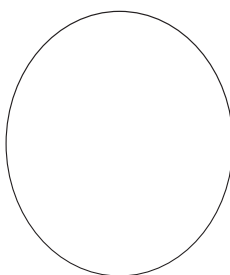
〔次回は、宮崎市の後藤 崇先生にお願いします〕

叙勲・祝賀

旭日小綬章( 保健衛生功労 )

はた 秦      き はちろう 喜八郎 先生 ( 宮崎 )

秋の叙勲において旭日小綬章を綬章されました。衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



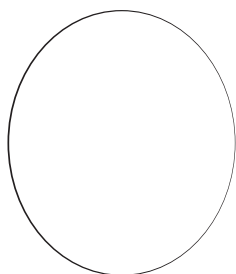
秦 先生

## 表彰・祝賀

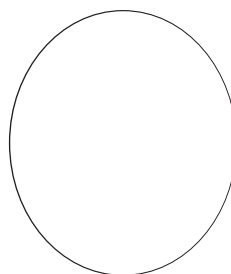
## 国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

はた 秦 先生（宮崎）  
おち 落 先生（延岡）  
あひ 合 先生（宮崎）  
たかし 隆 先生（延岡）

10月 20日，東京において国民健康保険関係功績者として厚生労働大臣  
表彰をお受けになりました。今後ますますのご活躍を祈念いたします。



秦 先生

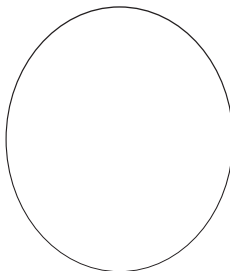


落合 先生

## 精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰

む 武 先生（宮崎）  
とう 藤 先生（宮崎）  
ひとし 仁 先生（宮崎）

10月 24日，和歌山市において精神保健福祉事業功労者として厚生  
労働大臣表彰をお受けになりました。今後ますますのご活躍を祈念  
いたします。

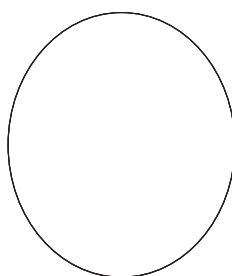


武藤 先生

## 学校保健及び学校安全功労により文部科学大臣表彰

たか ぎ ひで あき  
高 木 秀 昭 先生（宮崎）

11月 6 日，新潟市において学校保健及び学校安全功労により文部科学大臣表彰をお受けになりました。衷心から祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

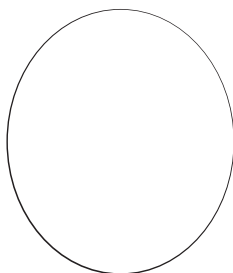


高木 先生

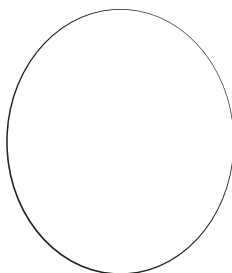
## 公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

かげ やま たけ ひこ  
影 山 健 彦 先生（宮崎）  
ふじ もと こう いち  
藤 本 孝 一 先生（延岡）  
ふた つき ひで と  
二 木 秀 人 先生（日向）

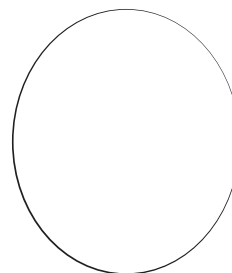
10月 30日，佐賀市において公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。衷心から祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



影山 先生



藤本 先生

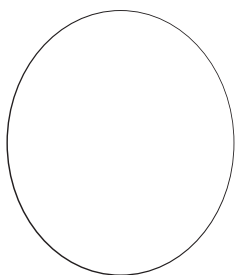


二木 先生

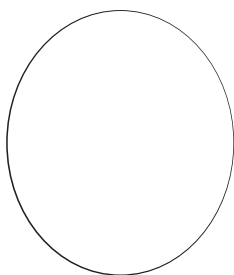
## 公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰

ふく 福	しま 島	まさ 正	あき 明	先生（都城）
わた 渡	なべ 邊	やす 康	ひさ 久	先生（日向）
とめ 留	もり 守	けん 健	いち 一	先生（西都）

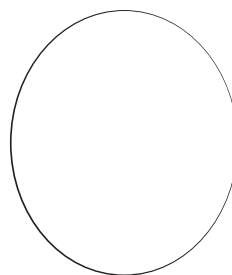
10月 30日，佐賀市において公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会  
長表彰をお受けになりました。衷心から祝意を表しますと共に，今後ま  
すますのご活躍を祈念いたします。



福島 先生



渡邊 先生

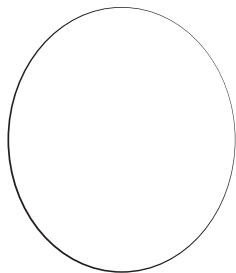


留守 先生

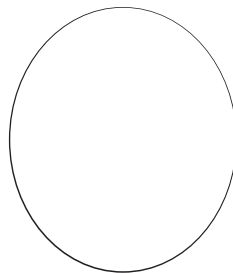
## 公衆衛生事業功労により宮崎県知事表彰

お 小	ぐら 倉	かつ 克	まさ 正	先生（宮崎）
もり 森		よし 善	はる 治	先生（都城）

11月 5 日，宮崎県庁において公衆衛生事業功労により宮崎県知事  
表彰をお受けになりました。衷心から祝意を表しますと共に，今後  
ますますのご活躍を祈念いたします。



小倉 先生



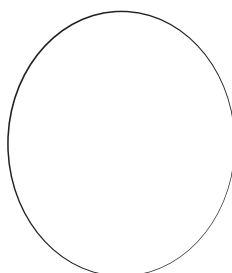
森 先生

## 日本医師会優功賞

やなぎ た き み こ  
柳 田 喜美子 先生（都城）

11月 1 日，日本医師会において開催された日医設立記念医学大会  
において，日本医師会優功賞をお受けになりました。

今後ますますのご活躍を祈念いたします。

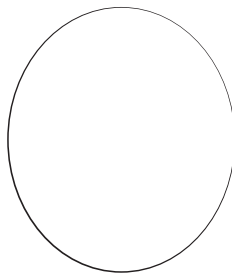


柳田 先生

## 社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰

こ や とも かず  
呉 屋 朝 和 先生（宮崎）

11月 20日，東京において社会保険診療報酬支払基金関係功績者として  
厚生労働大臣表彰をお受けになりました。今後ますますのご活躍を祈念  
いたします。



呉屋 先生



## あなたできますか？

— 平成 19年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 73ページ )

- 統合失調症で正しいのはどれか。2 つ選べ。
  - モノアミンが関与している。
  - 大脳に炎症性変化が存在する。
  - 陰性症状に対する薬物効果は高い。
  - 発症初期の積極的な治療的介入が重要である。
  - 有病率は人口 10万当たり約 10である。
- 呼吸困難をきたすのはどれか。2 つ選べ。
  - 声帯結節
  - 慢性喉頭炎
  - 急性喉頭蓋炎
  - 咽喉頭異常感症
  - 両側反回神経麻痺
- 我が国の新生児マススクリーニングで発見率が最も高いのはどれか。
  - ガラクトース血症
  - 先天性甲状腺機能低下症
  - 先天性副腎皮質過形成症
  - フェニルケトン尿症
  - ホモシスチン尿症
- 正しいのはどれか。2 つ選べ。
  - 瞳孔径は加齢とともに大きくなる。
  - 瞳孔散大筋はコリン作動性である。
  - 瞳孔括約筋は動眼神経支配を受ける。
  - 近見によって縮瞳する。
  - 眼圧上昇によって縮瞳する。
- 20歳の女性。首の痛みを主訴に来院した。3 日前から左側頸部に持続的な痛みを感じるようになった。体温 36.8。脈拍 76/分 整。左頸部に径 1 cm のリンパ節を 2 個触知し、いずれも表面平滑、弾性軟で、可動性と圧痛とがある。甲状腺は触知しない。左後頭部の髪の毛の生え際に径 1.5 cm の発赤と腫脹とがみられ、毛包に分泌物が付着している。口腔内に異常はない。腋窩と鼠径部とにリンパ節を触知しない。心音と呼吸音とに異常を認めない。肝・脾を触知しない。  
頸部リンパ節腫脹の原因として最も考えられるのはどれか。
  - アレルギー性
  - ウイルス性
  - 化膿性
  - 結核性
  - 腫瘍性
- 生後 24時間の新生児。著明な腹部膨満と胆汁性嘔吐のためNICUに入院した。胎便の排泄はまだない。腹部エックス線単純写真立位像で腹部全体に多数の液面形成 (niveau) を認める。  
最も考えられるのはどれか。
  - 先天性食道閉鎖症
  - 肥厚性幽門狭窄症
  - 先天性十二指腸閉鎖症
  - 先天性小腸閉鎖症
  - 鎖 肛
- 32歳の2回経産婦。妊娠9週時に性器出血を主訴に来院した。妊娠分娩歴に異常を認めない。腔内には少量の暗赤色の血液の貯留を認める。経腔超音波検査では子宮腔内に胎嚢を認め、頭殿長 23mm の心拍動を有する胎芽を認める。  
出血の原因として考えにくいのはどれか。
  - 子宮頸癌
  - 子宮体癌
  - 絨毛膜下血腫
  - 子宮腔部びらん
  - 子宮頸管ポリープ
- 33歳の女性。急性の呼吸困難のため搬入された。3年前に喘息を発症し、近医で治療を受けていた。最近鼻閉がみられるので耳鼻咽喉科を受診したところ、鼻ポリープを指摘された。本日歯痛が出現したので、家にある痛み止めを服用したところ重篤な呼吸困難が出現した。入院後直ちに酸素吸入とβ刺激薬投与を行った。  
次に投与するのはどれか。
  - 抗菌薬
  - 抗コリン薬
  - 喀痰溶解薬
  - 抗ヒスタミン薬
  - 副腎皮質ステロイド薬
- 59歳の女性。傾眠と背部痛とを主訴に来院した。5年前に左乳癌の摘出術を受けている。身長 150cm、体重 5kg。血圧 150/88mmHg。貧血と黄疸とを認めない。表在リンパ節の腫脹は認めない。血液生化学所見：尿素窒素 30.0mg/dl、クレアチニン 1.0mg/dl、尿酸 6.0mg/dl、Na 140mEq/l、K 3.6mEq/l、Cl 102mEq/l。腹部超音波検査で腎に異常を認めない。  
血液生化学検査で必要な項目はどれか。2 つ選べ。
  - 鉄
  - アルブミン
  - カルシウム
  - マグネシウム
  - 総ビリルビン
- 23歳の女性。喘鳴と息切れとを主訴に来院した。1年半前から風邪をひくと喘鳴と息切れとが出現し、風邪が治るといつも消失していた。1週間前にも同じ症状が出現し、息切れがこれまでに最も強かったが、週末を挟んで症状が軽減してから受診した。身長 154cm、体重 46kg。体温 36.5。呼吸数 16/分。脈拍 80/分 整。血圧 112/64mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。動脈血ガス分析 自発呼吸 (room air) pH 7.41、PaO₂ 86 Torr、PaCO₂ 39 Torr。  
考えられるのはどれか。
  - 急性気管支炎
  - 気管支喘息
  - 気管支拡張症
  - 胸膜炎
  - 肺結核

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 10月 ～

平成 20年 9 月 29日 ～ 平成 20年 11月 2 日( 第 40週 ～ 44週 )

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：結核 32例が宮崎市( 13例 )、延岡( 8 例 )、都城 4 例 )、高鍋( 3 例 )、日向( 2 例 )、日南・小林( 各 1 例 ) 保健所から報告された。患者が 19人、疑似症患者が 7 人、無症状病原体保有者が 6 人で、患者は肺結核が 17人、その他の結核( 結核性胸膜炎 )が 3 人( 肺結核を含む )であった。男性 15人、女性 17人で、60・90歳代がそれぞれ 6 人、50・80歳代がそれぞれ 5 人、40歳代が 3 人、20・30・70歳代がそれぞれ 2 人、10歳代が 1 人であった。

3 類：腸管出血性大腸菌感染症 5 例が宮崎市保健所から報告された。

- ・ 30歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の血清型は O 91( V T 1 産生 )。
- ・ 40歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は不明( V T 1 産生 )。
- ・ 50歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は不明( V T 1 産生 )。
- ・ 50歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は不明( V T 2 産生 )。
- ・ 50歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は不明( V T 2 産生 )。

4 類：○オウム病 1 例が宮崎市保健所から報告された。60歳代の女性で発熱、咳、肺炎、呼吸困難、意識障害、DIC がみられ、その後死亡。ペア血清での抗体価の有意な上昇がみられた。

○つつが虫病 2 例が小林と都城保健所から各 1 例報告された。

《小林保健所》50歳代の男性で、頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。稲刈り時に感染したと思われる。

《都城保健所》80歳代の女性で、頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。

○日本紅斑熱 1 例が宮崎市保健所から報告された。70歳代の男性で発熱、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。ペア血清での抗体価の有意な上昇( 4 倍以上 )がみられ、刺し口から病原体の遺伝子も検出された。

○レジオネラ症 2 例が宮崎市保健所から報告された。

- ・ 60歳代の男性で発熱、下痢、意識障害、肺炎、多臓器不全がみられた。
- ・ 50歳代の男性で、発熱、咳嗽、肺炎がみられた。

5 類：○クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例が中央保健所から報告された。60歳代の男性で進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状等がみられた。

○梅毒 1 例が宮崎市保健所から報告された。20歳代の女性で無症状病原体保有者。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 2,718人( 定点あたり 82.4 )で、前月比 125% と増加した。また、例年と比べると 88% と少なかった。

10月に増加した主な疾病は RS ウイルス感染症、百日咳、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾病はヘルパンギーナ、手

表 前月との比較

	10月		9 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	2	0.03	1	0.02	
RSウイルス感染症	496	13.8	80	2.2	
咽頭結膜熱	92	2.6	170	4.7	
溶レン菌咽頭炎	240	6.7	151	4.2	
感染性胃腸炎	1,078	29.9	796	22.1	
水痘	181	5.0	172	4.8	
手足口病	15	0.4	48	1.3	
伝染性紅斑	14	0.4	7	0.2	
突発性発しん	199	5.5	198	5.5	
百日咳	13	0.4	6	0.2	
ヘルパンギーナ	40	1.1	144	4.0	
流行性耳下腺炎	297	8.3	306	8.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	43	7.2	43	7.2	
細菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
無菌性髄膜炎	2	0.3	2	0.3	
マイコプラズマ肺炎	2	0.3	3	0.4	
クラミジア肺炎	3	0.4	0	0.0	

例年同時期( 過去 3 年の平均 )より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

足口病、咽頭結膜熱であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病は百日咳、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は496人(13.8)で前月の約6.2倍、例年の約5倍と多かった。延岡(62.8)、宮崎市(12.1)、日向(10.5)保健所からの報告で、1歳が最も多く全体の約4割、2歳以下が9割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は240人(6.7)で前月の約1.6倍、例年の約1.1倍と多かった。高鍋(12.0)、延岡(9.3)、日南(8.3)、宮崎市(7.4)保健所からの報告が多く、4歳から6歳で全体の約6割を占めた。

百日咳の報告数は13人(0.36)で前月の約2.2倍、例年の約18倍で多かった。都城(1.2)、延岡(0.5)、日南(0.33)、高鍋(0.25)、宮崎市(0.22)保健所からの報告が多く、1歳未満が2人、1歳から4歳が5人、5歳から9歳が3人、10歳から14歳が1人、20歳以上が2人であった。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 10月

### □ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人(3.2)で、前月比87%と減少した。また、昨年10月(3.9)と比べても82%と少なかった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数30人(2.3)で前月及び前年と同数であった。男性14人、女性16人で、20歳代と30歳代で全体の約7割を占めた。都城(5.5)、日向(5.0)保健所からの報告が多かった。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で前月の約4割、前年の約6割と少なかった。男性が2人、女性1人で、20・40・60歳代がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)。日向保健所からの報告で、40歳代の女性であった。
- 淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約1.2倍、前年の約8割であった。全て男性で、都城(1.5)、宮崎市・延岡・高鍋(0.5)保健所からの報告であった。40歳代が3人、20歳代が2人、10・30歳代がそれぞれ1人であった。

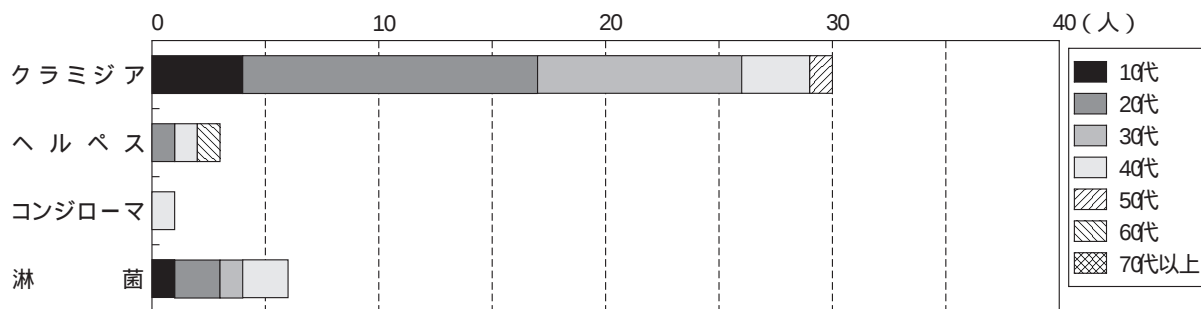


図 年齢別性感染症報告数(10月)

### □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

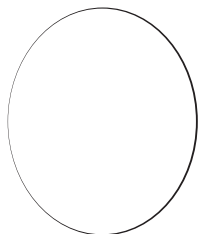
定点医療機関からの報告総数は35人(5.0)で前月の90%、昨年10月の97%であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数31人(4.4)で、前月の約9割、前年とほぼ同数であった。宮崎市(8.0)、延岡(7.0)、小林(6.0)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、70歳以上が約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数4人(0.57)で、前月の2倍、前年と同数であった。宮崎市と高鍋(2.0)保健所からの報告で、4歳以下と70歳以上であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



## 大震災への備え

読売新聞宮崎支局長

せん だ しん じ  
千 田 伸 二

1995年 1 月 1日午前 5 時 46分。この時間に何  
が起きたのか、宮崎県内で即座に言える人は何  
人いるだろうか？

「阪神・淡路大震災」。あれから 13年が過ぎた。  
来月にはまた「その日」がやってくる。

弊社の話で恐縮だが、読売新聞社と読売テレ  
ビ、神戸大学、神戸市教委が共同で、子どもた  
ちにこの震災について教え、防災教育に役立て  
てもらう目的で、DVD と CD-ROM、副読本  
がセットになった震災教材「ビジュアル版 幸せ  
運ぼう」を制作した。全国の都道府県教委などに  
2,000セットを贈った。宮崎県教委にも先日、40  
セットを贈らせていただいた。

DVD には読売テレビなどが映した震災の映像  
が収められ、副読本では、大震災についての記  
述と、地震へどう備えるのかなどを具体的に記  
している。

阪神大震災の地震規模はマグニチュード 7.3  
7 を超えると「大震災」と呼ばれる。わずか数十  
秒の揺れで 6,434人の尊い命が失われ、4 万人以  
上が傷つき、街が破壊された。私は震災後、1  
か月を目前にして現地に入り取材した。神戸市  
の隣の芦屋市や西宮市ではまだ、各市役所など  
で避難生活をする人が大勢いた。

芦屋市の下町で倒壊した家屋を見て驚いた。

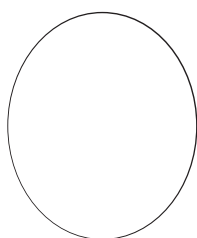
通常、倒壊というと家が傾く程度にしか考えな  
いが、家全体をまるでミキサーに入れてかき回  
したようにぐちゃぐちゃだった。これでは、中  
に閉じこめられた人を人力で救い出すのはまず  
無理。多くの人たちが倒壊した家屋に挟まれ、  
火災で死亡した理由が現地を見てようやく理解  
できた。

日本は地球上で一番地震が発生しやすい場所  
にあるという。全国どこでも大地震は起きる。  
宮崎県地震減災計画によると、東南海・南海地  
震が起きれば、揺れで約 20人、津波では約 670人  
が死亡すると予想されている。日向灘は地震活  
動が活発な地域だという。「日向灘地震」は今後  
30年以内にマグニチュード 7.0前後の地震発生が  
10%程度、マグニチュード 7.0前後だと 70~ 80%  
の確率で発生すると予想されている。

副読本では、「家族防災会議」を開いたり、我  
が家の危険度をチェックしたり、「火災が起きた  
時の対処法」「いざという時の応急措置法」の重  
要性を訴えている。安全に避難するため、地域  
の安全マップを作ることも必要だ。震災教材は  
今後、各市町村教委に配布され、活用される予  
定だ。「備えあれば憂いなし」。「あの日」をまた  
迎えるのを期に防災について改めて考えてみ  
たい。

## 国公立病院だより

### 宮崎市立田野病院



よしおか まこと  
吉岡 誠 院長

当院は平成 9 年に前回の  
たよりから、院長の交代(谷  
口先生,杉本先生),田野町  
の宮崎市への合併による組  
織変更等がありました。

当院の歴史は、昭和 23年  
診療所を開設、昭和 28年田  
野町国民健康保険病院に移  
行して地域医療の核として、町民をはじめ隣接  
町の住民を対象に診断治療を行い、昭和 48年現  
在地に移転新築して一般病床 42床・6 診療科目  
で、公共の福祉を増進するよう病院事業を運営  
してきました。平成 18年 1月の宮崎市田野町の  
市町合併に伴い、施設の名称を「田野町国民健康  
保険病院」から「宮崎市立田野病院」として移行さ  
れました。

当院の一般的特徴は、地域に密着した病院と  
して住民サービスの向上を図り、大学病院など、  
近隣の医療機関と常に緊密な連携をとりながら、  
医療の質的充実を目指すとともに、24時間の救  
急医療体制を担っています。また居宅支援室・  
在宅支援チームを設置し、訪問看護をはじめ、  
きめの細かい情報提供を行うなど、地域密着型  
サービスと医療・介護・福祉の地域医療包括ケ  
アの充実に努めています。なお、併設の宮崎市  
介護老人保健施設「さざんか苑」は、付帯業務と  
して病院事業会計により、管理運営を行っています。

診療の特徴は、吉岡が赴任以降胸部外科(特に  
呼吸器外科)診療の強化を進め、手掌多汗症の手  
術(胸腔鏡下胸部交感神経切除術)は宮崎県下で

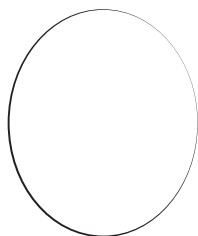
は唯一の実施機関であります。また、以前から  
の外科(呼吸器、消化器、心血管)を中心に全人  
的な包括的医療(診療科にとらわれない)を行い  
地域に必要な医療、介護を安定して提供する事  
に加えて、最新の医療、介護サービスを提供で  
きる体制づくりを推進しています。

平成 20年 10月現在、現在地での新病院の建設  
設計が進んでいます。病室の拡張、病院機能の  
強化を図り、新しい時代に対応していきたいと  
思います。医師会員の皆様の協力があってこそ  
これらの病院運営が可能となっています。この  
場をお借りしてお礼申し上げます。

これからも地域みなさんに愛される病院を  
目指し、職員一同努力していきます。

(吉岡 誠)

## 宮崎大学医学部だより

感覚運動医学講座  
— 皮膚科学分野 —せ と や ま み つ る  
瀬戸山 充 教授

当教室の瀬戸山充教授が平成 12年 12月に就任以降 8年目を迎え、昨年平成 19年 10月には第 59回日本皮膚科学会西部支部学術大会を瀬戸山教授会長のもと開催いたしました。昭和 5年以來、丁度四半世紀ぶりの当教室

主幹で約 700人が参加され盛会のうちに終了しました。また今後は平成 21年 11月には第 36回皮膚かたち研究学会学術大会、更に平成 24年には参加予定 1,000人の日本褥瘡学会九州地方会学術集会も宮崎市での開催が予定されており、それらの準備にも取り掛かっています。

また瀬戸山教授が中心となっている医学部医学科の大学入試制度改革も、宮崎県内高校生枠（地域枠）の設置や推薦入試制度導入が実現、稼働しております。長期的な展望に立った施策の経過に期待しています。

対外的には、当教室では 1994年から清武町がん検診の一環として、町民の皮膚癌検診を行なっています。今年で 14年目をむかえ、日光角化症といった初期の皮膚癌の発見に効果を挙げています。また開講当初から宮崎県の土呂久地区慢性砒素中毒検診に参加してきましたが、この関連から宮崎市に本部を置く NGO のアジア砒素ネットワークや宮崎大学工学部とのタイアップを通して、アジア領域での砒素汚染状況調査にも参加しています。過去には内モンゴル、バングラデシュ、ネパールおよびインドに教室から医師を派遣してきました。今年も海外への医師派遣の要請がきています。一方、医学生を帯同して皮膚科医のいない県内地域に赴き行う無料の皮膚病医療相談会も現在までに 5 回を数えました。地域にも世界にも協力していきたいと思ひます。

現在、医局員は男性 12名、女性 7 名、計 19名で構成され、大学に 14名（教授、准教授、助教 7、

医員 5）、県立病院に計 4 名出向し、本年 9 月から天野正宏がアメリカのマイアミ大学に留学に出ています。基幹病院である県立延岡病院と県立宮崎病院は入院に対応できる 2 人体制を維持していますが、人手不足から県立日南病院は常勤としては撤退し、現在は週に 2 回主に外来診察のために非常勤として赴いています。

次に診療体制についてですが、外来診療日は水曜日と金曜日を基本とし、火曜日は外来手術を中心とした特殊外来としています。外来に 2 種類のレーザー機器を常備しており、いわゆる「あざ」に対して、積極的にレーザー治療を行っています。入院ベッド数は 2 床で、疾患は悪性腫瘍をはじめアレルギー性疾患、感染症、水疱症、膠原病、熱傷など多岐にわたっております。熱傷に関しては各県病院皮膚科ともに、宮崎県の熱傷センターとしての役割を担っています。

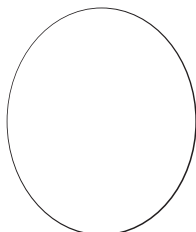
研究面では、立山直が致死的なエロモナス壊死性軟部組織感染症の病原性解析を微生物学教室と共同で行い、その系統樹を作成し論文として報告中です。また、天野正宏は A T L L 患者における H T L V -I プロウイルス量と皮膚病変の関係を腫瘍・再生病態学教室とタイアップしながら研究を続け、新しい分類概念を提唱し博士号を取得しました。

当教室は腫瘍、血管腫、母斑症、熱傷、リンパ腫、アレルギー性疾患、水疱症、膠原病と幅広い分野を守備範囲としています。都会と違いある疾患だけに強いという一点豪華主義ではやっていけません。どの領域もバランスよく診療でき、幅広く対応することが求められます。しかしその中でも A T L L や感染症など地理的要因があり、ここでしかできない病気に対しては力を注ぐ必要があります。一方で将来的には現行のレーザー療法に加えて、ケミカルピーリングなどを代表とする美容皮膚科の分野も、患者さんのニーズからますます要求されてくることと思ひます。大学における診療、教育、研究面を充実させるためには、まだまだマンパワーが不足しているのが現状で、今後も更に入局者が増えることを期待したいと思ひます。

に し だ た か あ き  
( 医 局 長 西 田 隆 昭 )

## 部会だより

## 園 医 部 会

せんなり えいいち  
先成 英一 部会長

現代社会は、少子高齢化・核家族化と両親共働きの家庭の増加に伴い、保育園・幼稚園に通っている子供の数も増えてきており、子育てする上で、保育園・幼稚園の果たす

役割も大きくなってきています。そのような状況下において、園児の健やかな心身の発達のためには、医師会と保育園・幼稚園の関係者と保護者との密なる連携が必要であります。

現在、宮崎県医師会の園医部会は、約 260名の会員から構成されており、保育園・幼稚園の園医として、乳幼児の健康保健活動に携わっています。本会は、毎年定時総会とともに、園医や保育園・幼稚園の関係者を中心とした研修会を開催しています。

平成 19年度宮崎県医師会園医部会総会・研修会は、宮崎県医師会館の新築落成記念事業の一環として、平成 20年 3月 1日(土)の午後 3時より、宮崎県医師会館の 2階研修室において、NPO 子どもとメディア代表理事、チャイルドライン支援センター代表理事、NHK 放送文化研究所研究アドバイザーと多数の肩書きを持つ清川輝基先生をお招きし、「子どもが危ない！～メディア漬けが子どもを蝕む～」と題し、県民公開講座の形で開催されたので、その概要をご報告いたします。

200年 2月に日本小児科医会が「子どもとメディ

ア」の問題に対する提言を発表、さらに、同年 4月には日本小児科学会が、テレビやゲームなどメディアとの長時間接触が子どもの心身の発達に悪影響を及ぼしている可能性が強いので、2歳まではテレビ・ビデオ等の視聴を控えたほうがよいと報告しています。

清川氏は、長年 NHK のテレビ報道に携わり、子どもの問題を含めて様々な社会問題と向き合い、戦後激変したこどもの発達環境・生活様式の変化が、身も心も史上最悪の子どもたちを創りあげていると指摘しています。日本の子どもはメディア接触時間は世界一で、日本の子どもたちは脳の神経回路が形成される極めて重要な乳幼児期から平気でメディアに曝されているのが現状です。子どもをテレビやビデオ・ゲームに接触させることの安全性と有効性は、世界中のどこの国でもまだ証明されておらず、日本の親たちが子どもたちに今やっていることは、人類史上誰もやっていない「人体実験」に他ならないと警鐘を鳴らしています。子どもたちが「人間になる」ために、今何が必要なのかを、現在の大人たちは真剣に考えなければなりません。メディア・リテラシーというメディアとの上手な付き合い方や、ノーテレビデーなどを実践している具体的な取り組み事例も紹介されました。

当日は、土曜日の夕方にもかかわらず、県内各地より保育園・幼稚園の保育士、園医など約 15名の参加者があり、大変有意義な研修会であったと思います。(先成 英一)

# 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成 20年 11月 3 日( 月・ 祝 日 )  
ところ ハイビスカス G .C .

恒例の県医親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、26名の会員の先生方が参加されました。

時折、小雨が降るあいにくの天候の中、和やかなムードの中にも熱戦が繰り広げられ、無事に大会を終了することができました。

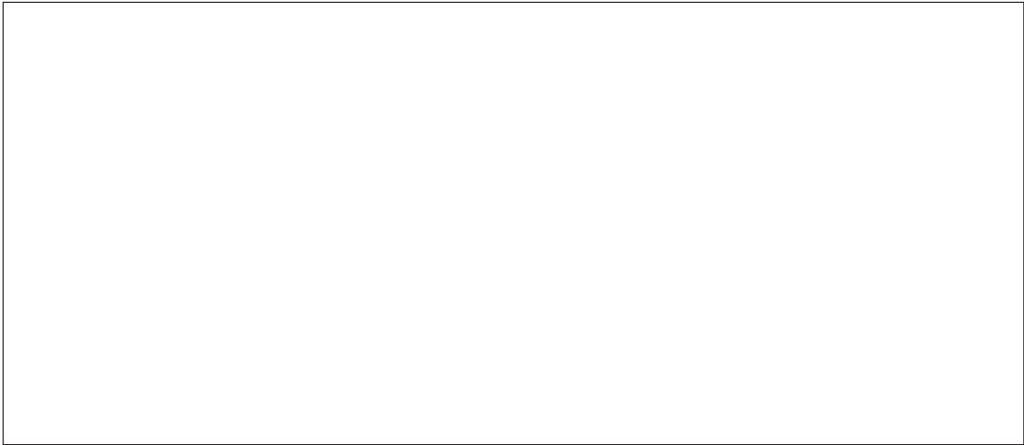
今大会の競技方法は、18ホールズストロークプレイダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で行われ、団体戦は宮崎市郡医師会ジュニアチームが他チームを抑え、優勝いたしました。

個人戦は、年齢別にA・B・Cの3区分に分けて行い、A：中島知徳先生(宮崎)B：大塚直純先生(西都)C：坂本英典先生(宮崎)がそれぞれ優勝されました。

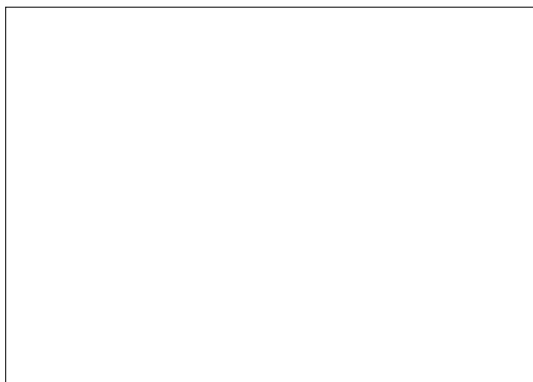
成績は以下の通りです。

団体戦		郡市名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名						
優 勝	宮崎市郡医師会ジュニア		218.6	坂本 英典	71.0	小島 章弘	73.6	中津留邦展	74.0	
準優勝	西都市・西児湯医師会		220.4	大塚 直純	72.8	濱砂 重仁	73.4	富田 雄二	74.2	
3 位	連 合		220.8	佐保 修二	73.2	永友 和之	73.8	井 上 博	73.8	
4 位	宮崎市郡医師会シニア		223.8	中島 知徳	73.0	志多 武彦	74.0	弓削 達雄	76.8	
5 位	南 那 珂 医 師 会		227.4	山元 敏嗣	74.6	長田 幸夫	76.2	小玉 徳信	76.6	
6 位	宮崎大学医学部医師会		232.4	森満 保	75.0	南嶋 洋一	77.4	美 原 恒	80.0	

個 人 戦		会 員 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	
A	優 勝	中島 知徳	51	52	103	30.0	73.0	
	準優勝	森満 保	47	46	93	18.0	75.0	
	3 位	弓削 達雄	42	42	84	7.2	76.8	
B	優 勝	大塚 直純	45	47	92	19.2	72.8	
	準優勝	濱砂 重仁	49	40	89	15.6	73.4	
	3 位	永友 和之	47	40	87	13.2	73.8	
C	優 勝	坂本 英典	44	45	89	18.0	71.0	
	準優勝	佐保 修二	40	38	78	4.8	73.2	
	3 位	小島 章弘	40	42	82	8.4	73.6	
B G 賞		山元 敏嗣	77					
N P 賞		井上 博 ,山元敏嗣 ,南嶋洋一 ,大塚直純 ,富田雄二 ,立元祐保 ,小島章弘 ,坂本英典						



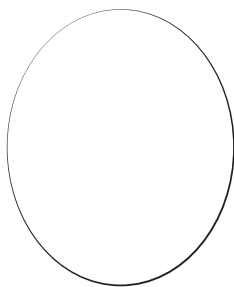
## 団体戦優勝 宮崎市郡医師会ジュニアチーム



県医師会親善ゴルフ大会が 11月 3 日文化の日にハイビスカスゴルフクラブで開催されました。当日スタート時は曇りで最後の方は雨のあいにくの天候でしたが、県内から 26名の参加がありました。この大会は個人戦の他に団体戦が組まれます。今回は宮崎市郡ジュニア、宮崎市郡シニア、西都、南那珂、宮崎大学医学部、連合(参加者の少ない郡市からの先生方で組むチーム)の 6 チームの上位 3 名の成績による対抗戦となりました。結果は宮崎市郡ジュニア(総合優勝の坂本英典先生、小島章弘先生、中津留)が優勝でした。りっぱな賞品を頂き有難うございました。

(中津留記)

## 総合優勝 宮崎市郡医師会 坂 本 英 典



今回、県医師会親善ゴルフ大会にて総合優勝をさせていただき、ありがとうございました。あいにくの曇り空のもと、スコアはあまりによくなかったのですが、かくしホールでうまい具合にダブル、トリプルボギーなどをたくさん叩いたのがよかったのだと思います。2 回目の参加でしたが、同組の立元先生、神戸先生、篠原先生とは普段からよくご一緒させていただいており、気心もわかり、楽しく笑い声をたやすことなくラウンドできました。また、たくさんの賞品を頂きありがとうございました。次回の大会にもぜひ参加させていただきたいと思っています。

## — 各 種 委 員 会 —

## 定 款 ・ 諸 規 程 検 討 委 員 会

と き 平成 20年 10月 27日(月)

ところ 県医師会館

テレビ会議：都城・延岡・日向

立元常任理事の進行により開会、稲倉会長の挨拶の後、委員長に増田好治先生、副委員長に大西雄二先生が委嘱された。

続いて稲倉会長から増田委員長へ以下の諮問が行われた。

## 諮問事項

「公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会定款・諸規程の見直しについて」

## 協 議

公益法人制度改革に伴う部分は、日本医師会の進行状況を踏まえて検討することとなり、緊急性のある3つの規程について協議が行われた。

## 1．旅費規程について

税務署から旅費の支払いに関して実態に即していないとの指摘があり、事務局より会議の開催及び終了時間によって日当宿泊数を少なくする変更案が提示され協議に入った。

協議では、日帰りした場合の取り扱い、変更案で税務署が納得するのか等の意見交換が行われ、稲倉会長から、税務署も一定の基準として理解してもらえと思う。九州各県の実情にあわせ単価を若干値上げしているが、相対的には医師会の負担は軽くなる。出張者

の負担を考えると是非お認めいただきたいとの説明があり原案通り了承された。

## 2．後援名義使用承認基準について

立元常任理事から、営利目的の事業等を含め数多くの後援依頼があるので、名義使用承認基準を作成したいと提案要旨が説明され、協議に入った。

協議では、文言の確認、実際の運用についての検討が行われ、最終的に、事業内容が県民の健康・保健・医療・福祉等に寄与するもので、営利・宣伝を目的とせず、政治的、宗教的なものではないこと等を中心とする規程案が了承された。

## 3．会館使用規程について

昭和58年以降見直しが行われていなかったこともあり、文言の修正を中心に協議が行われた。

## 4．その他

次回の委員会を1月に開催、県医学会会則、県医委員会規程、県医医事紛争対策・処理委員会規則、県医裁定委員会規程、県医会費賦課徴収規程を協議する。

出席者 - 増田委員長、大西副委員長、市来・蟻塚・児玉・百瀬・内村・東野・福田・飯田・井手・渡邊委員  
(県医) 稲倉会長、富田副会長、立元常任理事、田中局長、児玉次長、島原・阿萬・小川・杉田・竹崎課長、牧野主事

## 第 30回産業保健活動推進全国会議

と き 平成 20年 9 月 18日(木)

ところ 日本医師会館

本会議は、厚生労働省・日本医師会・労働者健康福祉機構・産業医学振興財団の主催により、各地域産業保健センターから活動事例報告、テーマを「労働者のメンタルヘルス対策の現状と課題～地域・職域の連携を含めて～」と題したシンポジウム、討論を経て最後に全体協議が行われた。

### 活動事例報告 1 ～ 3

#### 1. 千葉市地域産業保健センターの活動

千葉市医師会産業保健担当理事

今 井 俊 哉

#### 2. 八代水俣地域産業保健センターの活動

八代水俣地域産業保健センター

コーディネーター 大 原 友 春

#### 3. 広島産業保健推進センターの活動

広島産業保健推進センター所長

坪 田 信 孝

### シンポジウム

#### テーマ

「労働者のメンタルヘルス対策の現状と課題～地域・職域の連携を含めて～」

#### 1. 職場におけるメンタルヘルス対策と産業医の役割

神田東クリニック理事長 島 悟

#### 2. 地域・職域連携の推進に向けた行政の動向

厚生労働省労働基準局安全衛生部

労働衛生課長 鈴 木 幸 雄

#### 3. 産業医と精神科医療機関の連携について

～産業医の立場から～

富士ゼロックス株式会社 全社産業医

河 野 慶 三

#### 4. 産業医と精神科医療機関の連携について

～精神科医の立場から～

日本精神神経科診療所協会長

三 野 進

### 協 議

高田労働者健康福祉機構医監(日本医師会産業保健委員会委員長)の司会により、協議が行われた。(以下抜粋)

問 地域産業保健センターの夜間・休日窓口業務について

メンタルヘルス対策における夜間・休日窓口の拡大のために、どのような方策が考えられるか。

回答 事業の実績が得られやすいように対策を検討してほしい。また、地域の実情に応じて対応していただきたい。

問 特定健診・保健指導の請求について

特定健診・特定保健指導が4月より始まり、電子化により請求が始まったが、各施設のソフト不一致のためか、エラーになるケースが多く、このため受付拒否が多い。どのように対処するのか。

回答 電子化は不可欠であり、何らかの入力違い等でエラーとなっている。エラーとなっているすべてのケースについて連絡を取り対応している。返還までには至っていないため再度請求してほしい。

問 長時間労働者の面接指導対象者の把握について

各地域における所管の労働基準監督署から事業場への指導を要望するとともに、その情報を地域産業保健センターに提供してほしい。

回答 長時間労働者への面接指導義務についての情報は、定期的に小規模事業場へ伝えている。今後もPRに努めたい。個人情報の提供は、

個人情報保護の関係ですべての情報を提供することは難しいが、事業場の承諾が得られれば、地域産業保健センターに提供する。

問 地域産業保健センター事業への入札状況について

地域産業保健センター事業については平成 19年度より、公募を行った上で随意契約を締結することとされた。現在、全ての地域産業保健センターの事業を医師会が受託しているとのことであるが、医師会以外にも事業に応募した団体があったのかどうか教えてほしい。

回答 全てを調べた結果ではないが、他の団体からの応募はなかった。

問 小規模事業場における長時間労働者に対する面接指導の義務化について

繁忙期には面接指導が受けられないため、面接時期が遅れ正確な面接指導をすることができない。さらに地域産業保健センターの産業医はその小規模事業場の作業や作業環境を把握できない。このような状況でチェックリストを使用して面接指導を地域産業保健センターができるのであろうか。これでは面接指導が内容のないものになるのではないか。

回答 面接指導にあたり様々な問題が生じることとは考えられる。今後も事業場に対し、適切な面接が受けられるよう指導していきたい。繁忙時期により、リアルタイムに面接が受けられないこともあるが、面接していただきたい。大規模事業場からの面接指導の希望が多いのが現状である。今後、小規模事業場に対して情報提供していきたい。

問 小規模事業場における長時間労働者への医師による面接指導制度について

現在の小規模事業場では労働者本人が申出できる環境整備がなされているとは思えない。労働基準監督署が指導すれば、地域産業保健センターの利用が増えると思うが、一時的な効果である。法律で義務付けたというだけ

でなく、面接指導を勧奨する環境整備についての国の考えを教えてほしい。また、定期的健康相談窓口を開催し、特に訪問指導では希望の事業場に対して予算上十分対応できない現状では、地域産業保健センターで長時間労働者への面接指導に対応することは困難になっており、予算の増額をお願いしたい。

回答 予算に関しては厳しい状況だと思うが、来年度の事業を継続して行くため予算確保していきたい。

環境整備に関しては、あらゆる場面を通じて事業場に周知徹底していきたい。

問 産業保健活動推進全国会議の開催日について

地域産業保健センターの担当役員は、ほとんど開業医で平日の開催では休診することとなり、出席することが困難な役員もいる。休日(日曜・祝日)での開催はできないか。

回答 前年度も要望があり、アンケートを実施したところ平日を希望されている方も多く、今回は平日での開催となった。

再度アンケートをお願いしているので、この結果も加味して検討したい。

問 小規模事業場に対する助成金について

産業医を選任したときに助成金ができしたが、前回同様3年で終わってしまう。前回は3年で産業医の選任を止めてしまう小規模事業場が多かったと聞いている。今回はより長い助成期間が必要ではないか。

回答 産業医の助成期間終了後に継続して産業医を選任するよう要請していく。

日医岩砂副会長より総括、産業医学振興財団鹿毛事務局長より挨拶があり、閉会した。

出席者 - 木村・眞志喜・新(地域産業保健センターコーディネーター)  
大塚常任理事、鳥井元主事

## 都道府県医師会 「地域医療，保健，福祉を担う幅広い能力を有する医師」 の養成を目的とする認定制度に関する協議会

と き 平成 20年 10月 3 日(金)

ところ 日本医師会館

挨拶 日医唐澤会長

日医では医の倫理綱領を制定しているが，その中にも「医師は生涯教育の精神を保ち，つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに，その進歩・発展に尽くす」とある。日医では，医師の生涯教育制度を 20年以上続けており，現在では 13万人，7 割を超える会員から申告していただいているが，現在は質的な充実にシフトが移ってきており，更に一層国民に理解されるような，生涯教育制度の構築を検討している。地域医療・保健・福祉を担う幅広い能力を有する医師の養成について，認定制を含めたシステムやカリキュラムの検討を進めてきた。日医として制度を推進していく上で，都道府県医師会に意見を求めて集約させていきたい。カリキュラムの改定については，さまざまな学会等から意見をいただき，日医生涯教育推進委員会と関連 3 学会(日本プライマリ・ケア学会，日本家庭医療学会，日本総合診療医学会)で連携してやってきた。

厚労省は，医療費の総枠規制の為に，総合医構想を持っており，登録医・人頭払い，フリーアクセス権の障害を虎視眈々と狙っており，アメリカの昔の無駄を省く医療をめざしている。アメリカでも生涯教育制度について，CME という制度があり，年間 20単位の研修をやりなさいという制度であり，専門医も研修をうけている。

世界的な情勢がこのようになっており，国民の中には大病院嗜好，いくつもの医療機関を多

重受診する受診行動の趣向性が，医療資源の有効活用という点で見れば，今後は是正されなければならない。行政が積極的に方向性を示すのではなく，医療担当者が是正する方向性を出す必要性があり，自立した行動を国民に理解してもらうためにも，生涯教育に取り組む姿を示し，医師が客観的な評価・認定する制度を構築する必要がある。

医師免許さえあれば充分ではないかという多くの意見もあり，生涯研修はきちんとやっているのに，新しい制度は必要ないとの意見もあるが，教員免許が来年度から更新制になり，様々な分野で資格と研修・能力といったもので，国民の目に分かり易い制度を導入するという，社会的要請に対応できるものでなければならない。責任を負う意味でも責務を負う必要があるとの認識である。

この制度は拙速にやろうとしているものでは

ないが、この 2 年間にいろんな意見をいただいております。県医師会・都市医師会の理解の下にスタートしたい。国民の為の医療を考え、政府・行政主体の財政優先の医療制度であるが、このような流れを是正するためにも、医療の学術性、医療・保健・福祉の重要な役割等を認識して、最重要課題として建設的な新しい試みをお願いしたい。本日は、忌憚のない意見をお願いしたい。

報告 「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」認定制度(案)について

- 日医飯沼常任理事

なぜ、このような制度を導入しなければならないかという背景としては、医療事故の多発、過度の専門性に偏りすぎており、全体が診られる医師が欲しいとの世間の自浄的要請がある。一方、日医は平成 4 年発行の日医生涯教育のカリキュラムを 3 回改訂しており、平成 18・19 年度の学術推進会議では、「かかりつけ医の質の担保について - 日医認定かかりつけ医(仮)」について検討しており、生涯教育推進委員会では、生涯教育制度の有効性について検討してきた。

患者側からは、かかりつけ医師とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師が求められていると認識して日医グランドデザイン 2007 各論で定義した。かかりつけ医の医師の質の担保、医療水準保持の保証は行政が関与するものではなく、プロフェッションの団体である日医が担うべきであると、平成 18 年夏から秋頃にかかりつけ医としての総合医、総合診療医という名前を発表した。

厚労省は平成 19 年 5 月に標榜科として、総合科、総合科医を発表したが、初期診療を総合科医とすることは、患者から医療機関を自由に選択できる権利を奪う。すべての医師が総合

科医になるわけではなく、結果的にアクセスポイントが減少する。地域格差も広がりかねない。

新たな認定制度を設置することで、官僚の権益が拡大する。地域の医療提供体制全体の管理統制にもつながる。それにより、人頭払いなどの次の医療費抑制への布石になり、フリーアクセスの崩壊につながる事が明白だったので、日医として反対した。日医の総合医、総合診療医の名称の半年後に、厚労省は、同じような言葉により、上記のような制度を発表した。そこで、混乱をきたしてきたので、日医としては名称を変更して「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」認定制度とした。

認定制度をめぐる学術推進会議での反対意見としては、医師の間に認定医の資格を持っている者と、持っていない者という格差ができる。

認定制度がフリーアクセスの制限、人頭割り、定額払い、総枠規制に結びつく可能性がある。賛成意見としては、患者が受診する際、当該医師が総合的な診療能力を有しているかを知ることが出来、ひいては適切な受療行動を取ることができる。医師免許の更新制を求める声について、認定医の更新を医師の集団が自発的に行うことによってクリアできる。大学病院や総合病院で長年、専門医として勤務してきた医師が開業する際の学習内容とする。等とあり、学術推進会議報告書では、一部の委員から異論があったが、認定制について前向きな議論をすすめてきたとされ、両論併記のうえ、最終的には日医の判断を仰ぎたいと答申された。日医が中心となるが、日医だけでなく、日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会、日本総合診療医学会の 3 学会と共同して総合医認定のためのカリキュラムを作り、認定の実務を担う方が良いのではないかという意見が出され、日医認定総合(診療)医構想については日医が中心となり、関連 3 学会との協力で行うことになった。なお、3 学会は平成 2 年 4 月を目途に合併協議

中である。

教員免許更新制度が平成 2年 4 月から導入されることもあり、現状の国民感情から医師免許更新制の声があがることも考えられる。

地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師の認定は、国民の目から見える形での質の担保であり、それにより、安心して受診できるという国民からの要請でもある。これまでの自己申告による生涯教育制度では、達成度が客観的に評価されておらず、国民の信頼を得にくい現状があり、客観的に質を担保し、社会から評価されるものに変えていく必要がある。一方、日々、地域医療を行っている医師は、地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を既に有しており、日医が学術専門団体としてそれを担保し、国民に示す必要がある。地域住民が安心して受診できるよう、さらに医師としてより良い医療を国民に提供することが大切だと考えており、日医は学術専門団体として、国民の期待に応える必要があると考えている。認定制度が、フリーアクセスの制限、人頭割り、定額払い、総枠規制に結びつく可能性があるのではないかと意見は学術推進会議でも出されており、最も懸念がある点かと思われる。医師の研修、医師の医療水準を支えていくシステムは、行政が関与するものではなく、学術専門団体である日医が担うべきであり、唐澤会長は、平成 19年 10 月の臨時代議員会において、医師の研修、医師の医療レベルを支えていくシステムを我々の手で持ちたいと述べている。厚労省は、日医の取り組みを見守りつつ、状況に応じて検討すると言っており、日医がこの問題に取り組まなければ、厚労省が日本プライマリ・ケア学会等の関連 3 学会の認定を追認することにより、必ず認定制度を立ち上げることになると思われる。厚労省の認定となった場合は、それこそフリーアクセスの制限、人頭割り、定額払い、総枠規制に結びつく可能性が強い。

そういうことで制度の創設をしたいと考え、学術推進会議報告書、生涯教育推進委員会答申を受け、平成 20年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会や都道府県医師会へのアンケート調査での意見を踏まえて、日医執行部において議論を重ね、「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師 認定制度(案)」としてとりまとめた。

日医が関連 3 学会やカリキュラム作成に参加した日本老年医学会、日本小児科医会、日本臨床内科医会、日本専門医制評価・認定機構等の協力を得て認定制度を創設し、国民の要請に応えたい。

## 1. 名 称

地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師の内容を的確に表現できるものとして、日医認定総合診療医等の 1 案を候補としている。日医は従来からかかりつけ医という名称を使っていたが、患者からみた医師の役割を示す表現であるので、認定制という枠組みで用いる名称としてふさわしくない。厚労省の提唱する総合科構想と日医の総合医が似通っており、地域により混乱を招きかねないことから、厚労省提案の総合科構想と明確に区別するため、総合医ではなく、総合診療医と呼ぶことが生涯教育委員会報告書に提言された。

## 2. 認定コース

これから更に詰めていきたいが、年数で区分して 4 つに分けた案を示している。

コース : 2 年間の卒後臨床研修を終了した医師。研修プログラムに則って、3 年間以上の実務研修。

コース : 臨床経験 7 年以上、15 年未満の医師。  
50 単位(1 単位は 1 時間の講義・実技)カリキュラムの 7 カテゴリから受講者が選択。

コース : 臨床経験 15 年以上、45 年未満の医師。

20単位。カリキュラムの7カテゴリから受講者が選択。

コース : 臨床経験 4年以上の医師。必要に応じて今後検討。

### 3. 制度開始時期

平成 22年 4月までに実施したいと考えており、カリキュラムについては、平成 22年 4月から移行することもでき、今後検討する。

### 4. 認 定

日医内に認定機構を設置して、関連3学会が幹事として参加する形を取り、学会・医会等も参加する組織としたい。第三者も入れることも考慮しないといけない。

### 5. カリキュラム

関連3学会と日本老年医学会、日本臨床内科医会、日本小児科医会、日本専門医制評価・認定機構の協力を得て作成した、生涯教育カリキュラム～総合診療医の養成をめざして～(案)を、4都道府県医師会、日本医学会加盟10学会、全国医学部長病院長会議(各80名)に意見を聞いており、11月中を目途にしているが、完成次第日医雑誌に同封して会員に配布したい。現在のカリキュラムのバージョンアップであるので、現在のカリキュラムは改定されることになる。

新カリキュラムの内容は、行動目標は 医療専門職としての使命 全人的視点 医療の制度と管理 予防・保健 地域医療・福祉 臨床問題への対応 継続的なケアの7項目である。特に臨床問題への対応として、50の症状・病態について継続管理ができるようにする。

### 6. 履修方法(単位の修得方法)

講習会、eラーニング、アセスメント付日医雑誌読後回答等が考えられ、単位の互換性も含めて単位制にしたい。日医の認定産業医制度みたいなものになるのではないかと。学習方法は、eラーニングでの学習、インターネット

ト生涯教育講座、ビデオライブラリーやセミナー開催状況も情報提供したい。

### 7. 認定手続

認定産業医と同様の仕組みを想定しており、受講→終了→申請→認定の手順により、受講シール・受講スタンプ形式とする。試験は行わないが、国民に努力を理解される仕組みとするため、アセスメントを行う。

### 8. 更新・再認定

5年毎に更新を行い、必要単位数等は今後検討する。

### 9. 制度の見直し

5年を目途に行う。

### 10. 認定料等

会員・非会員の区別を含めて、今後検討する。

### 11. 学会認定医・専門医との整合性

とても難しい問題であり、学術推進会議等で今後検討していく。

まとめとして、医師が使命感を持って参加できるようなシステムを作り、カリキュラムを履修した医師なら、地域の住民が安心して受診できるという信頼に繋がる制度にしたい。地域により医療資源の差がある中で、全国一律の画一的な認定制度を進めることが、地域の実情にあった適切な医療の提供となるのかとの指摘もあるが、同一のカリキュラムに基づいた生涯教育を行うことで、いつでも、どこでも、誰もが平等に医療を受けることができるという国民皆保険制度の精神を体現できると考えている。その履修課程においては、当然、地域の実情に応じた学習方法が提供されることになる。本認定制度の対象は全科にわたるものであり、内科に限ったものではない。手をあげた医師全員に参加していただく制度であり、できるだけ多くの医師に参加していただきたい。

本制度の創設は、国民の目から見える形で

の医療の質の担保であり、それにより、一層安心して受診できるという国民からの要請である。医師の研修、医師の医療水準を支えていくシステムは行政が関与するものではなく、学術専門団体である日医が関連学会等の協力を得て、国に先駆け、これまでの生涯教育制度を底上げして、認定制度を主導的に創設することこそが、国が考えていると思われるフリーアクセスの制限、人頭割り、定額払い、総枠規制に結びつかない唯一の方策であると考えている。現在、都道府県医師会より、ご意見をいただいたところであり、いただいた意見を反映させたいと考えているので、本制度の創設について理解いただくとともに、建設的な意見をいただきたい。

各都道府県医師会への事前アンケート調査での賛否

賛成・概ね賛成；7県

保留・賛否両論・継続して協議；20県  
(宮崎県を含む)

反対・概ね反対；20県

質疑応答(抜粋)

Q：勤務医については対象外であり、大学病院・急性期病院でバリバリ手術しているような医師には関係ないと思う。診療所医師のみの制度ではないかと思ってしまう。幅広い認定制度と思うが6割を占める勤務医のものではない。これで厚労省と対峙していけるとは思えない。この制度は、全ての医師についてではなく、医師免許の更新制が導入された際にも利用できるのことであったが、今は、開業診療所医師に特化してあるのであれば、制度自体がゆるんでいくのではないかと。耳鼻科・眼科等の専門医は関係ないが、できれば受講して欲しいとのことなのか。また、研修時間

の担保はできるのか。

A：大学病院・急性期病院の勤務医へは、直接は関係ないかもしれないが、生涯教育カリキュラム1～5は総論的な部分であり、全ての医師が対象となる。開業医でファーストコンタクトをとる医師に焦点をあててカリキュラムを組んでいる。専門医等には関係ない制度かもしれないが、開業を考えたりした際において活用いただければ良いと思う。大学でも総合診療医的な分野を勉強していただくとありがたい。教員免許は平成2年4月から導入されるが、免許更新が義務化された場合には、この制度を実施しておれば利用できると考える。臨床経験1年以上で20時間の研修カリキュラムでは足りないとの意見もあるが、とりあえずの数値を示しているものであり、検討の余地はある。認定産業医は50時間であるが、少なくともセルフアセスメントをやっていたきたい。単位は今後調整していく。

Q：本日は協議会と思い出席したが、最初から創設することが大前提で話が進んでいるのはおかしくないか。この認定制度の施行については、日医代議員会で採決せずに制度を決めてよいのか。なぜ反対意見や疑問が多いのに制度創設を急ぐのか。

A：平成2年4月から認定制度をスタートすることは決まっている。生涯教育委員会が作ったカリキュラムを来年4月から導入する予定なので、カリキュラムの変更等を議論していただきたい。代議員会は予算・事業計画等を議決しており、日医理事会で議決すれば良いと考える。(一次中断後)日医代議員会の議決を要する事項ではないが、代議員会に議決を求めても良い重要な事項なのかもしれない。

出席者 - 松本常任理事、小川課長

## 日医 FAX ニュースから

### ■ 医療者による裁判員の辞退・柔軟な判断を — 日医、法務大臣らに要望 —

羽生田俊常任理事は 11月 5 日の定例会見で、2009年 5 月に施行する裁判員制度について、裁判員に選ばれた医師など医療従事者が仕事を理由に辞退を希望する場合、医療の特殊性を踏まえ柔軟に判断するよう、森英介法務相ら関係者に申し入れたと発表した。

唐澤人会長名で、森法務相のほか、最高裁の島田仁郎長官らに文書を提出した。都道府県医師会や医療関係団体にも、申し入れ内容を近日中に送付する予定。

羽生田常任理事は「実際に辞退を認めるかどうかは、裁判官がその都度、判断すること」としながらも、「最高裁の大谷剛彦事務総長と直接話をしたが、患者を相手にした仕事ということで大変よく理解いただいたと認識している」と述べた。

裁判員制度では、裁判員を辞退することは原則として認められず、「仕事が忙しいから」などの理由では辞退することができない。ただ「事業上の重要な用務を自分で処理しないと著しい損害が生じる恐れがある」場合など、法律や政令で定められた辞退事由に該当すると裁判所が認めれば辞退することができる。

羽生田常任理事は「全国の会員から、裁判員に選任されていても患者をすぐに診なければならぬという状況が発生した場合、辞退することができるのかという質問が、日医に数多く寄せられた。法務相や最高裁の事務総長に面会し、対応策について相談した」と経緯を説明した。羽生田常任理事はまた「これは医師以外にも、看護師などさまざまな医療従事者にかかわること」と述べ、提出した文書では「医師および医療従事者」として要望したと説明した。（平成 20年 11月 7日）

### ■ 2 次医療圏の 8 割で「病院医師が不足」と認識 — 日医・医師確保調査 —

内田健夫常任理事は 11月 12日の定例会見で、都道府県医師会や病院を対象に実施した「医師確

保のための実態調査」の中間速報を発表した。内田常任理事は 12月初旬にも最終報告を取りまとめると説明。「診療科別、地域別の問題点の詳細分析を行い、優先的・重点的に医師確保策を進めるべき分野を検討する」と述べた。

都道府県医師会調査の有効回答数は 42医師会（89.4%）。2 次医療圏別の医師の偏在・不足についての認識、医師確保のための対策、医学部定員数を過去最大化することへの意見について調査した。

中間速報では、病院医師が「不足」していると認識されている 2 次医療圏は 84.2%で、診療所医師が「不足」していると認識されている 2 次医療圏は 39.3%だった。また医師確保のための施策として、39医師会が「小児救急電話相談事業（#8000）を実施している」と回答。うち 61.5%が「効果があった」としている。

一方、病院調査の有効回答率は 48.2%で、内訳は 2008年度臨床研修プログラム参加病院（全数）の 53.3%、一般病院（2 分の 1 抽出）の 43.4%、精神科病院（5 分の 1 抽出）の 53.7%。医師数とその変化、医師不足による影響、医師の過不足感（病院長の回答）、臨床研修制度導入前後の変化について調べた。

5 年前と比べた医師数全体の変化では、39.6%が「減少」と答えた。また大学や公的病院から供給を受けている医師数が「いなくなった、減少した」病院が 52.3%となった。医師が「不足」としていると考える病院長は 59.9%だった。

新医師臨床研修制度施行後、医師の離職が「増加」した病院は 32.4%。また 74.3%が指導医の負担が「増加した」と回答した。

（平成 20年 11月 14日）

### ■ 5 分ルール「前提崩れた」と診療側 — 中医協 —

厚生労働省は 11月 19日の中医協総会（会長＝遠藤久夫・学習院大教授）に、2008年度診療報酬改定の付帯意見にある「基本診療料の在り方の検討」について「検討対象は、外来管理加算に限定するものではなく、基本診療料全体を対象とする」との案を提示した。診療側は「政管健保の肩代わり

法案の成立の見通しが立たず、5分ルール的前提が崩れた」として、外来管理加算だけを個別に議論するよう強く要請したものの、支払側は「不毛な議論」として取り合わなかった。最終的に遠藤会長は「全体の中で議論したい」と総括し、中医協総会として厚労省案を了承した。

総会で竹嶋康弘委員(日医副会長)は、08年度改定で外来管理加算に「5分ルール」が導入されたことで、全体で800億円の減収になっていることが、日医が実施したレセプト調査で判明したと説明。「厚労省は当初は240億円と想定していたが、結果的に大きな影響が出ている」と述べた。

その上で「政管健保への国庫負担を健保組合などが肩代わりする特例法案は成立の見込みがない。08年度改定の議論では、診療側と支払側の双方が痛みを分かち合うべきとの前提があったが形が変わってきた」と述べ、5分ルールの早急な見直しを求めた。

これに対し対馬忠明委員(健保連専務理事)は「診療所も血を流すべきだと主張したのは外来管理加算についてではない。われわれは疲弊する病院勤務医を救うためには、診療所の再診料を引き下げるのが分かりやすいと主張してきた。国庫負担の肩代わりと外来管理加算はパートナーではない」と反論。「建設的で実りある議論にはならない。公益委員に判断してもらった方がいい」とも述べ、外来管理加算だけ個別に議論することを否定した。(平成20年11月21日)

#### ●個別でなく基本診療料全体の議論で

対馬委員の主張に対しては「健保組合が支援金を了承したから診療所も血を流すべき、との主張が外来管理加算の要件見直しにつながったことは事実。不毛な議論ではない」(中川俊男委員、日医常任理事)、「外来管理加算は改定の根幹にかかわる問題。個別に議論すべき」(藤原淳委員、同)と診療側も譲らなかった。しかし遠藤会長は「要望は分かるが、基本診療料の全体の中で議論したい」と述べ議論を収めた。

外来管理加算の個別の議論については却下されたものの、同日の総会では、基本診療料の全体の在り方の議論の中で、日医が調査資料を提出することについては了承された。日医は12月

の中医協で、外来管理加算の実態調査の結果を提示する予定だ。(平成20年11月21日)

## ■消費税、当面は「目的化」維持すべき

### — 日医が見解 —

中川俊男常任理事は11月19日の定例会見で、消費税に関する最近の議論に対する現時点での日医の見解を示した。中川常任理事は「消費税の大幅な引き上げが達成されにくい現状で、『目的税』で縛るのは社会保障費の抑制に直結しかねない」と指摘。「当面は『目的化』を維持し、負担と給付について十分に国民の合意を得た上で、『目的化』のままか『目的税化』かを検討すべきだ」と述べた。

中川常任理事は「社会保障財源として、消費税引き上げの議論が社会保障国民会議を中心に広がっている」と指摘。日医のスタンスを明確にしておく必要があるとした。その上で日医は10月に、社会保障の財源確保のため 1 医療保険財政の改革 2 特別会計の改革 3 独立行政法人の改革 4 消費税の検討 - の4点を合わせて進めるべきとの主張を打ち出したことをあらためて説明した。

消費税引き上げに関連して、「保障の理念で運営すべき」とする日医提案の75歳以上の高齢者医療制度に言及。国による公費負担9割と高齢者の家計負担(保険料と一部負担金)1割の財政構造を実現させる際、不足する約0.8兆円分について「消費税収が上がった時、ぴったりの受け皿になるだろうと思っている」と述べた。

また税の「目的化」と「目的税」それぞれの問題点も説明。現在の「目的化」については「財政規律が働きにくい」「安定的財源になりにくい」といった点を挙げる一方、「目的税」には「支出が税収を上回る場合、社会保障費の抑制に直結する」などの問題があると指摘した。

また08年度の消費税収は、基礎年金、後期高齢者医療、介護の国庫負担に充てる必要額に対して5.8兆円不足していることから、「消費税を引き上げても不足分の穴埋めに消えてしまう」としながら、当面は「目的化」を維持すべきとの考えを示した。(平成20年11月21日)

## 医 事 紛 争 情 報

— メディファクスより転載 —

### ■ 患者転倒死で遺族に賠償。岐阜市，1700万円

岐阜市は8月29日，昨年8月に岐阜市民病院の浴室で転倒，死亡した80代の男性患者の遺族に約1700万円の賠償金を支払う方針を決めた。

市によると，男性は腎不全や糖尿病治療のため入院。病棟の浴室でシャワーを浴びた後，脱衣場へ移動する際に両脇を抱えていた30代の男性看護師の腕をすり抜け転倒，頭などを打ち，その後死亡した。病院側は滑りやすい材質の床を放置していたと過失を認めて，遺族に謝罪し，市が補償交渉を進めていた。

### ■ 両手足まひに 4500万円

鳥取県立厚生病院(倉吉市)は9月2日，同県北栄町の患者が椎間板ヘルニアの手術後に両手足まひになったのは医療過誤が原因だとして，患者に慰謝料や医療費など計約4500万円を支払うことを決めた。

病院によると，患者は首の痛みや両手のしびれを訴え，2005年3月，脊髄を圧迫するヘルニアを取り除く手術を受けたが，全部は取り除けなかった。

手術後に浮腫ができ，脊髄を圧迫して右手足がまひした。そのため再度手術を受けたが，浮腫が広がり，左の手足もまひしたという。

前田迪郎院長は「ミスの具体的な内容は特定できないが，まひは手術によって生じたので，支払うことにした」と話している。

### ■ 「過労で女医自殺」和解，遺族に支払い

女性医師(当時28)が自殺したのは過労が原因として，関西に住む両親が十全総合病院(愛媛県新居浜市)側に約1億9000万円の損害賠償を求め

た訴訟は9月5日までに，6600万円を支払うことで大阪高裁(横田勝年裁判長)で和解した。成立は8月28日。

1審大阪地裁は昨年5月，過重な業務が自殺の主な要因だったとして，病院側の注意義務違反を認め，約7600万円の支払いを命令。双方が控訴。高裁は2回にわたり和解を勧告していた。

1審判決によると，女性は2002年1月から同病院の麻酔科に勤務。03年2月には診察中にてんかんが原因とみられる発作を起こし入院した。職場復帰したがうつ症状が現れ，04年1月，病院内で麻酔薬を注射して自殺した。

### ■ 市立病院看護師を処分，器具装着ミスで患者死亡

名古屋市中村区の市立城西病院で昨年11月，同区の女性患者(当時72)が窒息死した事故で，名古屋市は9月4日，気管に付ける器具を間違えたことが原因として，担当の女性看護師(43)を戒告の懲戒処分に，監督責任を問い，病院長と看護師長を文書で厳重注意とした。市によると，看護師は昨年11月15日，たんを吸引する管を患者の気管に取り付けようとした際，誤って，息が吸えても吐けないタイプの弁を管に装着。患者は約2時間後に窒息死した。市は過失を認め，2400万円の損害賠償金を遺族側に支払うことで今年7月，和解が成立した。

### ■ 入院患者の身体拘束は違法

愛知県一宮市の病院に入院した岐阜県大垣市の女性(当時83)が病院のベッドに身体を不当に拘束され苦痛を受けたとして，家族が病院を経営する医療法人「杏嶺会」に600万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決が9月5日，名古屋高裁であった。西島幸夫裁判長は請求を棄却した1審判決を変更，違法な身体拘束があったと認め計70万円の支払いを命じた。判決理由で西島裁判長は「拘束しなければ重大なけがをするという切迫した危険性があったとは認められず，ほかの措置に十分に代替可能で拘束は違法」と述

べた。

判決によると、女性は2003年10月、腰痛で一宮西病院に入院。深夜に病院内を徘徊する症状があり、看護師はひも付きの手袋でベッドに拘束し、女性は手首などにけがをした。06年9月に死亡した。1審の名古屋地裁一宮支部判決は「拘束以外に危険回避の手段はなかった」として請求を棄却していた。

### ■ 血糖値の管理怠り障害，6800万円 支払示談

大阪府八尾市は9月8日、市立病院に入院している女性患者(57)の血糖値管理を怠るミスがあり、患者に重い障害が残ったため解決金6800万円を支払うことで示談が成立した、と発表した。

病院によると、女性は2006年2月、胃がんの手術をして約1か月後に退院。その後、精神的な理由で食事が取れなくなり、入退院を繰り返した。同年5月、栄養状態改善のため点滴で栄養剤を投与した際、数日後に血糖値が通常の10倍以上になり、重い脳障害が残ったほか、右足が壊死し切断せざるを得なくなったという。

病院は「栄養剤と高血糖、脳障害の因果関係は不明だが、こまめに血糖値を測っておらず、管理を怠ったのは明確なミス。再発防止に努める」としている。

### ■ 手術ミスで1千万支払い

大阪府松原市は9月8日、市立松原病院で女性患者(75)の胃に取り付けたチューブを交換する手術でミスがあったことを認め、1000万円を支払うことで遺族と示談が成立したと発表した。女性は手術の翌日に死亡した。

病院によると、女性は2007年2月に脳梗塞で入院。口から栄養が取れなかったため、3月に内視鏡で胃に穴を開け、胃から栄養が取れるようにチューブを取り付けた。

その後、ことし4月8日に実施した3回目の

チューブ交換手術で胃にきちんと取り付けられず、女性はストレス性出血性胃炎を起こして吐血、4月9日に死亡した。死亡とミスとの因果関係は不明という。

桑田博文院長は「再発防止に向け、一層医療の安全に努めていく」とのコメントを発表した。

### ■ 研修医死亡で和解

奈良県立三室病院(同県三郷町)の男性臨床研修医(当時26)が心不全で死亡したのは長時間労働のためだとして、両親が損害賠償を求めた訴訟で、県は9月11日、県が8300万円を支払う和解案に双方が合意したと発表した。県議会の議決を経て和解が成立する。県によると、研修医は2003年4月から同病院で研修を始め、04年1月、宿舎で心不全を起こし死亡。時間外勤務は03年7～12月で月平均98時間だった。心臓に持病を持っていたという。06年12月、公務災害に認定された。県は事故後、指導医が月1回の面談などで研修医の健康を管理。状態に応じて勤務を制限するようにしているという。

### ■ 薬剤過剰投与で患者死亡、容疑の 開業医を書類送検

横浜市旭区の内科医院で昨年2月、抗不整脈剤を誤って過剰に投与し、同区の女性患者(当時86)を死亡させたとして県警は9月10日、業務上過失致死容疑で、院長(59)を書類送検した。「完全に自分のミス」と供述しているという。

調べでは、院長は昨年2月9日、高血圧などで通院していた女性に抗不整脈剤「リドカイン」200ミリグラムを通常の10倍の速さの約1時間で点滴した疑い。約30分で容体が急変して意識不明になり、転院先の病院で同年9月に死亡した。

同病院で「リドカイン」を使用したのは初めてで、その場にいた准看護師らも、ミスに気付かなかった。

## 薬事情報センターだより ( 259 )

## 新薬紹介( その 21 )

今回は 9 月に薬価収載されました加齢黄斑変性症治療剤マクジェン硝子体内注射用キット 0.3mg ( 一般名: ペガブタニブナトリウム ) と免疫抑制剤グラセプターカプセル 0.5mg・1mg・5mg ( 一般名: タクロリムス水和物 ) について紹介したいと思います。

マクジェン硝子体内注射用キット 0.3mg  
( 一般名: ペガブタニブナトリウム )

マクジェンは、日本で初めての抗 VEGF アプタマー製剤( 1 本鎖核酸を化学合成した分子で、その 3 次元構造により、蛋白質その他の標的分子に対し特異的に結合する分子 ) で、加齢黄斑変性症 ( AMD ) の病的血管新生に強く関与している VEGF₁₆₅ に高い選択性を示し、中心窩下脈絡膜新生血管を伴う AMD 疾患の根本原因を標的とする初めての治療薬です。

加齢黄斑変性症の中でも脈絡膜新生血管を伴う滲出型 AMD は脈絡膜新生血管 ( CNV ) とその増殖変化を本態としますが、CNV 形成に血管内皮増殖因子 ( VEGF ) が関与し、血管新生及び血管透過性亢進を誘導しています。マクジェンは眼にみられる複数の VEGF アイソフォームのうち、病的血管新生にもっとも関与している VEGF₁₆₅ に選択的に結合して、受容体との結合を阻害する薬剤です。

2008 年 1 月現在、欧米を含め 53 の国又は地域で承認されています。本邦では、2004 年 7 月に希少疾病用医薬品に指定され、2004 年 7 月から 2006 年 10 月まで国内臨床試験を実施され、2007 年 8 月に外国臨床データを含めた臨床データパッケージを以て承認申請が行われ、2008 年 7 月に「加齢黄斑変性症治療剤」として承認されました。

グラセプターカプセル 0.5mg・1mg・5mg  
( 一般名: タクロリムス水和物 )

タクロリムスは 1984 年に茨城県で分離された放線菌 *Streptomyces tsukubaensis* の代謝産物として発見されたマクロライド構造の化合物で、カルシニューリン活性を阻害する事で T 細胞の活性化を選択的に抑制します。わが国では、1993

年 4 月にプログラフの製品名で「肝移植における拒絶反応の抑制」で初めて適応を取得され、以後「腎移植、肝移植、心移植、肺移植及び脾移植における拒絶反応の抑制」及び「骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制」の適応が取得されています。

臓器移植患者は生涯にわたって免疫抑制剤の服用が必要であり、ノンコンプライアンスは、急性拒絶反応、臓器廃絶、慢性拒絶反応を引き起こす主要因と報告されています^{1)~6)}。移植臓器の長期生着や患者の長期生存のためのコンプライアンスの改善及び維持は、重要な課題であると考えられ、1 日 1 回投与の新規経口タクロリムス製剤であるグラセプターの臨床試験が実施されました。その結果、プログラフと同様の安全性と有効性が示され、2008 年 7 月、「腎移植、肝移植、心移植、肺移植、脾移植における拒絶反応の抑制」、「骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制」を効能・効果として、グラセプターカプセル 0.5mg・1mg・5mg が承認されました。

- 1) Butler, J.A. et al.: Transplantation 77 ( 5 ): 769, 2004
- 2) Denhaerynck, K. et al.: Transpl. Int. 18 ( 10 ): 1121, 2005
- 3) Vlamincck, H. et al.: Am. J. Transplant. 4 ( 9 ): 1509, 2004
- 4) Dobbels, F. et al.: J. Heart Lung Transplant. 23 ( 11 ): 1245, 2004
- 5) Dew, M. A. et al.: J. Heart Lung Transplant. 18 ( 6 ): 549, 1999
- 6) O'Carroll, R. E. et al.: Liver Transpl. 12 ( 12 ): 1862, 2006

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

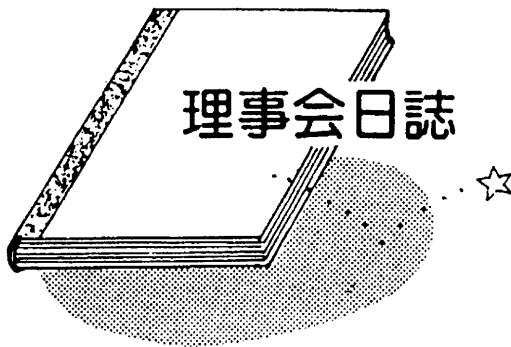
資料提供・協力

ファイザー株式会社

( マクジェン硝子体内注射用キット 0.3mg )

アステラス製薬株式会社

( グラセプターカプセル 0.5mg・1mg・5mg )



平成 20年 10月 28日(火) 第 13回常任理事会

医師会関係

( 議決事項 )

- 1 . 本会外の役員等の推薦について  
県立病院事業評価委員会委員への就任について  
稲倉会長の就任が了承された。
- 2 . 11/11(火)県福祉保健部・病院局との懇談会  
における協議事項について  
提出議題 ( 1 件 ) について検討が行われた。
- 3 . 2 / 21(土) ( 県医 ) 自賠責保険研修会の開催について  
研修会の開催 ( 案 ) について説明があり、  
了承された。
- 4 . 11月・12月の行事予定について  
詳細な説明があり、追加行事の確認が行  
われた。
- 5 . その他  
役員一同として包む香典の取り扱いにつ  
いて  
従来の申し合わせにより取り扱うこと  
が了承された。

( 報告事項 )

- 1 . 週間報告について
- 2 . 10/24(金) ( 宮観ホテル ) 宮崎政経懇話会につ  
いて
- 3 . 10/26(日) ( 日医 ) 日医臨時代議員会について

- 4 . 10/27(月) ( 九州厚生局宮崎事務所 ) 九州地方社  
会保険医療協議会宮崎部会総会について
- 5 . 10/27(火) ( 福岡 ) 九州地方社会保険医療協議会  
総会について
- 6 . 10/27(月) ( 県医 ) 定款・諸規程検討委員会につ  
いて
- 7 . 10/25(土) ( コテージ・ヒムカ ) 病院部会・医療  
法人部会合同研修会について
- 8 . 10/25(土) ( 県医 ) ACLSインストラクター養成ワー  
クショップについて
- 9 . 10/26(日) ( 県医 ) ACLS ( 二次救命処置 ) 研修会  
について
10. 10/27(月) ( 県庁 ) 県国民保護共同図上訓練につ  
いて
11. 10/28(火) ( 県医 ) 治験 ( 事前 ) 審査委員会につ  
いて
12. 10/27(月) ( 県医 ) 広報委員会について
13. その他

平成 20年 11月 4 日(火) 第 14回常任理事会

医師会関係

( 議決事項 )

- 1 . 本会外の役員等の推薦について  
県国民健康保険診療報酬審査委員会 ( 保険  
医代表 ) の推薦について  
任期満了による委員の推薦依頼であり、  
選任基準 ( 内規 ) に沿って進めることになっ  
た。なお、県医師会からは、富田副会長、  
濱田常任理事を推薦することが了承され  
た。
- 2 . 宮崎県新型インフルエンザ対応指針第 4 版  
( 案 ) について  
各郡市医師会、公衆衛生・感染症委員会  
の各委員に意見照会を行った。意見が返っ  
て来ているので、それを纏め報告したいと  
の説明があり、了承された。
- 3 . 障害者自立支援法にかかる主治医研修会に  
ついて

11月 27日(木)に計画(開催)したいとの説明があり,了承された。

4. 11/24(月)・振替休日)(日医)平成 20年度日本医師会医療事故防止研修会について

開催案内であり,濱田常任理事他 1 名の出席が了承された。

5. 指導医養成のためのワークショップについて

12月 20日(土)・21日(日), 1泊 2 日の日程で計画(開催)したいとの説明があり,了承された。

なお,九州厚生局主催の指導医養成講習会の宮崎での開催申し出(2月頃)について,引き受けることが申し合わされた。

6. かかりつけ医認知症対応力向上研修について

都城地区を 12月 27日(土),宮崎地区を 1月 10日(土),延岡地区を 1月 17日(土)に計画(開催)したいとの説明があり,了承された。

7. 介護保険に関する主治医研修会について

都城地区を 2月 6日(金),延岡地区を 2月 12日(木),宮崎地区を 2月 19日(木)に計画(開催)したいとの説明があり,了承された。

8. 治験促進センター機構・治験審査委員会の委員変更について

治験の実施基準に治験審査委員会の設置者が治験支援業務を行ってはいならないとなっている。よって治験促進センター長と審査委員会の長が重複しないよう次のとおり変更したい。治験促進センター長の大坪睦郎先生が辞任,その後任として松本常任理事が就任。審査委員である松本常任理事が委員を辞任するとの説明があり,了承された。なお,審査委員会委員の役職名の表記を全て医療機関名に統一するとの追加説明があった。

9. 2/25(水)県医師会創立 120周年記念医学会について

内容は例年同様(医神祭・表彰祝賀,医学賞講演,特別講演)とし,特別講演については,九州厚生局の青柳親房局長にお願いすることが了承された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/29(火) 支払基金 支払基金幹事会について

3. 10/30(水) 宮崎産保推進センター 宮崎産業保健推進センター運営協議会について

4. 10/31(金) 長崎 九州医師会連合会常任委員会について

5. 10/31(金) 長崎 九州各県・政令指定都市保健医療福祉主管部局長及び九州各県医師会長協議会について

6. 10/29(火) 県医 労災診療指導委員会について

7. 10/30(水) ウェルシティ宮崎 みやざき愛の献血運動推進県民大会について

8. 10/30(水) 県医 県の立入検査について

9. 11/3(月)・祝日)(ハイビスカスゴルフクラブ 県医親善ゴルフ大会について

10. 10/28(火) 県医 治験理事会について

11. 11/4(火) 県医 治験審査委員会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 県医師連盟執行委員会について

11月 25日(火) 19:00から開催することが了承された。

なお,議題は,報告事項として,会員対象に実施した次期衆議院議員選挙にかかるアンケート調査結果の説明。協議事項として,衆議院選挙区の推薦候補の決定及び比例区の政党及び次期参議院議員比例区の推薦候補の決定についてとする。

平成 20 年 11 月 11 日(火) 第 14 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 業務委託について

- 熟年医師調査事業に関する業務委託について  
原案どおり契約することが了承された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
2/8(日) JA・A ZM ホール 第 2 回認知症ケアセミナーご後援のお願いについて  
後援することが了承された。
3. 役員報酬支給について  
役員報酬規程に基づき、12月2日に支給することが了承された。  
併せて、顧問料(弁護士・税理士・労務士)の支払についても了承された。
4. 職員の冬期手当支給について  
職員給与規程に基づき、期末・勤勉手当を12月10日に支給することが了承された。
5. 11/14(金) 県庁本館前庭 世界糖尿病デー in 宮崎 2008について  
「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が2006年12月20日に国連総会議で採択された。それに伴い11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で啓発運動を推進する日に決まった。今年、宮崎でも行うということで、宮崎県庁をシンボルカラーのブルーにライトアップし、その後音楽演奏などのイベントを行う。主催は県糖尿病対策推進会議であるとの説明があり、長倉理事の出席が了承された。
6. その他  
11/14(金)～16(日) 熊本 九州医師会医学会関連行事の出席者について  
出席者名簿、行程表を配付し、変更確認を行った。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 11/7(金) エコクリーンプラザみやざき 県環境整備公社臨時理事会について
3. 11/10(月) 県総合保健センター 県医療審議会について

4. MRTの取材について
5. 11/10(月) 県医 薬害肝炎弁護団との意見交換について
6. 11/8(土) 新潟 全国学校保健・学校医大会について
7. 11/8(土) 県医 県医師会介護支援専門員(ケアマネジャー)連絡協議会総会・研修会について
8. 10/31(金) 県医 県医師会情報ネットワーク訪問調査(ヒアリング調査)について
9. 11/1(土)・2(日) 県医 日医初級パソコンセミナーについて
10. 11/11(土) 南郷ハートフルセンター 県精神保健福祉大会について

平成 20年 11月 18日(火) 第 15 回常任理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
県周産期医療協議会の推薦及び就任について  
濱田常任理事、佐藤常任理事を推薦することが了承された。
2. 業務委託について  
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修事業の委託契約について  
原案どおり契約することが了承された。
3. 1/20(火) 日医 平成 20年度第 2 回都道府県医師会長協議会の開催について  
開催案内であり、会長の出席確認を行った。また、協議題については、九州医師会連合会(大分)から1題提出することになっているとの説明があり、当該協議会の報告を兼ねた都市医師会長協議会は、来る1月2日(火)に開催する。
4. 1/24(土) 熊本 九州医師会連合会第 300 回常任委員会並びに平成 20年度第 2 回各種協議会の開催について

出席者と提案事項の照会であり、提案事項の起案及び纏めの担当については、下記のとおり決定した。

医療保険対策協議会→河野副会長

介護保険対策協議会→石川常任理事

医療制度対策協議会→古賀常任理事

なお、出席者については、事務局より確認することになった。

5. 2/19(木) 日医 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催通知について

開催案内であり、濱田常任理事の出席が了承された。

6. 12/11(木) 宮崎厚生年金会館 社会保険医療担当者(医科)の集团的個別指導の実施について

立会者の派遣方依頼であり、富田副会長が立ち会うことになった。

7. NHKテレビ「いっちゃんがテレビ」出演協力をお願いについて

新しく医療情報、健康情報の紹介コーナーを企画する(頻度は1~2か月に1回程度)については、医師会のご協力(会員の出演、監修など)をお願いしたいとの申し出があったとの説明があり、協力することが了承された。

8. 診療報酬引当融資及び互助会基金引当融資の金利改定について

宮崎銀行から、金利の改定、現行 2.375%→2.175%に引き下げ(マイナス0.20%)の申し出があり、了承された。

なお、実施日は、平成 20 年 12 月 1 日以降の新規貸付及び次回利息徴求分より適用。

9. その他

郡市医師会忘年会の出席者について

郡市医師会より招待を受けている忘年

会の出席者について検討を行った。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 11/13(木) 宮大医 宮崎大学医学部附属病院宮崎県がん診療連携協議会について

3. 11/14(金) 熊本 九州医師会連合会常任委員会について

4. 11/14(金) 熊本 九州医師会連合会臨時委員総会について

5. 11/15(土) 熊本 九州医師会連合会委員・九州医師会役員合同協議会及び 11/15(土)・16(日)九州医師会総会・医学会等について

6. 11/16(日) 県医 レセプトオンライン請求義務化に関する打合せ会について

7. 11/17(火) 県医 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会について

8. 11/17(火) 県医 県医諸会計監査について

9. 11/18(水) 日医 日医公衆衛生委員会について

10. 11/17(火) 県医 病院部会・医療法人部会合同理事会について

11. 11/18(水) 県医 3地区(児湯・西都・南那珂)医師会特定健診実施医療機関向け事務説明会について

12. 11/18(水) 県医 地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について

13. 11/18(水) 県電ホール 県高齢者保健福祉計画・県介護保険事業支援計画策定委員会について

14. 11/17(火) 県医 広報委員会について

医師協同組合・エムエムエスシー関係

(議決事項)

1. 組合員加入承認について

1名の組合員加入について承認された。

(報告事項)

1. 医協運営委員会について

## 県 医 の 動 き

( 11月 )

- 1 日医設立記念医学大会(日医)  
県精神保健福祉大会(南郷ハートフルセンター)  
( 済陽理事 )  
県外科医会秋期講演会( 済陽理事 )
- 1 ~ 2 全国医師協同組合連合会通常総会  
( 名古屋 )
- 1 ~ 2 日本医師会初級パソコンセミナー  
( 荒木常任理事 )
- 3 県医親善ゴルフ大会(会長他)
- 4 医療審議会打合せ(会長)  
治験審査委員会(富田副会長他)  
第14回常任理事会(会長他)
- 5 家事関係機関との連絡協議会(事務局)
- 6 産業医研修会  
県産婦人科医会情報システム・広報委員会  
( 濱田常任理事 )
- 7 県環境整備公社臨時理事会(会長)  
レセプトオンライン請求義務化に関する社  
保・国保との打合せ会(富田副会長他)  
県産婦人科医会会則等改正検討委員会  
( 濱田常任理事 )
- 8 全国学校保健・学校医大会(新潟)会長他)  
生活習慣病検診従事者研修会(都城市北諸県  
郡医師会館)古賀常任理事)  
県医師会介護支援専門員(ケアマネジャー)  
連絡協議会総会・研修会(石川常任理事)
- 9 糖尿病無料検診・医療相談  
医療安全推進者養成講座講習会(日医)
- 10 県医療審議会(会長他)  
薬害肝炎弁護団との意見交換会(会長他)
- 11 管理・監督者養成講座(事務局)  
第14回全理事会(会長他)  
県福祉保健部・病院局との懇談会(会長他)
- 12 事務局職員研修(事務局)  
日医公衆衛生委員会(日医)吉田常任理事)  
産業医研修会  
3地区医師会特定健診実施医療機関向け事  
務説明会(TV会議：児湯・西都・南那珂)  
( 古賀常任理事 )
- 13 宮崎大学医学部附属病院宮崎県がん診療連  
携協議会(会長)  
県認知症高齢者グループホーム連絡協議会  
理事会  
県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)
- 14 産業医研修会  
九医連常任委員会(熊本)会長)  
九医連臨時委員総会(熊本)会長他)  
世界糖尿病デーin宮崎2008長倉理事)
- 15 九医連委員・九州各県医師会役員合同協議  
会(熊本)

九州医師会総会・医学会(熊本)会長他)  
九医協連購買・保険部会(福岡)

( 立元常任理事 )

- 16 九医学分科会・記念行事(熊本)会長他)
- 17 県医諸会計監査(会長他)  
広報委員会(富田副会長他)  
病院部会・医療法人部会合同理事会  
( 大塚常任理事他 )
- 18 地域リハビリテーション広域支援センター  
連絡会議  
第15回常任理事会(会長他)
- 19 全体課長会(事務局)  
保育システム相談員設置についての講習会  
( 日医)荒木常任理事)  
医協会計監査(会長他)  
県産婦人科医会献金委員会(濱田常任理事)
- 20 産業医研修会(南那珂医師会館)  
県有床診療所協議会総会(会長他)
- 22 全国勤務医部会連絡協議会(千葉)  
( 荒木常任理事他 )  
産業医研修会(河野副会長他)  
生活習慣病検診従事者研修会  
( 延岡市医師会病院)古賀常任理事)
- 24 医師国保組合歩こう会  
日医医療事故防止研修会(日医)  
( 立元常任理事他 )
- 25 医協運営委員会(会長他)  
県医師連盟執行委員会(委員長他)  
県内科医会誌編集委員会  
第15回全理事会(会長他)
- 26 新任職員研修会(事務局)  
支払基金幹事会(会長)  
労災診療指導委員会(河野副会長他)  
県産婦人科医会学術研修(総会改革)委員会・  
小委員会(濱田常任理事)
- 27 県医師会緩和ケア研修会実行委員会  
( 古賀常任理事 )  
県福祉サービス運営適正化委員会運営監視  
部会(吉田常任理事)  
九州地方社会保険医療協議会宮崎部会  
( 河野副会長 )  
広報委員会(荒木常任理事他)  
障害者自立支援法にかかる主治医研修会  
( TV会議：都城・延岡・児湯・西都・南那珂・西  
諸・西臼杵)会長他)  
医師国保理事会(河野副会長他)
- 28 医療安全対策研修会(TV会議：都城・延岡・  
児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵)会長他)
- 29 熊本県医師会100周年記念(熊本)  
九州学校検診協議会専門委員会(福岡)  
( 佐藤常任理事 )  
九州各県医師会学校保健担当理事者会(福岡)  
( 佐藤常任理事 )

## 追 悼 の こ と ば

宮 崎 市 郡 医 師 会

濱 田 不 二 雄 先生

(大正 6 年 7 月 4 日生 9歳)

弔 辞

ここに今は亡き、濱田不二雄先生の御霊前に、宮崎市郡医師会を代表して、哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

一昨日、先生の突然の御逝去の報に接し、会員一同深い悲しみに包まれております。

先生は、近年体調がすぐれず、御入院されて御療養中とお聞きしておりましたので、1日も早い御回復を念じておりましたが、10月21日午前0時23分、9歳の御生涯を静かに閉じられました。

奥様を始め御家族皆様のお嘆きはいかばかりかとお察し申し上げ、衷心より哀悼の意を捧げる次第でございます。先生は、中国、青島にお生まれになり、幼少にしてその才、誉れ高く、長じて医学の道を志され、昭和10年3月宮崎県立宮崎中学校卒業、昭和19年9月京城帝国大学医学部を優秀な御成績で御卒業になり、帰国された翌年の昭和21年11月から県立宮崎病院産婦人科勤務、昭和23年10月から県立日南病院勤務、昭和27年6月から広島県立安芸津病院勤務、昭和31年12月から広島記念病院勤務を経られて、昭和34年11月に宮崎市大工町に「浜田産婦人科医院」をご開業になりました。平成6年6月、御子息の政雄先生に院長職をお譲りになるまでの35年有余の永きに亘り献身的に診療に従事され、

明日を担う多くの新しい生命の誕生を見守られて多くの母子の方々から慈父の如く慕われてきました。その優しく真面目なお人柄は我々医師会員にとりまして、正に範たるものでありました。

先生は御多忙な御診療の傍ら、医師会活動にも積極的に御活躍いただきまして、宮崎市郡医師会理事2年、宮崎市郡産婦人科医会長4年、成人病検診センター細胞診採取委員15年、宮崎看護専門学校講師31年などを歴任され、医師会ならびに地域医療の充実発展、看護師養成に献身的にお取り組みいただきました。

また、御診療を離れられました休日にあつては、囲碁、将棋、ゴルフと幅広い御趣味をお持ちだったとお聞きしております。

先生は、御家庭にありましては、一男二女のお子様に恵まれ、長男政雄先生は平成6年、宮崎市住吉に「はまだレディスクリニック」として移転開業され御立派に先生の御意志を継がれており、県医師会常任理事・宮崎県産婦人科医协会会长の要職に就かれ県内医療界のリーダーとして御活躍ですので、父親として正に後顧の憂いなきものと存じます。

私ども会員にとりまして、先生の御逝去は誠に残念至極に存じますが、先生がこれまでお示し下さいました医療に取り組む真摯な御姿を心に刻みながら、地域医療の発展のため、努力してゆく所存でございます。

濱田先生、どうぞ安らかに眠り下さい。

平成 20年 10月 23日

宮 崎 市 郡 医 師 会

会 長 中 村 典 生

## 追 悼 の こ と ば

西 諸 医 師 会  
ふき やま みどり  
柊 山 緑 先生  
(大正 14年 4月 24日生 8歳)

弔 辞

本日、ここに故 柊山 緑先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れのことばを申し上げます。

先生は、まだまだお元気で、お過ごしのこととお思っておりましたところ、平成 20年 11月 3 日午前 10時 34分、ご逝去されたとの、突然の悲報に、驚倒し、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は、世の常とは申しながら、享年 84歳にして、先生は遼遠なる安息の地へと、旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の長老として、会員が、等しく尊敬申し上げます先生を、ここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかと、お察し申し上げ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正 14年 4月 24日、この世に生を享けられ、幼少にして、その才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志を立てられ、東京女子医学専門学校に進まれ、昭和 23年 3月、ご卒業になられたのであります。

その後、研鑽を積まれ、昭和 24年 4月から昭和 28年 12月まで、国立熊本病院に勤務された後、翌年昭和 29年 1月、当地小林に、柊山医院を眼科専門として開業されたのであります。

その後、昭和 35年、今は亡き、幸逸先生とご夫婦で眼科と耳鼻咽喉科併設の柊山医院を再開業されたのであります。

戦後の食料すらままならぬ混乱期から現役を退かれるまでの、50有余年の長き歳月を眼科医として、地域医療のために、身を捧げてられたのであります。

この間、学校医として、児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意を注がれ、その献身的なご功績に対し、平成 7年には、宮崎県学校保健、学校安全知事表彰を受けられておられます。

また、先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民にも敬愛され、厚く信望を集めておられました。

また、当医師会におかれましては、昭和 5年 4月から昭和 59年 3月まで理事を務められ、医師会活動に積極的に貢献されると共に、地域医療を担う看護師の養成にも多大なるご尽力をいただいたのであります。

私共、後に続くものとして、改めて深甚の敬意を表しますとともに、感謝の気持ちで一杯であります。

今、私共医師を取り巻く環境は、大きく変革しようとしており、将来への展望が見出せない状況にあります。

先生、これからは、天国で私共医師会を、どうぞお守りください。

また、先生が慈しみ優しさをもって導き育てられましたお子様方も、先生のご意志を引き継がれ、地域医療の担い手として、ご活躍中で、後顧の憂いもなきものと思います。

柊山 緑先生、惜別の情尽くしえませんが、先生の長年のご功績、ご功勞に敬意と感謝を表しつつ、心からご冥福を申し上げ、私共会員一同、微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れのことばと致します。

先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 20年 11月 6 日

西 諸 医 師 会

会長 榎 健一郎

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

まる た よし のり  
丸 田 美 徳 先生

(大正 8 年 3 月 1日生 89歳)

弔 辞

本日ここに、故 都城市北  
諸県郡医師会顧問丸田美徳  
先生のご葬儀が執り行われ  
るにあたり、先生のご霊前  
に、都城市北諸県郡医師会  
を代表し心より謹んで、  
お別れの言葉を申し上げます。

先生は、最近でこそ体調を崩されておられましたが、それまでは地域医療やスポーツ振興などに、多大なるご尽力をされてこられました。私どもは、先生が平成 18年 12月頃に体調を崩され、療養中とお聞き致し、会員一同、1日も早いご回復を念じておりました。しかし残念ながら、奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る 11月 10日午前零時 18分に先生がご逝去されたとの訃報が届きました。一瞬我が耳を疑うと同時に、私ども医師会にとっては指導的立場にあった先生を失うことになり、誠に痛恨の極みであります。先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。ましてや、最愛なご主人様を亡くされた奥様のお悲しみは、察するに余りあり、ご遺族の皆様方のご悲嘆は、如何ばかりかと心中をお察し申し上げます。私ども医師会会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、大正 8 年 3 月 1日、地元都城市において、戦後初の医師会長を務められました故丸田美登先生のご長男としてお生まれになられま

した。長じて医学の道を志し、昭和 19年 9 月に熊本医科大学をご卒業され、陸軍軍医候補生として入隊、戦争の最中、医師としてのスタートをきられました。陸軍軍医学校を卒業後、陸軍軍医中尉として第十四方面軍司令部に編入、台中陸軍病院等での過酷な勤務をへて、陸軍軍医大尉へ昇進された他、正七位にも叙せられました。復員後は、昭和 24年 4 月に熊本医科大学産婦人科学教室に入局され、昭和 23年文部教官助手、翌 24年に講師に就任され開業するまで務められました。昭和 25年には医学博士の学位も取得されておられます。昭和 28年 8 月に熊本大学附属病院を退職後、同年 11月に都城市八幡町にお父様と丸田産婦人科病院を開業されました。体調を崩される今日まで、53年余りの永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上に多大な貢献をされてこられました。

私どもの医師会事業におきましては、都城市北諸県郡医師会理事を昭和 36年から 12年間、副会長を昭和 47年から 4 年間、会長を昭和 51年から 2 年間と昭和 55年からの 8 年間、顧問を昭和 63年から現在まで務め、看護学校校長や都城市郡医師会病院長(後に名誉院長)なども歴任されました。宮崎県医師会代議員会議長を昭和 61年から 6 年間、日本医師会代議員を昭和 63年から 4 年間、日本産科婦人科学会評議員も務められておられます。

都城保健所運営協議会長、都城市国民健康保険運営協議会委員など数多くの行政の委員も務められ、国民健康保険功労として昭和 54年に都城市長より、平成 2 年には厚生労働大臣より表彰を受けておられます。宮崎県体育協会理事、都城市体育協会会長などの委員も務められ、ス

スポーツ振興にも力をそそがれ、平成 6 年に都城市文化賞、平成 10年宮崎県体育協会表彰、平成 11年には文部大臣表彰を授与されています。国際ロータリー旧第 273地区ガバナーも務められるなど、先生は多岐に渡り多数の役員をされてこられました。すべてはご紹介できませんので割愛させていただきますが、地域医療やスポーツなどの発展に、寄与されたことは万人の知るところです。

また一方で、都城市立明道小学校などの学校医を約 4年間務め、児童生徒の健康管理に精力的に取り組まれ、これらの功績に対し教育長表彰を平成元年に都城市、平成 2 年に宮崎県より授与されておられます。地域住民の公衆衛生の充実にも寄与され、平成 2 年に公衆衛生事業功労者として、宮崎県知事表彰も授与されておられます。

先生は、看護師及び准看護師の養成にも早くから積極的に取組まれ、昭和 45年から 6 年間、都城准看護婦学校の校長を務められ、就任中の昭和 48年には、高等看護学校を開校し、現在の看護学校の基礎を築かれ、看護師の育成にも力を注がれました。

また、救急医療に関する取組みでも会長就任後、当時地域住民からの要望が強かった急患センターの建設に努力され、昭和 55年に都城地区夜間急病センターを設立されました。しかし、

夜間急病センターは土、日、祭日の夜間のみの限られた診療であり、更に充実した 365日 24時間体制の救急医療の確立を先生は目指され、その実現に向け奔走されました。そして、ついに昭和 60年 7 月に念願の都城市郡医師会病院、都城救急医療センターを開設し、この地域の救急医療体制は、飛躍的に改善されることになりました。その功績に対し、救急医療事業功労として平成元年宮崎県知事表彰、平成 2 年厚生大臣表彰を受けられました。その他数多くの表彰をお受けになられております。

先生は、既に^{ゆうめいさいかい} 幽明境を異にされたとはいえ、先生がこれまで、地域医療の発展にご尽力された数々のご功績を、私共医師会員は、決して忘れることなく、先生に学び先生の偉業を継いで、地域住民の医療、保健、福祉の発展に会員一丸となり、努力することをお誓い申し上げますと共に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を申しあげます。

最後に、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます、お別れの言葉と致します。

平成 20年 11月 12日

都城市北諸県郡医師会

会長 夏 田 康 則

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 20年 11月 20日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 7人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	2	常勤
整 形 外 科	1	常勤, 非常勤
耳 鼻 咽 喉 科	1	非常勤
心 療 内 科	1	非常勤
精 神 科	1	非常勤

#### 2 ) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
老 健 施 設	1	非常勤

### 2 . 斡旋成立件数 25人

#### 1 ) 男性医師 18人 2 ) 女性医師 7人

### 3 . 求人登録 82件 284人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	88	常勤( 71 ), 非常勤( 17 )
胃 腸 科	4	常勤( 3 ), 非常勤( 1 )
循 環 器 科	11	常勤( 10 ), 非常勤( 1 )
呼 吸 器 科	9	常勤( 9 )
外 科	24	常勤( 18 ), 非常勤( 6 )
整 形 外 科	27	常勤( 19 ), 非常勤( 8 )
産 婦 人 科	6	常勤( 6 )
眼 科	7	常勤( 6 ), 非常勤( 1 )
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤( 1 )
放 射 線 科	6	常勤( 6 )
リハビリテーション科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
脳 神 経 外 科	9	常勤( 8 ), 非常勤( 1 )
神 経 内 科	2	常勤( 2 )
神 経 科	7	常勤( 6 ), 非常勤( 1 )
精 神 科	18	常勤( 14 ), 非常勤( 4 )
麻 酔 科	7	常勤( 6 ), 非常勤( 1 )
小 児 科	9	常勤( 9 )
血 液 内 科	2	常勤( 2 )
人 工 透 析	1	常勤( 1 )
健 診	5	常勤( 4 ), 非常勤( 1 )
検 診	10	常勤( 2 ), 非常勤( 8 )
小 児 循 環 器 科	1	常勤( 1 )
消 化 器 内 科	10	常勤( 9 ), 非常勤( 1 )
心 療 内 科	1	常勤( 1 )
そ の 他	13	常勤( 12 ), 非常勤( 1 )

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	医 療 機 関 名	募 集 診 療 科	求人数	常 勤	非常勤
150001	医 明成会 吉松病院	外( 1) 整( 1) 内( 1)	3	3	0
150002	医 慶明会 おび中央病院	内( 1)	1	1	0
150004	西都医師会病院	内( 2) 外( 2)	4	4	0
150005	医 ヲっか会 ささき病院	精( 1)	1	0	1
160006	都農町国保病院	内( 2) 整( 1) 放( 1)	4	4	0
160008	医 正立会 黒松病院	内( 1) 泌( 1)	2	2	0
160010	医 敬和会 戸嶋病院	内( 2) 小( 2) 循( 2) 消内( 2) 呼内( 2) , 産婦( 2) 内分泌( 2) 救急( 2)	16	16	0
160013	医 三晴会 金丸脳神経外科病院	脳( 2) 整( 1) 循( 1) リハ( 1) 放( 1) 神( 1)	7	7	0
160015	医 浩洋会 田中病院	内( 1) 精( 1)	2	2	0
160016	医 望洋会 鮫島病院	精( 2)	2	1	1
160017	医 プレストピア なんば病院	外( 1) 放( 1) 内( 1) 婦( 1)	4	4	0
160018	医 宏仁会 海老原記念病院	内( 1)	1	1	0
160020	財 弘潤会 野崎病院	精( 1) 放( 1)	2	2	0
160022	医 愛鍼会 山元病院	内( 4) 胃( 2)	6	4	2
160023	医 宏仁会 海老原総合病院	整( 1) 内( 1) 麻( 1) 眼( 1) , 健診( 1)	5	5	0
160024	医 隆徳会 鶴田病院	整( 2) 内( 2) 外( 2)	6	3	3
160025	医 養気会 池井病院	内( 1)	1	1	0
160026	医 養気会 老健施設みずほ	老施( 1)	1	1	0
160028	市立東郷病院	整( 1)	1	1	0
160029	医 橘会 橘病院	整( 2) 内( 1) 麻( 1)	4	4	0
160031	医 同心会 古賀総合病院	呼( 1) 神内( 1) 眼( 1) 耳( 1) 循( 1) 総診( 1) 呼外( 1) 臨病( 1) 乳外( 1)	9	9	0
160032	医 如月会 若草クリニック	整( 2) 内( 2)	4	2	2
160033	医 如月会 若草病院	精( 1) 内( 1)	2	2	0
160034	医 健寿会 黒木病院	外( 2) 消内( 1) 緩ケア( 1)	4	4	0
160036	医 久康会 平田病院	内( 1) 脳( 1) 循( 1) 小( 1) リハ( 1) 婦人( 1) 神内( 1) 老施( 1)	9	9	0
160037	医 十全会 県南病院	精( 3)	3	2	1
160039	医 誠和会 和田病院	外( 2) 整( 1) 透( 1) 内( 3)	7	7	0
160040	医 いなほ会 日高医院	内( 1)	1	1	0
170042	医 豊栄会 豊栄クリニック	内( 1)	1	1	0
170043	医 和芳会 小林中央眼科	眼( 1)	1	1	0
170044	宮崎社会保険病院	検診( 2)	2	0	2
170045	医 博愛社 佐土原病院	内( 1)	1	1	0
170046	医 善仁会 市民の森病院	内( 5) 消内( 1) 内分泌糖内( 1) 呼( 1) 放( 1) リハ( 1)	10	8	2
170047	国保中部病院	内( 1) 神内( 1) リハ( 1) 整( 1)	4	4	0
170048	医 慶明会 けいめい記念病院	内( 1) 眼( 1) 健診( 1)	3	2	1

登録番号	医 療 機 関 名	募 集 診 療 科	求人数	常 勤	非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	整( 1)	1	1	0
170052	医)春光会	外( 1)内( 2)	3	3	0
170053	医)尚成会 近間病院	内( 1)外( 1)整( 1)	3	0	3
170054	SUM CO TECH X IV 宮崎診療所	内( 1)	1	1	0
170056	医)アブラハムクラブ ベテスタ クリニック	循( 2)内( 1)呼( 1)神( 2) 脳( 1)小循( 1)	8	8	0
170057	医)清陵会 隅病院	内( 3)整( 3)外( 3)	9	6	3
170058	国立宮崎病院	呼( 2)麻( 1)内( 2)	5	5	0
180061	医)あいクリニック	精( 1)	1	1	0
180063	美郷町国保南郷診療所	内( 1)	1	1	0
180064	国立都城病院	消内( 2)血内( 2)循( 1)呼( 1) 内( 1)脳( 1)産婦( 1)小( 1)	10	10	0
180065	美郷町国保西郷病院	内( 1)整( 1)	2	2	0
180066	医)青隆会 野口脳神経外科	脳( 1)神( 1)	2	2	0
180067	小林市立市民病院	小( 2)	2	2	0
180068	医)洋承会 今給黎医院	循( 1)	1	1	0
180069	社)八日会 大悟病院	精( 1)内( 1)	2	2	0
180070	高千穂町国保病院	内( 4)神( 2)循( 2)脳( 2)	10	5	5
180071	串間市市民病院	麻( 1)小( 1)眠( 1)	3	2	1
180073	医)救会 小牧病院	整( 1)	1	1	0
180074	社)八日会 藤元早鈴病院	小( 3)産婦( 1)	4	4	0
180076	医)友愛会 園田病院	外( 1)内( 1)	2	2	0
180077	医)聖山会 川南病院	内( 1)外( 1)整( 2)リハ( 1)	5	4	1
180078	医)三和会 池田病院	内( 1)	1	1	0
180079	医)仁徳会 渡辺病院	内( 2)	2	1	1
180081	医)恵心会 永田病院	精( 1)	1	1	0
180082	国立宮崎東病院	内( 3)神内( 1)整( 1)	5	5	0
190084	医)一誠会 新生病院	精神( 2)	2	1	1
190085	医)恒英会 田上医院	内( 1)	1	1	0
190086	早田病院	内( 1)	1	1	0
190087	宮崎市郡医師会病院	内( 3)	3	3	0
190088	日之影町国保病院	内( 1)整( 1)	2	0	2
190089	上田脳神経外科	脳( 1)内( 1)心内( 1)外( 1)	4	4	0
190090	特医)浩然会 内村病院	精( 1)	1	1	0
190091	医)友愛会 野尻中央病院	整( 1)内( 1)	2	2	0
190092	都城市郡医師会病院	内( 2)呼( 2)	4	4	0
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	検診( 2)	2	1	1
190094	医)耕和会 迫田病院	内( 4)整( 3)外( 3)	10	4	6
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	眼( 2)	2	1	1
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	内( 3)外( 2)消内( 2)リハ( 2)	9	5	4
200100	医)育生会 井上病院	産婦( 1)内( 1)	2	2	0
200102	延岡市医師会病院	消内( 3)	3	3	0
200103	宮崎循環器病院健診センター	健診( 1)	1	1	0
200104	医)善仁会 善仁会病院	内( 1)外( 1)救急( 2)化療( 1) リハ( 1)	6	6	0
200105	医)誠友会 南部病院	内( 1)外( 1)放( 1)	3	3	0

## 11月のベストセラー

- |    |                      |   |   |   |   |   |   |     |
|----|----------------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 1  | 人間の覚悟                | 五 | 木 | 寛 | 之 | 新 | 潮 | 社   |
| 2  | 強欲資本主義 ウォール街の自爆      | 神 | 谷 | 秀 | 樹 | 文 | 藝 | 春 秋 |
| 3  | 東大合格生のノートはかならず美しい    | 太 | 田 | あ | や | 文 | 藝 | 春 秋 |
| 4  | 竹中式 マトリクス勉強法         | 竹 | 中 | 平 | 蔵 | 幻 | 冬 | 舎   |
| 5  | 悩む力                  | 姜 |   | 尚 | 中 | 集 | 英 | 社   |
| 6  | 週2日だけ働いて農業で1000万円稼ぐ法 | 堀 | 口 | 博 | 行 | ダ | イ | ヤ   |
| 7  | いつも目標達成している人の勉強術     | 福 | 田 |   | 稔 | 明 | 日 | 香   |
| 8  | ロシア・ショック             | 大 | 前 | 研 | 一 | 講 | 談 | 社   |
| 9  | 聖女の救済                | 東 | 野 | 圭 | 吾 | 文 | 藝 | 春 秋 |
| 10 | イノセント・ゲリラの祝祭         | 海 | 堂 |   | 尊 | 宝 | 島 | 社   |

宮脇書店本店調べ

提供：宮崎店(宮崎市青葉町)

☎ (0985) 23-7077

## ● ● ● 読者の広場 ● ● ●

日州医事 11月号へいただいたご意見・ご感想を紹介します。

日州医談「医療安全調査委員会設立をめぐる」について

- 上田章理事の日州医談「医療安全委員会創設をめぐる」は、突然医師が逮捕されたという唐突な出来事、大野病院問題を契機に新聞等報道メディアによって医師に突きつけられた業務上過失致死罪について、その問題点と、これを契機に創設される医療安全調査委員会の内容と問題点を理解しやすい表現でまとめて頂き、時を得て、納得できる内容であり、大変タイムリーで有用な記事であったと思います。筆者並びに企画に対し感謝いたします。
- 警察への届け出が「重大な過失」から、「標準的な医療から著しく逸脱した医療」に変更されたが、この範囲が曖昧であると述べてある。各学会から医療のガイドラインが多く作成されるようになってきているが、ガイドラインが一人歩きして、ガイドラインから外れた治療は行なってはいけないような風潮が感じられる。ガイドラインの中には「すべての患者に適応できるわけではなく...ガイドラインを金科玉条のごとく実地診療にふりかざすことは厳に慎むべきである」と述べてある。これらのガイドラインが裁判の中で、資料として利用されることを危惧している。まさしく医療の進歩を阻害し、萎縮医療になるであろう。医療事故のリスクの高い産婦人科や外科などに医師がなりたがらないのは、医療安全に関わる環境が整っていないことも一因である。医療安全調査委員会には、医療リスクを承知で日々医療に精進し、地域医療を担っている医師の声を反映してほしいものである。
- 興味深く拝読しました。私は、同委員会は中央委員会よりむしろ地方委員会の役割の方が重要ではないかという気がしています。「標準的な医療から著しく逸脱した医療」の定義が曖昧との指摘はもっともですが、厚労省は、これを「医療の専門家を中心とした地方委員会が個別具体的に判断する」と言っています。地方委員会に一定の権限を持たせることはいいとしても、大綱案では、○○大臣が中央・地方委員を任命するとなっています。この点は、問題にしないでいいのでしょうか。厚労省を信用しない訳ではありませんが、どのような人選になるのか、偏った構成にならないか多少気がかりです。

「あなたできますか？」について

- 遠い昔に国試に合格した身としては、とても難しい問題ばかりあります。解答に簡単な解説をつけていただくと有難いと思うのは私だけではないのでしょうか？

「九州医師会連合会」報告について

- 「レセプトオンライン化の完全実施まで約一年半となり」という言葉を読むといよいよ準備していかなければならないのかと思いました。まだまだ多くの問題を話し合い解決していかなければならない状況において、やはり実施されるのでしょうか...。考えさせられました。

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

(宮崎県医師会 FAX 0985 - 27 - 6550)

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 20年 11月 27日現在

12				月			
1	月	19: 00	レセプト電算研究会( TV会議 都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵)	18	木	13: 30	公益法人会計基準の実務(事務局)
		19: 00	医学賞選考委員会			18: 30	医師国保定例事務監査
2	火	18: 00	治験審査委員会			19: 00	医学会誌編集委員会
		19: 00	第 16回常任理事会			19: 00	広報委員会(富田副会長他)
3	水	19: 00	女性医師委員会			19: 00	生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議: 都城・延岡・日向・児湯・西都・西諸)
4	木	14: 00	(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	19	金	10: 00	公益法人会計基準の実務(事務局)
		14: 00	県社会福祉事業団理事会評議員会			14: 00	介護サービス情報の公表調査員フォローアップ研修(事務局)
		15: 00	(日医)日医医療IT委員会			14: 00	県立病院事業評価委員会
		19: 00	広報委員会			17: 30	指導医養成のためのワークショップ 事前打合せ会
5	金	19: 00	生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議 都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵)			19: 00	(都城)都城市北諸県郡医師会忘年会
6	土	13: 00	(日医)家族計画・母体保護法指導者講習会	20	土	18: 00	県産婦人科医会全理事会
		14: 00	産業医研修会			9: 00	指導医養成のためのワークショップ
		15: 30	園医師会総会・研修会	21	日	8: 30	指導医養成のためのワークショップ
7	日			22	月		
8	月	18: 30	県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会	23	火		(天皇誕生日)
9	火	19: 00	第 1回常任理事会			13: 00	(日医)都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会
10	水	10: 00	事務局職員研修(事務局)	24	水	15: 00	支払基金幹事会
		19: 00	延岡市医師会忘年会	25	木		会館大掃除予定(事務局)
11	木	15: 00	社保医療担当者(医科)集团的個別指導			18: 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		18: 30	産業医研修会	26	金	13: 30	仕事納め式
		19: 00	県外科医会全理事会	27	土	14: 00	(都城)かかりつけ医認知症対応力向上研修
		19: 00	(西都)西都市・西児湯医師会忘年会	28	日		
12	金			29	月		(年末休業)
13	土	18: 30	宮崎市郡医師会年末忘年会	30	火		(年末休業)
14	日	11: 00	(沖縄)沖縄県医師会館落成記念行事	31	水		(年末休業)
15	月	19: 00	勤務医部会理事会				
16	火	14: 00	介護サービス情報の公表調査員フォローアップ研修(事務局)				
		18: 00	医協運営委員会				
		18: 30	第 16回全理事会				
		19: 30	役・職員年末懇談会				
17	水	9: 10	全体課長会(事務局)				

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 20年 11月 27日現在

平成 21 年 1 月					
1	木	( 年始休業 )	16	金	
2	金	( 年始休業 )	17	土	14: 00( 延岡 ) かかりつけ医認知症対応力 向上研修 14: 30 産業医研修会
3	土	( 年始休業 )	18	日	
4	日		19	月	
5	月	13: 00 新年賀詞交歓会 15: 00 仕事始め式	20	火	14: 20( 日医 ) 都道府県医師会長協議会 ( 日医 ) 日医連執行委員会 18: 15 医協運営委員会 19: 00 第 20回常任理事会
6	火	19: 00 第 18回常任理事会	21	水	9 : 10 全体課長会 ( 事務局 )
7	水		22	木	
8	木	18: 30 病院部会・医療法人部会合同理事会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会	23	金	
9	金		24	土	14: 00( 熊本 ) 九医連医療保険対策協議会 16: 00( 熊本 ) 九医連常任委員会 16: 00( 熊本 ) 九医連各種協議会 15: 00 県産婦人科医会研修会・臨時総会
10	土	18: 00 三師会新春懇談会 14: 00 かかりつけ医認知症対応力向上研修	25	日	
11	日		26	月	19: 00 広報委員会
12	月		27	火	18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部 会 18: 00 第 1回全理事会 19: 00 各都市医師会長協議会
13	火	18: 00 治験審査委員会 19: 00 第 19回常任理事会	28	水	15: 00 労災診療指導委員会 16: 00 支払基金幹事会
14	水	10: 00 事務局職員研修 ( 事務局 )	29	木	15: 00( 日医 ) 日医医療IT 委員会
15	木	19: 00 広報委員会	30	金	19: 00 医師国保理事会
都合により、変更になることがあります。			31	土	宮崎市郡医師会定時総会

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位。当日，参加証を交付。

がん検診＝各種がん検診登録・指定・更新による研修会 太字＝医師会主催・共催  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 会 費	演 題	そ の 他 ＝ 連 絡 先
第 2 回レセ電算研究会 ( 5 単位 )	12月 1 日(月) 19: 00~ 県医師会館 ( TV 会議：都城・延岡・日向・ 児湯・西都・南那珂・西諸・西臼 杵 )	日医オルカによるレセプトオンライン 山内ファミリークリニック院長 山内 励 サンヨーレセコンによるレセ電算の 実際 池田台クリニック院長 宮本 耕次	主催 宮崎県医師会 ( 連絡先 ) 宮崎県医師会 ☎ 0985-53-3434
東洋医学学術講演 会・都城講座 ( 3 単位 )	12月 2 日(火) 19: 00~ 20: 30 ホテル中山荘 2,000円	痛みと漢方 平田医院長・日本東洋医学会福 岡県部会副会長 平田 道彦	主催 都城市北諸県医師会 会東洋医学会 共催 大杉製薬(株) 後援 都城市北諸県医師会 ☎ 0986-22-0711 都城市北諸県薬剤師会
都城地区整形外科 医会・都城市北諸 県産婦人科医会 合同学術講演会 ( 3 単位 )	12月 4 日(木) 18: 45~ 20: 00 ホテル中山荘 1,000円 ( 日本整形外科学会認定医 1 単位 )	麻酔科学の最近の進歩 鹿児島大学医学部麻酔・蘇生学 教授 上村 裕一	主催 都城地区整形外科医 会 都城市北諸県産婦 人科医会 共催 久光製薬(株) ( 連絡先 ) 都城市北諸県医師 会 ☎ 0986-22-0711
第 15回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会 ( 3 単位 )	12月 4 日(木) 18: 30~ 20: 45 ホテルJA Lシティ宮崎	耐性菌に対する抗菌薬治療の最前線 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科教授 山中 昇	共催 宮崎県耳鼻咽喉科懇 話会 大正富山医薬品(株) アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
第 148回宮崎県泌 尿器科医会 ( 3 単位 )	12月 4 日(木) 19: 00~ 宮崎観光ホテル 5,000円	前立腺がん検診の現況について 宮崎大学医学部泌尿器科学 准教授 蓮井 良浩	主催 宮崎県泌尿器科医会 ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部泌尿 器科学教室 ☎ 0985-85-2968

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 会 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 89 回宮崎県腹部 超音波懇話会 ( 3 単位 )	12 月 5 日(金) 18: 30~ 20: 30 ホテルマリックス 1,000 円	下肢動脈エコー 岸和田徳洲会病院血管エコー 責任者 吉田 政富美 循環器専門医からエコー担当者への メッセージ( 仮 ) 宮崎社会保険病院内科主任部長 松尾 剛志	共催 宮崎県腹部超音波懇 話会 シェリング・ブラ ウ(株) ☎ 092-474-9790
平成 20 年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 ( 5 単位 ) がん検診 ( 肺・乳・胃・大腸 )	12 月 5 日(金) 19: 00~ 21: 10 県医師会館 ( TV 会議 : 都城・延岡・日向・ 児湯・西都・南那珂・西諸・西臼 杵 )	内科からみた肺がんの発見と治療戦略 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 乳癌検診 ガイドラインの解説 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌のスクリーニング 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 早期大腸癌の診断と治療 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
第 21 回国立病院機 構宮崎病院医療セ ミナー ( 3 単位 )	12 月 5 日(金) 19: 00~ 20: 00 トロントロンドーム研修 室	呼吸器感染症あれこれ 東野病院長 森 孝志	主催 国立病院機構宮崎病 院 後援 児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 児湯内科医会
第 1 回宮崎消化器 外科研究会 ( 3 単位 )	12 月 5 日(金) 19: 00~ 20: 30 ワールドコンベンション センターサミット	エビデンスに基づいた膵頭十二指腸 切除術 和歌山県立医科大学医学部 第二外科教授 山上 裕機	共催 宮崎消化器外科研究 会 ( 株 ) 大塚製薬工場 ☎ 096-359-1808
宮崎県医師会園医 部会総会・研修会 ( 5 単位 )	12 月 6 日(土) 15: 30~ 17: 30 県医師会館	園児の罹りやすい感染症 - その解説と登園基準を中心に - 県医師会園医部会長・せんなり 小児科院長 先成 英一	主催 宮崎県医師会園医 部会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 会 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 130回宮崎県眼科 医会講習会 ( 3 単位 )	12月 6 日(土) 16: 20~ 19: 10 ホテルJALシティ宮崎 2,000円 ( 開業医・勤務医 ) 1,000円 ( 公的医療機関勤務医 )	眼科保険診療に関する話題 宮崎県眼科医会健保担当理事 柴田 博 網膜色素変性の日常診療と遺伝相談 ( 仮 ) 順天堂大学医学部・ 秋山眼科医院 岩田 文乃 閉塞隅角緑内障の診断と治療( 仮 ) Singapore National Eye Centre Associate Professor Dr. Aung Tin	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-0917 ( 宮崎中央眼科病院 内 )
第 2 回はまゆう整 形外科セミナー ( 3 単位 )	12月 6 日(土) 17: 30~ 18: 30 宮崎観光ホテル 1,000円	脊柱の構築学的特性と疾患 自治医科大学整形外科学教室 准教授 中間 季雄	主催 はまゆう整形外科セ ミナー ( 連絡先 ) 宮崎大学医学整形外 科学教室 ☎ 0985-85-0986
宮崎市郡外科医会 12月例会 ( 3 単位 )	12月 8 日(月) 19: 00~ 20: 10 宮崎観光ホテル	宮崎大学医学部における卒前卒後の 医学教育改革の現状と問題点 宮崎大学医学部医学教育改革 推進センター教授 林 克裕	主催 宮崎市郡外科医会 ( 連絡先 ) 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
西臼杵地区学術講 演会 ( 5 単位 )	12月 11日(木) 18: 45~ ホテル高千穂	喘息治療の問題点と治療戦略 和歌山県立医科大学第三内科 講師 松永 和人	主催 西臼杵郡医師会 共催 大日本住友製薬㈱ ( 連絡先 ) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010
第 3 回都城イメー ジカンファランス ( 3 単位 )	12月 11日(木) 19: 00~ 20: 30 都城ロイヤルホテル	急性腹症の画像診断 - 肝・胆・脾を中心に - 都城市郡医師会病院放射線科 井料 保彦 ここまでできるようになりました - 放射線治療 - 藤元早鈴病院放射線治療科 部長 荻田 幹夫	主催 都城イメージカン ファランス 共催 第一三共㈱ ( 連絡先 ) 都城市北諸県郡医師 会 ☎ 0986-22-0711
延岡医学会学術講 演会 ( 5 単位 )	12月 12日(金) 18: 45~ 20: 30 延岡市中小企業振興セン ター	最新の喘息治療と今後の展望 和歌山県立医科大学第三内科 講師 松永 和人	共催 延岡医学会 大日本住友製薬㈱ ☎ 0985-29-5855 後援 延岡内科医会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 ( 3 単位 )	12月 12日(金) 19: 00~ ホテル中山荘	大規模臨床試験のエビデンスを日常診療に活かす - RSA 抑制薬を中心に - 東京大学臨床疫学システム講座 教授 山崎 力	主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 武田薬品工業(株)
第 60回精神科医会懇話会 ( 3 単位 )	12月 13日(土) 17: 30~ 19: 00 宮崎観光ホテル	認知症の精神症状・行動障害に対する治療 熊本大学脳機能病態学教授 池田 学	主催 宮崎県精神科医会 ☎ 0982-37-0126 ( 吉田病院内 ) 共催 大日本住友製薬(株)
宮崎医師漢方研究会 ( 3 単位 )	12月 15日(月) 18: 30~ 20: 30 宮崎観光ホテル 2,000円	勿誤薬室「方函」「口訣」の解説 日本東洋医学会評議員 木下 恒雄	共催 宮崎医師漢方研究会 (株)ツムラ ☎ 0985-28-9663 後援 宮崎市医師会
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 ( 5 単位 )	12月 16日(火) 18: 45~ 21: 00 ガーデンベルズ小林	高血圧診療: Up to Date 鹿児島大学循環器・呼吸器・代謝内科学講師 宮田 昌明	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 大日本住友製薬(株)
第 32回都城心臓血管懇話会 ( 3 単位 )	12月 16日(火) 19: 00~ 20: 20 ホテル中山荘	Cardiorenal SyndromeとARB 熊本大学腎臓内科学講師 北村 健一郎	主催 都城心臓血管懇話会 共催 ノバルティスファーマ(株) ( 連絡先 ) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711
西臼杵郡学術講演会 ( 5 単位 )	12月 18日(木) 19: 00~ 21: 00 ホテル高千穂	PC 1後の後療法について 県立延岡病院循環器科医長 山本 展誉 糖尿病専門医が語る - アクトスをうまく使いこなすコツ - 高千穂町国民健康保険病院内科 医長 和氣 仲庸	主催 西臼杵郡医師会 共催 武田薬品工業(株) ( 連絡先 ) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 20年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 ( 5 単位 ) がん検診 ( 肺・乳・胃・大腸 )	12月 18日(木) 19: 00~ 21: 10 県医師会館 ( TV 会議 : 都城・延岡・日向・ 児湯・西都・西諸 )	内科からみた肺がんの発見と治療戦略 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌 代謝学 芦谷 淳一 乳癌検診 ガイドラインの解説 県立宮崎病院外科 大友 直樹 胃癌のスクリーニング 宮崎大学医学部循環体液制御学 稲津 東彦 早期大腸癌の診断と治療 県立宮崎病院放射線科 藤本 正樹	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
かかりつけ医認知 症対応力向上研修 ( 5 単位 )	12月 27日(土) 14: 00~ 18: 10 都城市北諸県郡医師会館	基礎編・家族が最初に気づいた認知 症高齢者の日常生活の変化 他 大悟病院 三山 吉夫 診断編・認知症初期の発見のポイン ト 他 都城新生病院 原澤 信博 治療とケア編・早期発見・早期治療 の意義 他 県南病院 藤元 ますみ 連携編・主治医意見書の役割 他 内村病院 戸高 一成	主催 宮崎県 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
かかりつけ医認知 症対応力向上研修 ( 5 単位 )	平成 21年 1 月 10日(土) 14: 00~ 18: 10 県医師会館	基礎編・家族が最初に気づいた認知 症高齢者の日常生活の変化 他 大悟病院 三山 吉夫 診断編・認知症初期の発見のポイン ト 他 宮崎大学医学部精神医学 林 要人 治療とケア編・早期発見・早期治療 の意義 他 井上病院 井上 雅文 連携編・主治医意見書の役割 他 ハートピア細見クリニック 細見 潤	主催 宮崎県 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡内科医会 学術講演会 ( 3 単位 )	1 月 15日(木) 19: 00~ 20: 15 宮崎観光ホテル	末梢性めまいの診断と治療 大阪大学耳鼻咽喉科講師・ めまい外来担当 堀井 新	共催 宮崎市郡内科医会 ☎ 0985-53-3434 興和創薬(株)
宮崎木曜会学術講 演会 ( 3 単位 )	1 月 15日(木) 19: 00~ 宮崎観光ホテル 500円	当院における PEG の実際 - コツとポイント - 潤和会記念病院消化器科部長 吉山 一浩	共催 宮崎木曜会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 会 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
かかりつけ医認知 症対応力向上研修 ( 5 単位 )	1 月 1 日 ( 土 ) 14: 00~ 18: 10 延岡市医師会病院	基礎編・家族が最初に気づいた認知 症高齢者の日常生活の変化 他 大悟病院 三山 吉夫 診断編・認知症初期の発見のポイン ト 他 協和病院 二宮 嘉正 治療とケア編・早期発見・早期治療 の意義 他 同上 連携編・主治医意見書の役割 他 吉田病院 吉田建世	主催 宮崎県 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県産婦人科医 会研修会・臨時総 会 ( 3 単位 )	1 月 24 日 ( 土 ) 14: 30~ 18: 00 県医師会館	子宮がん検診について( 仮 ) 東京慈恵会医科大学附属青戸 病院診療部長 落合 和彦 妊孕性温存を希望する頸がん患者に 対する子宮頸部摘出術 - トラケレクトミーの実際と妊娠分 娩例の経過について - 九州大学医学部産婦人科講師 小林 裕明	主催 宮崎県産婦人科医 会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡内科医会 学術講演会 ( 3 単位 )	1 月 29 日 ( 木 ) 19: 00~ 20: 30 宮崎観光ホテル	虚血性脳血管障害の慢性期治療 - 抗血小板療法を中心に - 埼玉医科大学国際医療センター 神経内科・脳卒中内科教授 棚橋 紀夫	共催 宮崎市郡内科医会 ☎ 0985-53-3434 サノフィ・アベン ティス(株)
平成 20 年度介護保 険に関する「主治医 研修会」 ( 5 単位 )	2 月 6 日 ( 金 ) 19: 00~ 22: 00 都城市北諸県郡医師会館	行政説明 県長寿介護課 特定疾病について「脊柱管狭窄症」 小牧病院整形外科 田邊 龍樹 主治医意見書の記載方法について 都城北諸県地域介護認定審査会 委員 松山 幹太郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
第 33 回宮崎救急医 学会 ( 5 単位 )	2 月 7 日 ( 土 ) 13: 00~ 18: 00 高鍋町美術館 500 円	2 つのドクターヘリ基地病院での勤 務経験から 川崎医科大学救急医学教室講師 奥村 澄枝	主催 第 33 回宮崎救急医学 会 共催 児湯医師会 ( 連絡先 ) 海老原総合病院 ☎ 0983-23-1111

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 会 費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 20年度介護保険に関する「主治医研修会」 ( 5 単位 )	2 月 12日(木) 19: 00~ 22: 00 延岡市医師会病院	行政説明 県長寿介護課 他 特定疾病について 主治医意見書の記載方法について	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
第 3回江南医療連携の会・症例検討会 ( 3 単位 )	2 月 19日(木) 19: 00~ 20: 30 宮崎社会保険病院 100円	最近の内科症例( 消化器疾患を中心に ) 宮崎社会保険病院内科医員 増田 稔 2008年前期における肝胆膵手術症例について 同病院外科部長 秦 洋一 右前腕切断患者への筋電義手の使用経験 同病院形成外科医員 吉牟田 浩一郎 当科における鎖骨遠位端骨折の治療 同病院整形外科主任部長 本部 浩一	共催 江南医療連携の会 ☎ 0120-855-082 ( 宮崎社会保険病院 ) エーザイ(株)
平成 20年度介護保険に関する「主治医研修会」 ( 5 単位 )	2 月 19日(木) 19: 00~ 22: 00 県医師会館	行政説明 県長寿介護課 特定疾病について「神経難病全般」 外山内科神経内科医院 外山 博一 主治医意見書の記載方法について 宮崎東諸県地域介護認定審査会 委員 牛谷 義秀	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
日医生涯教育協力講座セミナー「ウイルス感染症における予防と治療」 ( 5 単位 )	2 月 28日(土) 15: 00~ 18: 00 県医師会館 ( TV 会議 )	どう防ぐ新型インフルエンザ 長崎大学名誉教授 松本 慶蔵 日常診療で注意すべき H IV 感染症 国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科感染症対策室長 山本 政弘 行政から見た新型インフルエンザウイルス感染症対策 延岡保健所長 日高 良雄 宮崎県における H IV 感染症の現況 県立宮崎病院医療情報科部長・ 内科医長 菊池 郁夫	共催 日本医師会 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 グラクソ・スミスクライン(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 40 回宮崎県スポーツ医科学研究会 ( 3 単位 )	2 月 28 日(土) 16: 00~ 19: 00 宮日ホール 1,000 円	膝関節の再建術 広島大学整形外科学教授 越智 光夫	共催 宮崎県スポーツ医科学研究会 ファイザー(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部整形外科学教室 ☎ 0985-85-0986

## お知らせ

### 日医認定医療秘書養成制度の卒業生求職のお願い！

宮崎県医師会では 18 年度より、日本医師会認定医療秘書の養成を下記 3 施設に委託しており、来年 3 月に 2 回目の卒業生が誕生いたします。全日制の 2 年課程で医学基礎教科・秘書専門教科として、看護師養成課程に近いレベルの教育をされており、医療事務に必要な簿記、情報処理、診療報酬請求事務などの資格以外にも、秘書・硬筆・英語検定等の資格、「誠実さ」「思いやり」などの人間形成にも力をいれています。

日医認定医療秘書は請求事務だけではなく、メディカルクラークとしても活用していただきたく、ぜひ、貴医療機関に採用いただきますようご案内いたします。職員採用の試用期間としての意味合いでも構いませんので、実地研修を受け入れて、実地研修で採用を判断いただいても結構です。

求職希望は直接下記の養成校へご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

宮崎学園短期大学 ( 清武町 )	宮崎医療管理専門学校 ( 田野町 )	都城コアカレッジ ( 都城市 )
就職希望者 25 名( 女 25 名 )	就職希望者 16 名( 女 16 名 )	就職希望者 10 名( 女 10 名 )
連絡先： ☎ 0985-85-0146 担 当：大石道雄 安井紀子	連絡先： ☎ 0985-86-2271 担 当：福元 進	連絡先： ☎ 0986-38-4811 担 当：中山さおり 原口桂一郎

## 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 原稿は 40 字詰原稿用紙 10 枚以内（約 4,000 字以内）  
写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真 1 枚は約 300 字に相当します）。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任いただきます。  
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。
6. 日州医事は会員以外（マスコミ・行政・図書館等）にも配付しています。
7. 原稿用紙は県医師会で用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。原稿は、郵送の他、FAX、電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し、ディスクまたはメールにて下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を先頭に付記してください）。

宛 先：〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

宮崎県医師会広報委員会

FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@m iyazakim ed.or.jp

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

## 診療メモ

## 自傷行為( リストカット )

こごうメンタルクリニック 古 郷 ひろし 博

自傷(行為)は自らを傷つける総称であります。自分の手首などに切り傷をつける、いわゆるリストカット、毒物を服薬したり、医薬品を過量服用したりする過量服薬行動を指します。他にも飛び降り、首絞め、または自分の頭や四肢を壁に叩きつける行為などを含みますが、頻度から前二者が圧倒的に多いようです。これらの行動は、自殺企図として行われる場合もあれば、不快な気分を切りかえる手段として行われる場合があり、ときには、周囲に自分の精神的苦痛を知らせたりするアピールの要素を含むこともあります。

今回はこの自傷行為の中でリストカットに関する多少の知見を紹介してみたいと思います。

リストカットは正式な傷病名ではなく、手首自傷症候群とも言われております。10代から20代の若者に多く、特に未婚女性に多く見られます。失望、失意を契機に剃刀などの刃物で自分の手首や腕を切りつける行為であり、一般的には傷は浅い場合が多く、致命的なものは非常に少ないです。またこの行為は繰り返されることが多く、習慣化する傾向にあります。この病態の背景には、境界性人格障害などを含めたパーソナリティの問題が関わっていることが多く見受けられます。

自傷行為の基礎にある精神障害には前述の人格障害を背景とするもの、うつ病や統合失調症などから二次的に生じたもの、精神発達遅滞や自閉性障害などの発達障害に見られるものの概

ね3群に分けられると思います。一方人格障害などの精神障害を伴わない症例も存在し、それはDSM - (米国における精神疾患の診断と分類)においては、他のどこにも分類されない衝動制御の障害に分類されています。

リストカットを初めて論文に記載したのはRosen-thalらで、1960年代にアメリカで大流行、西欧に広がりました。日本では1970年代後半から注目され、197年に西園らにより24症例の研究報告が初めてなされました。

ここで人格障害を背景とする自傷行為の臨床特徴を述べますと、この行為は境界性、演技性人格障害や反社会性人格障害の行動特徴の一部として位置づけられ、中でも境界性人格障害の症例に多く見られています。この境界性人格障害者は他に衝動的行動が見られたり、自殺の素振りが特徴的であり、とりわけ自傷行為のリスクの高い集団と考えられます。

この群の自傷行為は20歳代の未婚女性に多く、剃刀やナイフ、ガラスの破片が用いられ、概ね一人の状況で行われます。手首、腕、大腿が受傷部位となり、顔や胸を傷つけることはほとんどないようです。家族や友人との対立であったり、対人的孤立や離別などが誘因となり、加えてそれまで家族内における分離固定化、つまり親離れ、子離れがうまく行かず、引きこもりなどの不適応反応を見せたり、幼少期の虐待の既往なども強く関与していると考えられています。

自傷行為の意味として、心の中の空虚感や現

実感覚の喪失に苦しみ、「心の内にある苦痛に見合う外的な痛みを感じる必要があった」、「緊張を開放するため」、「実際に生きているという感覚を取り戻すため」と表現する特徴を持っています。また「自分に対する怒りのため」、「自分を罰するため」など自分の怒りや罪悪感のコントロールの失敗として位置づけられることがあります。ときに自分の手首などを自分の両親やある特定の人間に想定して、それを罰するために自傷する『手首の人格化』と呼ばれる機制が生じていることもあります。

また自傷行為の際に痛みを感じなかったり、その時のことをよく覚えていないということが多く、解離状態に類似した意識の変容や痛覚の麻痺がそこに関与していると推定されております。他に詐病の目的でなされるときは反社会性人格障害に特徴的であり、周囲の注目や同情を集めるための行為は演技性人格障害に多くみられます。また摂食障害の中で、過食／嘔吐のタイプや神経性大食症者が衝動行為に走りやすく、自傷行為が見られることが多く、さらに人格障害を合併していることが多々あります。この自傷行為には多かれ少なかれ、自殺企図の側面を認めることが大切であり、抑うつ的な気分を伴っていることが通例であるし、自殺の意図を明らかにしていなくとも、それが、自殺企図や自殺の脅かしの意味を持つ場合が少なくありません。それが慢性化して、本格的な自殺企図に発展することを警戒することが肝心であります。因みに

に内因性のうつ病では、浅い手首自傷が繰り返されることは少ないと思われます。

治療は、人格障害の症例では、精神療法を行うのが原則であります。ただしこれらは、治療への動機づけが曖昧であることが多いため、その治療への動機づけを評価し、それを促進することが第一の課題だと考えられます。自己破壊的行動の背後に自殺に関わる問題があることに直面化し、それに対応する構えを整えることを促し、次に自傷に至るプロセスやその背景を探索して、それを防止する手だてを講じることが必要と考えます。背景を探索することで自罰行為、他者操作、周囲の注目や関心を集めようとするこの意味が明らかになり、さらに症例の精神病理に理解を深め、話し合い、改善の方向を探ることが治療のプログラムと思われます。

一般的に自傷の意味を過去の対人関係にさかのぼって本人が理解するのを援助していく力動的な精神療法と先行刺激と情動面での反応、認知のパターンなどを扱っていく認知行動療法が主なものと考えます。少しずつ親からの分離固体化、つまりそれに伴う不安を克服しつつ自立をしていけるよう援助していくことが我々の役割と考えます。

薬物療法としては、自傷行為を含めた衝動性の亢進にセロトニン系の低下が関連しているといわれており、抗うつ薬としてはSSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害剤）が多く使用されております。

## おしえて！ドクター 健康耳寄り相談室

M R T ラジオ

毎週土曜日 午前 11 時 20 分 ~ 11 時 30 分 放送

## FDG -PET 検査による癌診断

(平成 20 年 9 月 13 日放送)

放射線科医会 長 町 茂 樹

FDG -PET 検査(以下 PET 検査)が日常臨床で保険適応になり既に 7 年目になるが、宮崎県では他県に先駆けて PET 検査がいち早く可能になり日常臨床に寄与して来た。PET 検査とは活発に活動する癌細胞が栄養源であるブドウ糖を正常細胞よりも多く取り込む性質を利用して癌診断を行う検査法であり、非侵襲的で、放射性医薬品の静脈注射に伴う痛み以外の苦痛はなく、特に副作用も無い。

最近の全国規模アンケート調査に基づく PET 癌検診における癌の発見率では約 100 人に 1 人と極めて高い事が明らかになった。頻度の高い順に大腸癌、甲状腺癌、肺癌、乳癌、前立腺癌が発見されている。PET 検査を受けなくても、各々の癌を発見することを目的とした検診を個別に受ければ発見できる場合もあると思われるが、効率良く検査を進める上で、全身を 1 度の検査で評価できる PET 検査は有効な診断法と言える。

日常診療では PET 検査は癌の発見のみならず、治療を開始するにあたり正確な病期診断(例えば肺や肝臓、骨への転移の有無の診断)を行うにも有効な手法である。さらに治療後の再発診断にも有効で、例えば悪性リンパ腫(リンパの癌)では治療前にみられた FDG 集積が、治療後に消失した場合、CT で腫瘤が残存していても治癒と判定することが提唱されている。また癌患者の 100 人に 1 人は重複癌があることが知られているが、PET 検査はこの別の癌(重複癌)の発見にも極めて有効である。日常の癌診療を効率よく行う上で、PET 検査をご考慮いただければ幸いである。

## 自殺予防について

(平成 20 年 9 月 20 日放送)

県医師会 吉 田 建 世

自殺予防週間が 9 月 10 日 ~ 9 月 16 日に行われた。全国で 10 年連続して自殺者数が 3 万人を超え、宮崎県は昨年死亡率で全国ワースト 2 位になった。宮崎県でも、昨年 11 月に『宮崎県自殺対策推進本部』を設置し対応している。

自殺予防での基礎知識として必要な事は、自殺の原因には健康問題、失業などの経済生活問題、家庭問題が挙げられ、自殺の多くは社会的要因が関係し、心理的に「追い込まれた末の行動」である事。

経済問題は、制度・慣行の見直しや相談・支援体制の整備により、また健康問題や家庭問題などは専門家への相談やうつ病等の治療などの社会的支援により自殺を防ぐことができる事。

自殺を考えている人は何らかのサインを発している。

という事である。

自殺予防で一般の方ができる事は、講習会などに参加し自殺や精神疾患に対する正しい知識を持ち偏見を無くす事。自殺を考えている人のサインに早く気づき専門家に繋ぐ事。現在ある様々な相談事業や支援体制を利用する事。

地域として自殺予防の取組みに参加して頂く事である。

## パ ニ ッ ク 障 害

(平成 20年 9月 2日放送)

精神科医会 渡 邊 信 夫

パニック発作とは、身体に異常がないにもかかわらず、動悸、発汗、身震い、息苦しさ、窒息感、胸痛、胸部圧迫感、嘔気、めまい等の症状が突然起こり、短時間(通常 10分以内)に頂点に達し、死ぬのではないかと、自己のコントロールを失うのではないかとという恐怖を伴う発作である。このパニック発作が予期しない場面で繰り返し起こり、発作が起こるのではないかとという不安が続き、行動にも影響を与える状態をパニック障害という。

パニック発作の患者には、生命にかかわる病気ではないこと、発作は必ずおさまること、薬物療法などが有効であることを理解してもらう必要がある。

薬物療法では、抗不安薬(ベンゾジアゼピン系)と抗うつ薬(SSRIなど)が有効である。心理療法の中では認知行動療法が薬物療法と同様の効果があるといわれている。

症状は、これらの治療でコントロールすることが可能だが、慢性化したり、再発したりすることも多く、長期化した場合にはうつ病の合併も少なくない。

## 涙の病気について

(平成 20年 10月 4日放送)

眼科医会 中 馬 秀 樹

涙には、眼にうるおいを与えるはたらきがある。したがって、涙の量が少なければドライアイとなる。乾燥感、痛み、異物感を自覚し、それを無意識にがまんしていると、眼精疲労の原因にもなる。

多く経験するのは、薬剤性のもので、うつ病で治療中の患者によく経験する。

ほかには、涙の蒸発が亢進するためにおこるドライアイもある。コンピュータ作業中や、読書時で、眼精疲労の大きな原因になる。30分に一度の適度な休憩をとること、人工涙液の点眼をすることが必要である。

逆に涙が多い流涙症は、鼻涙管の閉塞でおこる。慢性の流涙、眼脂の原因であり、また急性涙囊炎の原因となる。

新生児涙囊炎の場合、治療法のひとつは、自然に鼻涙管が自然開通するのを待つ。もうひとつは、早期のプジーである。ともに一長一短があり、施設により方針が異っている。

成人の鼻涙管閉塞症は、プジーで治療しても再閉塞してしまうので、涙囊鼻腔吻合術が必要である。

### 今後の放送予定

平成 20年 12月 13日(土)	整 形 外 科 医 会	山 本 恵 太 郎
12月 20日(土)	内 科 医 会	日 高 恵 子
12月 27日(土)	産 婦 人 科 医 会	松 敬 文
平成 21年 1月 3日(土)	県 医 師 会	上 田 章
1月 10日(土)	耳 鼻 咽 喉 科 医 会	大 迫 廣 人

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

送付日	文 書 名	備 考
11月 1 日	・「世界糖尿病デー」に関するポスター及びチラシの送付について	
11月 4 日	・外来管理加算に関するアンケート調査の実施について     ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について     ・「医療費の内容の分かる領収書及び個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書の交付について」の一部改正等について     ・メトトレキサート注射剤の保険請求上の取扱いについて     ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について     ・第 14回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会の開催について	
11月 5 日	・ジフテリア・百日せき・破傷風( D P T )1 期初回の接種間隔について     ・インフルエンザワクチンの安定供給の状況と対策について     ・自己血糖測定器における測定範囲を超えた場合の表示等に係る自主点検等について     ・「使用上の注意」の改訂について     ・「院内感染対策サーベイランス」に係る参加医療機関の追加募集について	
11月 8 日	・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究に対する協力について	
11月 10日	・平成 20年の医師の届出及び調査について	
11月 12日	・糖尿病診療に関する医療従事者研修会について	
11月 17日	・「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告し得る事項等及び広告適正化のための指導等に関する指針(医療広告ガイドライン)」の改正について     ・国民健康保険「被保険者資格証明書」の交付に際しての留意点について     ・「手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術」の施設基準の届出に係る取扱いについて     ・労災保険における「移送の取扱いについて」の一部改正について	

送付日	文 書 名	備 考
11月 18日	・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正について     ・医療機器の保険適用について     ・検査料の点数の取扱いについて     ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について     ・「カベルゴリン製剤の薬事法上の用法・用量の改正等について」等の通知について	
11月 20日	・医療安全を推進するためのポスターの送付について     ・安全使用共通認識ポスターの改定について	
11月 21日	・新医薬品等の再審査結果 平成 20年度(その2)について     ・医療用配合剤及びヘパリン製剤(注射剤)の販売名命名並びに注射剤に添付されている溶解液の表示の取扱いについて     ・インスリンペン型注入器等と注入用針の組合せ使用に係る「使用上の注意」の改訂等について     ・ジャクソンリース回路の回収等について(注意喚起及び周知依頼)     ・はしかの予防接種に関する広報について	
11月 22日	・地域産業保健センター事業の平成 20年度成果目標に係るアンケートの実施について	
11月 26日	・「特定保険医療材料の定義について」の一部訂正について	
11月 27日	・「特定保険医療材料の定義について」の一部訂正について     ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について	

期間中の感染症・食中毒情報( № 2591- 2604)

-----  
 あなたできますか？( 解答 )

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a ,d	c ,e	b	c ,d	c	d	b	e	b ,c	b

## 平成 20年 総目次 ( № 701~ № 712)

## 【表 紙】

新宮崎県医師会館				1月号
一ツ瀬川朝景	新 富 町	丸 田 英 夫		2月号
悠久	えびの市	齋 藤 宰		3月号
紀元杉	都 城 市	丸 田 茂 徳		4月号
加江田溪谷	宮 崎 市	橋 口 哲 美		5月号
苔の絨毯	宮 崎 市	小 川 次 男		6月号
美郷町御田祭	都 城 市	武 田 信 豊		7月号
ハワイ特産エンジェルフィッシュ	宮 崎 市	田 中 宏 幸		8月号
白楽天詩より	宮 崎 市	尾 上 孝 子		9月号
輝く漣	小 林 市	前 田 俊 二		10月号
秋の日	宮 崎 市	楠 元 正 輝		11月号
和顔愛語	延 岡 市	岡 村 公 子		12月号
	会 長	秦 喜 八 郎		

## 【会長のページ】

新年のごあいさつ - 新しい年を希望の年に				1月号
新しい革袋には新しい酒を				2月号
危機管理は大丈夫か？				3月号
	会 長	稲 倉 正 孝		
県医師会会長就任のご挨拶				4月号
「後期高齢者診療料」施設基準の届出自粛と算定見送りのお願い				5月号
医師不足問題について				6月号
医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案について				7月号
地域医療崩壊阻止 - 社会保障費の年 2,200億円削減撤廃を求める -				8月号
日医総研ワーキングペーパー№ 166を読んで				9月号
次期衆議院選挙について				10月号
医療法人制度改革について				11月号
医師不足問題と医療関係職種の業務分担の見直しについて				12月号

## 【日州医談】

無過失補償制度	常任理事	西 村 篤 乃	3月号
宮崎県医療計画について	副 会 長	河 野 雅 行	6月号
後期高齢者診療料について	副 会 長	富 田 雄 二	6月号
医家芸術展について	理 事	高 橋 政 見	8月号
公益法人制度改革について(その1)	常任理事	立 元 祐 保	9月号
百日咳の流行について	常任理事	吉 田 建 世	9月号
公益法人制度改革について(その2)	常任理事	立 元 祐 保	10月号
南那珂の小児科事情と危惧	理 事	中 島 昌 文	10月号
医療安全調査委員会創設をめぐって	理 事	上 田 章	11月号
公益法人制度改革について(最終回)	常任理事	立 元 祐 保	12月号

## 【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	唐 澤 祥 人	1月号
年頭所感	県医師会顧問	黒 水 啓 一	1月号

年頭所感	県医師会顧問	竹 内 三 郎	1 月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	中 村 典 生	1 月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	夏 田 康 則	1 月号
年頭所感	延岡市医師会長	岡 村 公 子	1 月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	甲 斐 文 明	1 月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1 月号
年頭所感	西都市・西児湯医師会長	相 澤 潔	1 月号
年頭所感	南那珂医師会長	大 井 正 文	1 月号
年頭所感	西諸医師会長	大 森 臣 道	1 月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	佐 藤 元二郎	1 月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	高 崎 眞 弓	1 月号
年頭所感	内科医会長	志 多 武 彦	1 月号
年頭所感	小児科医会長	千 阪 治 夫	1 月号
年頭所感	外科医会長	増 田 好 治	1 月号
年頭所感	整形外科医会長	松 田 弘 彦	1 月号
年頭所感	皮膚科医会長	成 田 博 実	1 月号
年頭所感	泌尿器科医会長	中 山 健	1 月号
年頭所感	産婦人科医会長	西 村 篤 乃	1 月号
年頭所感	眼科医会長	原 田 一 道	1 月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	菊 池 清 文	1 月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1 月号
年頭所感	放射線科医会長	田 村 正 三	1 月号
年頭所感	東洋医会長	井 上 博 水	1 月号
年頭のご挨拶	県 知 事	東国原 英 夫	1 月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 1 区 )	中 山 成 彬	1 月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 2 区 )	江 藤 拓	1 月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 3 区 )	古 川 禎 久	1 月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1 月号
年頭のご挨拶	参議院議員	外 山 斎	1 月号
県医役員退任挨拶	前 会 長	秦 喜八郎	5 月号
県医役員退任挨拶	前副会長	大 坪 睦 郎	5 月号
県医役員退任挨拶	前副会長	志 多 武 彦	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	稲 倉 正 孝	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	西 村 篤 乃	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	富 田 雄 二	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	早稲田 芳 男	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	河 野 雅 行	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	濱 砂 重 仁	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	浜 田 恵 亮	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	吉 田 建 世	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	野 崎 藤 子	5 月号
県医役員退任挨拶	前常任理事	長 倉 穂 積	5 月号
県医役員退任挨拶	前 理 事	高 橋 政 見	5 月号
県医役員退任挨拶	前 理 事	中 島 昌 文	5 月号
県医役員退任挨拶	前 理 事	上 田 章	5 月号

県医役員退任挨拶	前 理 事	丹	光 明	5 月号
県医役員退任挨拶	前 理 事	池ノ上	克	5 月号
県医役員退任挨拶	前 理 事	済 陽	英 道	5 月号
【宮崎大学医学部教授退任挨拶】				
機能制御学講座統合生理学分野	教 授	河 南	洋	4 月号
外科学講座泌尿器科学分野	教 授	長 田	幸 夫	4 月号
【宮崎大学医学部教授新任挨拶】				
病態解析医学講座麻酔生体管理学	教 授	恒 吉	勇 男	10月号
【随想・随筆】				
年金騒動，そして思い出す事	日 向 市	松 岡	弘	3 月号
先生・さん・君	宮 崎 市	美 原	恒	3 月号
医療狂歌	宮 崎 市	山 村	善 教	3 月号
孤独死，街のなかの野ざらし紀行 - 警察医の視点	宮 崎 市	大 西	雄 二	4 月号
懐かしのポップス	宮 崎 市	谷 口	二 郎	5 月号
正師を得ざれば	宮 崎 市	川 野	啓一郎	5 月号
空手の効用	都 城 市	柳 田	喜美子	10月号
テラスでランチを	宮 崎 市	谷 口	二 郎	10月号
医療狂歌	宮 崎 市	山 村	善 教	10月号
薬物依存，恍惚の人 - 警察医の視点	宮 崎 市	大 西	雄 二	11月号
北京オリンピック JUDO に物申す！	小 林 市	柊 山	剰	11月号
祖父と戦艦金剛	都 城 市	柳 田	喜美子	12月号
がん( 雁 )と，かも( 鴨 )	日 向 市	松 岡	弘	12月号
濱田不二雄先生を悼みて	宮 崎 市	貴 島	テル子	12月号
【旅行記】				
北陸能登路旅行	宮 崎 市	森 山	正 武	4 月号
山口 100 軒往還マラニック	宮 崎 市	森	継 則	6 月号
スタンド・バイ・ミー	宮 崎 市	川 野	啓一郎	12月号
【論壇・論説】				
医師は増加しているのに，何故医師不足なのか	広報委員会委員長	荒 木	康 彦	7 月号
【新春随想・俳壇・歌壇】				
若山牧水の故郷を訪ねて	都 城 市	小 柳	左 門	1 月号
転失気( てんしっき，又はてんしき )	宮 崎 市	木 下	恒 雄	1 月号
地には平和を	都 城 市	横 山	陽 二	1 月号
ギリシャ紀行	清 武 町	田 村	正 三	1 月号
イスタンブール旅行雑感	清 武 町	竹 島	秀 雄	1 月号
診療ができる喜び	宮 崎 市	立 山	浩 道	1 月号
顔で笑って心で泣いて	延 岡 市	宝珠山	弘	1 月号
会美子	都 城 市	貴 島	俊 英	1 月号
懐かしの会館よさようなら	宮 崎 市	貴 島	テル子	1 月号
住民健診	延 岡 市	藤 本	孝 一	1 月号
お受験	都 城 市	田 中	穰 式	1 月号
新春随想	清 武 町	迫 田	隅 男	1 月号
You are fantastic !	日 向 市	松 倉	茂	1 月号
新春随想	延 岡 市	市 原	厚 佳	1 月号

俺は、手術のできない外科医だ	高 鍋 町	坂 田 師 通	1 月号
新春随想	宮 崎 市	伊 井 敏 彦	1 月号
新春随想	宮 崎 市	黒 岩 基	1 月号
東京下町散歩	宮 崎 市	中 山 健	2 月号
コウガイビルの夢	清 武 町	丸 山 治 彦	2 月号
新春随想	都 城 市	山 路 健	2 月号
家車	宮 崎 市	岡 田 光 司	2 月号
女の生き方	宮 崎 市	貴 島 テル子	2 月号
高鍋町の地区名	高 鍋 町	坂 田 師 隣	2 月号
新春随想	宮 崎 市	弓 削 達 雄	2 月号
新春随想	宮 崎 市	横 田 直 人	2 月号
オーシャンリゾートアイランド・グアム	宮 崎 市	本 田 正 之	2 月号
西都原逍遥(二)	西 都 市	水 田 雅 久	2 月号
平成 19年の初体験	三 股 町	内 田 恒 久	2 月号
「過ぎたる」ことと「及ばざる」こと	清 武 町	小 池 弘 幸	2 月号
そうか、もう「還暦」なのだなあ	宮 崎 市	中 村 育 夫	2 月号
海鳴り	延 岡 市	長 沼 弘三郎	2 月号
H istorical thinking, now action, 温故知新	日 南 市	河 野 清 秀	2 月号
M ind Over M uscle	都 城 市	佐々木 幸 二	2 月号
【はまゆう随筆・短歌・俳句】			
先見の明	南 郷 町	東 茂 光	7 月号
頑張った琴欧洲	小 林 市	柊 山 剽	7 月号
終身刑になりたい国民	宮 崎 市	森 満 保	7 月号
ハウステンボスの旅	日 向 市	康 田 明 照	7 月号
情報化社会における医学論文の商品価値	宮 崎 市	江 藤 胤 尚	7 月号
「これだー!!」というもの	宮 崎 市	谷 口 二 郎	7 月号
お伊勢さん	延 岡 市	野 田 寛	7 月号
豹変	宮 崎 市	貴 島 テル子	7 月号
蛭	都 城 市	小 柳 左 門	7 月号
稲田の案山子	延 岡 市	宝珠山 弘	7 月号
頸動脈プラークとヘリコバクターピロリ菌	都 城 市	貴 島 俊 英	7 月号
ウォーキングのすすめ	宮 崎 市	田 島 直 也	7 月号
古き名刺	延 岡 市	藤 本 孝 一	7 月号
野口英世を探して	日 向 市	尾 崎 峯 生	7 月号
卒業 50年目の同窓会	宮 崎 市	渡 邊 克 司	7 月号
童歌と老い	宮 崎 市	永 山 武 章	7 月号
大連紀行	延 岡 市	岸 田 克 明	7 月号
鱈の投げ釣り	宮 崎 市	壹 岐 尚 生	7 月号
バンフスプリングスホテル	宮 崎 市	松 本 宏 一	8 月号
音検	宮 崎 市	原 田 一 道	8 月号
漢字検定	小 林 市	池 井 亨	8 月号
笑顔が出てこない	宮 崎 市	杉 田 幸 雄	8 月号
県医師会に期待すること	高 鍋 町	坂 田 師 通	8 月号
言葉	宮 崎 市	貴 島 テル子	8 月号
五つの約束	宮 崎 市	山 村 善 教	8 月号

秋葉原無差別殺人事件	小 林 市	柊 山	剰	8 月号
新聞	宮 崎 市	大 野	政 一	8 月号
活字にはルビ(ふりがな)を振ろう - ルビ推進に熱いおもいをこめて -(せめて姓名,地名には)				
	清 武 町	柴 田	紘一郎	8 月号
時は金なり	高千穂町	土 持	隆 彦	8 月号
片道切符の人生	日 南 市	梅 村	享 信	8 月号
Bluetooth はライダーの孤独を解消できるのか?	延 岡 市	野 田	省 治	8 月号
マイブーム	宮 崎 市	下 窪	徹	9 月号
インフルエンザ・パンデミック	延 岡 市	白 根	聖 弓	9 月号
10年パスポート	宮 崎 市	獅子目	賢一郎	9 月号
夏の思い出	宮 崎 市	杜 若	陽 祐	9 月号
新興住宅地の怪	清 武 町	近 藤	一 博	9 月号
エマルゴ・シニアインストラクターコース受講記	宮 崎 市	牧 原	真 治	9 月号
「ジージ」と「ジジイ」	小 林 市	前 原	東 洋	9 月号
楽しい透析	宮 崎 市	日 高	恵 子	9 月号
M aldives	新 富 町	谷 畠	満	9 月号
終の音	延 岡 市	長 沼	弘三郎	9 月号
ピンピンコロリ	宮 崎 市	渡 邊	克 司	9 月号
ルーツ	えびの市	井 尻	裕 司	9 月号
初めての大腸穿孔	清 武 町	関 屋	亮	9 月号
【エコー・リレー】				
第 6 回米国てんかん学会 - フィラデルフィア滞在記	清 武 町	植 田	勇 人	1 月号
アキレス腱	延 岡 市	木 谷	道 隆	1 月号
宮崎県難病医療連絡協議会と医師不足	宮 崎 市	塩 屋	敬 一	2 月号
時間のやりくり	西 都 市	大 塚	正 晃	2 月号
正確に狂う電波腕時計?	宮 崎 市	山 下	良 三	3 月号
磯釣り	宮 崎 市	湯 池	宏 明	3 月号
私の息抜き	宮 崎 市	小 村	和 孝	4 月号
携帯電話	宮 崎 市	木 下	浩	4 月号
40歳になり再開した自分の楽しみ	都 城 市	隅	清 克	5 月号
堀川運河	日 南 市	福 岡	周 司	5 月号
僕はワーカホリック(workaholic)	宮 崎 市	肥 後	貴 史	6 月号
水草水槽の誘惑	宮 崎 市	作	直 彦	6 月号
温泉効能の一つ	宮 崎 市	釜 付	弘 志	7 月号
ちりとてちん	宮 崎 市	坪 井	陽 子	7 月号
「不養生」から「功名」へ	西 都 市	串 間	美 昭	8 月号
至福のひとつき	国 富 町	川 越	宏 文	8 月号
飽食の果てに	宮 崎 市	渡 邊	綱 之	9 月号
禁煙は本当に正しいのか?	宮 崎 市	岩 城	彰	9 月号
我が家のサッカー事情	宮 崎 市	田 原	浩一朗	10月号
スーツスタイルから	延 岡 市	高 橋	弘 憲	10月号
OKINAWA の思い出	都 城 市	木 上	幸一郎	11月号
心のブレーキの外し方	宮 崎 市	日 高	利 昭	11月号
土鍋のごはん	小 林 市	沖	美 和	12月号
旅行の楽しみ	日 向 市	久 保	浩 秀	12月号

## 【心・いのちを考えるお茶の間作文コンクール受賞作品】

(金賞)驚愕の朝	三重野 文 子	2月号
(銀賞)両親の病気でかかりつけ医の大切さを知る	吉 野 智 子	3月号
(銀賞)闘病と私の目標	楯 真由美	3月号
(銅賞)私達夫婦のガンガン闘病記	富 田 博	4月号
(銅賞)ウォーキングで病を克服	恒 益 真 弓	4月号
(銅賞)本当に生きるという事	奥 和 代	4月号

## 【叙位・叙勲】

瑞宝双光章綬章(学校保健功労)	南那珂医師会	丸 田 民 昭	6月号
旭日小綬章綬章(保健衛生功労)	宮崎市郡医師会	秦 喜八郎	12月号

## 【表彰・祝賀】

平成 19年叙位・叙勲及び表彰祝賀受賞会員			1月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	田 中 浩 夫	5月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	横 山 巖	5月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	日向市東臼杵郡医師会	三ヶ尻 榮 一	5月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	西都市・西児湯医師会	大 塚 直 純	5月号
読売新聞社第 36回医療功労賞表彰	日向市東臼杵郡医師会	金 丸 吉 昌	5月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	松 本 信 儀	6月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	都城市北諸県郡医師会	有 川 憲 蔵	6月号
医療功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	小 牧 一 磨	8月号
医療功労者県知事表彰	延岡市医師会	夏 吉 新 平	8月号
医療功労者県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	中 村 恒 雄	8月号
医療功労者県知事表彰	児湯医師会	小 村 徹	8月号
安全衛生功労者宮崎労働局長表彰	都城市北諸県郡医師会	有 川 憲 蔵	9月号
日本対がん協会賞	宮崎市郡医師会	秦 喜八郎	10月号
救急医療功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	児 玉 實 志	10月号
救急医療功労者県知事表彰	延岡市医師会	赤 須 正 道	10月号
救急医療功労者県知事表彰	児湯医師会	立 野 進	10月号
国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	秦 喜八郎	12月号
国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	落 合 隆 志	12月号
精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	武 藤 仁	12月号
学校保健及び学校安全功労者文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	高 木 秀 昭	12月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	影 山 健 彦	12月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	藤 本 孝 一	12月号
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	二 木 秀 人	12月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	都城市北諸県郡医師会	福 島 正 明	12月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	日向市東臼杵郡医師会	渡 邊 康 久	12月号
公衆衛生事業功労者日本公衆衛生協会会長表彰	西都市・西児湯医師会	留 守 健 一	12月号

公衆衛生事業功労者県知事表彰	宮崎市郡医師会	小 倉 克 正	12月号
公衆衛生事業功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	森 善 治	12月号
日本医師会優功賞	都城市北諸県郡医師会	柳 田 喜美子	12月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	呉 屋 朝 和	12月号
【あなたできますか】			各 号
【宮崎県感染症発生動向】			各 号
【グリーンページ】			
中医協での検討に対する日本医師会の主張	副 会 長	志 多 武 彦	1 月号
規制改革会議第 2 次答申と日医の見解について	副 会 長	志 多 武 彦	2 月号
平成 20年度診療報酬改定について	副 会 長	志 多 武 彦	3 月号
【メディアの目】			
放てば手に満てり	朝日新聞宮崎総局長	三 国 治	2 月号
テレビ番組にもの申す	N H K 宮崎放送局放送部長	桑 野 重 明	3 月号
一皮むける醍醐味	共同通信宮崎支局長	上 野 敏 彦	4 月号
随想片々	時事通信社宮崎支局長	小 林 秀 明	5 月号
中国・四川大地震で危機管理を想う	テレビ宮崎報道局長	赤 塚 剛	6 月号
橘通り車線減，科学的な論議を	日本経済新聞宮崎支局長	坂 田 保 治	7 月号
8・12～ 2 つの災害	宮崎日日新聞社報道部長	河 野 誠 司	8 月号
「ケータイ時代」に思うこと	M R T 報道制作局	落 合 政 紀	9 月号
「限界集落」と新呼称募集	南日本新聞社宮崎支局長	前 田 秀 憲	11月号
大震災への備え	読売新聞宮崎支局長	千 田 伸 二	12月号
【各郡市医師会だより】			
都城市北諸県郡医師会(メイン)			2 月号
延岡市医師会(メイン)			3 月号
宮崎市郡医師会	会 長	中 村 典 生	5 月号
都城市北諸県郡医師会	会 長	夏 田 康 則	5 月号
延岡市医師会	会 長	岡 村 公 子	6 月号
日向市東臼杵郡医師会	会 長	甲 斐 文 明	6 月号
児湯医師会	会 長	永 友 和 之	7 月号
西都市・西児湯医師会	会 長	相 澤 潔	7 月号
南那珂医師会	会 長	山 元 敏 嗣	8 月号
西諸医師会	会 長	榎 健一郎	8 月号
西臼杵郡医師会	会 長	佐 藤 元二郎	9 月号
宮崎大学医学部医師会	会 長	高 崎 眞 弓	9 月号
【国公立病院だより】			
国立病院機構宮崎病院	院 長	寺 本 仁 郎	3 月号
高千穂町国民健康保険病院	院 長	柴 田 和 哉	5 月号
県立富養園	園長代理	小 川 泰 洋	7 月号
宮崎市小児診療所	副 所 長	高 村 一 志	9 月号
宮崎市立田野病院	院 長	吉 岡 誠	12月号
【宮崎大学医学部だより】			
病理学講座構造機能病態学分野	助 教	佐 藤 勇一郎	2 月号
内科学講座消化器血液学分野	医 局 長	永 田 賢 治	3 月号
生殖発達医学講座小児科学分野	講 師	盛 武 浩	4 月号

臨床神経科学講座精神医学分野		橋 口 浩 志	5 月号
社会医学講座公衆衛生学分野	教 授	黒 田 嘉 紀	7 月号
内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野	教 授	中 里 雅 光	8 月号
機能制御学講座機能生化学分野	教 授	中 山 建 男	11月号
感覚運動医学講座皮膚科学分野	医 局 長	西 田 隆 昭	12月号
【専門分科医会だより】			
整形外科医会	会 長	松 田 弘 彦	2 月号
眼科医会	会 長	原 田 一 道	3 月号
小児科医会	会 長	佐 藤 雄 一	6 月号
産婦人科医会	会 長	濱 田 政 雄	8 月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	10月号
【部会だより】			
医療法人部会	部 会 長	鮫 島 哲 也	5 月号
労災部会	部 会 長	市 来 齊	7 月号
産業医部会	常任理事	大 塚 直 純	11月号
園医部会	部 会 長	先 成 英 一	12月号
【報告( 各種委員会 )】			
健康スポーツ医学委員会			1 月号
将来構想委員会			1 月号
女性医師委員会			3 月号
医学会誌編集委員会			3 月号
将来構想委員会			3 月号
会員福祉委員会			4 月号
救急医療委員会			4 月号
健康スポーツ医学委員会			4 月号
学術生涯教育委員会			4 月号
学術生涯教育委員会			5 月号
健康スポーツ医学委員会			5 月号
健康教育委員会			5 月号
情報システム委員会			10月号
健康スポーツ医学委員会			10月号
介護保険委員会			10月号
公衆衛生・感染症委員会			11月号
学術生涯教育委員会			11月号
情報システム委員会			11月号
健康教育委員会			11月号
定款・諸規定委員会			12月号
【報告( 諸会議 )】			
県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会			1 月号
地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議			1 月号
九州医師会連合会第 29回常任委員会			1 月号
九州医師会連合会第 94回臨時委員総会			1 月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会			1 月号
第 10回九州医師会連合会総会・医学会			1 月号
都道府県医師会広報担当理事連絡協議会			1 月号

都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	理 事 上 田 章	1 月号
家族計画・母体保護法指導者講習会		1 月号
平成 19年度九州学校健診協議会専門委員会		2 月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会		2 月号
九州医師会連合会第 293回常任委員会		3 月号
九州医師会連合会第 2 回各種協議会		3 月号
第 3 回都市医師会長協議会( 概要 )		4 月号
宮崎県医師会創立 119周年記念医学会		4 月号
第 145回宮崎県医師会臨時代議員会( 概要 )		4 月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議		4 月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会 ,		
九州ブロック日医代議員( 含次期 )連絡会議		4 月号
都道府県医師会廃棄物担当理事連絡協議会		4 月号
都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会	常任理事 富 田 雄 二	4 月号
平成 19年度各専門分科医会長会		5 月号
平成 20年度各専門分科医会長会		5 月号
「新たな死因究明制度等」に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会		5 月号
感染症危機管理対策協議会		5 月号
各都市医師会長並びに社保担当理事連絡協議会		6 月号
第 146回宮崎県医師会定例代議員会( 概要 )		6 月号
九州医師会連合会第 294回常任委員会		6 月号
全国医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会		6 月号
都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会		6 月号
宮崎県医学会役員会		7 月号
九州医師会連合会第 295回常任委員会		7 月号
九州医師会連合会第 95回定例委員総会		7 月号
都道府県医師会「公益法人制度改革」担当理事連絡協議会		7 月号
都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会		7 月号
県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会		8 月号
第 14回宮崎県医師会定例代議員会( 概要 )		8 月号
宮崎県医師会互助会定時評議員会		8 月号
平成 20年度宮崎県医師会第 64回定例総会 , 第 58回互助会総会 , 第 60回宮崎県医師連盟大会		8 月号
各都市医師会学校保健担当理事者会		8 月号
地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議		8 月号
麻しん・風しん予防接種推進会議		8 月号
宮崎県臨床研修運営協議会		8 月号
都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会		8 月号
平成 20年度第 2 回各都市医師会長協議会( 概要 )		9 月号
成人病検診各部長連絡協議会		10月号
九州医師会連合会第 296回常任委員会		10月号
第 52回九州ブロック学校保健・学校医大会 , 平成 20年度九州学校検診協議会( 年次大会 )		10月号
宮崎県医師会介護支援専門員( ケアマネジャー )連絡協議会理事会		11月号
第 3 回都市医師会長協議会( 概要 )		11月号
第 39回中四九地区医師会看護学校協議会運営委員会		11月号
九州医師会連合会第 29回常任委員会		11月号

九州医師会連合会平成 20年度第 1 回各種協議会	11月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会	11月号
第 30回産業保健活動推進全国会議	12月号
都道府県医師会「地域医療,保健,福祉を担う幅広い能力を有する医師」の 養成を目的とする認定制度に関する協議会	12月号

## 【報告(その他)】

宮崎県医師会館落成記念行事	2月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	2月号
新規個別指導の結果について	2月号
本県の医療体制整備について東国原県知事へ要望	4月号
第 1 回 IT フェア宮崎 2008	6月号
みやざきナース Today 2008	7月号
第 19回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会	8月号
平成 18年度医療法第 25条に基づく立入検査結果について	8月号
初期医師臨床研修 修了後専門研修説明会 in みやざき	9月号
保険医療機関の指導計画等打合せ会	9月号
第 9 回宮崎県医師会医家芸術展	10月号
社会保険庁改編に伴う九州厚生局の説明会	11月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	12月号

## 【薬事情報センターだより】

新薬紹介(その 11)	1月号
新薬紹介(その 12)	2月号
新薬紹介(その 13)	3月号
新薬紹介(その 14)	4月号
重篤副作用疾患別対応マニュアル	5月号
新薬紹介(その 15)	6月号
新薬紹介(その 16)	7月号
新薬紹介(その 17)	8月号
新薬紹介(その 18)	9月号
新薬紹介(その 19)	10月号
新薬紹介(その 20)	11月号
新薬紹介(その 21)	12月号

## 【職員紹介】

学術広報課, 地域医療課	1月号
医師国保組合	2月号
医師協同組合・(有)エム・エム・エス・シー	3月号

## 【医師国保組合だより】

保険料が変わります	4月号
医師国保組合歩こう会に参加して	宮崎市長 阿南 育男 5月号
平成 19年度宮崎県医師国民健康保険組合第 98回通常組合会	5月号
健康診断について, 歯科健診について	6月号
被保険者証の一斉更新について	9月号
「インフルエンザワクチン接種補助」の実施について, 第 14回「歩こう会」を開催いたします	10月号
平成 20年度宮崎県医師国民健康保険組合第 99回通常組合会	10月号

こんな時には届け出が必要です			11月号
【宮崎県医師協同組合だより】			
宮崎県医師協同組合第 23 回通常総代会の開催について			6 月号
宮崎県医師協同組合理事長退任挨拶	理 事 長	秦 喜八郎	8 月号
【追悼のことば】			
押 川 公 昭 先生	宮崎市郡医師会		2 月号
海老原 和 正 先生	宮崎市郡医師会		4 月号
有 川 昌 男 先生	西都市・西児湯医師会		4 月号
福 田 陽一郎 先生	宮崎市郡医師会		4 月号
大 島 康 宏 先生	都城市北諸県郡医師会		4 月号
外 山 誠 也 先生	南那珂医師会		4 月号
井 上 日出男 先生	延岡市医師会		5 月号
楠 原 敏 幸 先生	宮崎市郡医師会		8 月号
園 田 恭 久 先生	西諸医師会		8 月号
野 辺 貞 典 先生	宮崎市郡医師会		9 月号
濱 田 不二雄 先生	宮崎市郡医師会		12 月号
柊 山 緑 先生	西諸医師会		12 月号
丸 田 美 徳 先生	都城市北諸県郡医師会		12 月号
【診療メモ】			
今日の予防接種	三宅小児科医院	三 宅 和 昭	1 月号
最近の近視矯正手術	宮田眼科病院	宮 田 和 典	2 月号
「輸血療法」時代における安全管理	南部病院	立 山 浩 道	3 月号
宮大病院橋通歯科口腔外科クリニック			
宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科		迫 田 隅 男	4 月号
これからの手術室	宮崎大学医学部附属病院	高 崎 眞 弓	5 月号
美容医療の現状 美容外科と美容皮膚科	中野医院	中 野 俊 二	6 月号
新たな国民病, CKD(慢性腎臓病)			
宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野		藤 元 昭 一	7 月号
“JAW S”を探せ～ 64 チャンネルボリューム CT による冠動脈 CT 検査～			
宮崎循環器病院		竹 永 誠	8 月号
外来化学療法への思い	宮崎善仁会病院	森 山 裕 一	9 月号
B 型肝炎の現状と治療	串間市民病院	黒 木 和 男	10 月号
新しい人工聴覚器: 骨固定型補聴器(BAHA)とハイブリッド型人工内耳(EAS)			
宮崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科		東 野 哲 也	11 月号
自傷行為(リストカットについて) こごうメンタルクリニック		古 郷 博	12 月号
【私の本】			
「宮崎の感染症」その歴史と風土	宮 崎 市	大 西 雄 二	10 月号
卵が先か鶏が先か...親が先か子が先か...	宮 崎 市	尾 田 博	11 月号
【私が推薦する本】			
歌集「微笑の空」	宮 崎 市	長 嶺 元 久	3 月号
【私の演奏会】			
第 4 回都城音楽祭プレコンサート - 西浦姉妹の歌とバイオリン			
都 城 市		西 浦 美佐子	7 月号
【おしえて! ドクター 健康耳寄り相談室】			
PET による癌の早期発見	放射線科医会	長 町 茂 樹	1 月号

熱傷について	皮膚科医会	田 尻 明 彦	1 月号
地域医療の魅力	県医師会	金 丸 吉 昌	1 月号
睡眠時無呼吸症候群	耳鼻咽喉科医会	熊 原 恵一郎	1 月号
妊娠, 分娩における医師と患者の意識のギャップ	産婦人科医会	金 田 太 郎	2 月号
麻疹排除に向けて	小児科医会	川 口 健 二	2 月号
医師確保 - 宮崎大学医学部の取り組み	県医師会	池ノ上 克	2 月号
膝に水がたまる	整形外科医会	坂 本 康 典	2 月号
肝炎について	内科医会	堀 剛	3 月号
低用量ピル(低用量経口避妊薬)に関する最近の話題	産婦人科医会	山 口 昌 俊	3 月号
胃癌大腸癌早期発見のために	外科医会	杉 本 英 彦	3 月号
花粉症について	耳鼻咽喉科医会	宮 永 敏	3 月号
後期高齢者医療制度とは	県医師会	済 陽 英 道	3 月号
妊娠に於ける風疹感染の診断と対応は	産婦人科医会	下 村 雅 伯	3 月号
漢方薬・漢方医学についての3つの誤解	漢方薬には即効性はない?		
	東洋医会	井 上 博 水	4 月号
骨セメント注入で圧迫骨折の痛みを軽減	放射線科	榮 建 文	4 月号
眼瞼下垂について	眼科医会	中 馬 秀 樹	4 月号
狭心症の診断	内科医会	野 崎 勝 宏	4 月号
新医師会館	県医師会	稲 倉 正 孝	5 月号
解熱剤と抗生物質	小児科医会	山 崎 俊 輔	5 月号
パニック障害について	精神科医会	高 城 健 司	5 月号
下肢静脈瘤の治療について	外科医会	桑 原 正 知	5 月号
高齢者の逆流性食道炎	内科医会	南 寛 之	6 月号
蛋白尿について	内科医会	木 下 浩	6 月号
宮崎県の周産期医療	産婦人科医会	河 崎 良 和	6 月号
後期高齢者医療制度(長寿医療制度)について	県医師会	稲 倉 正 孝	6 月号
中学1年生と高校3年生を対象としたMRワクチン	小児科医会	上 野 満	7 月号
キズの治療 - 最近の考え方 -	外科医会	倉 元 光 明	7 月号
夜間頻尿について	泌尿器科医会	井 上 勝 己	7 月号
漢方の最近の話題	東洋医会	川 越 宏 文	7 月号
未成年者の飲酒について	精神科医会	比江島 誠 人	8 月号
特定健診・保健指導	県医師会	河 野 雅 行	8 月号
夏の紫外線対策	皮膚科医会	中 野 俊 二	8 月号
食中毒	内科医会	田 中 宏 幸	8 月号
膝のスポーツ障害 - 使い過ぎ症候群の予防と治療	整形外科医会	小 櫻 博 幸	9 月号
葛根湯の上手な使い方	東洋医会	大 森 史 彦	9 月号
網膜剥離について	眼科医会	中 崎 秀 二	9 月号
採血用穿刺器具について	県医師会	富 田 雄 二	9 月号
前立腺癌のPSA検診...泌尿器科医から	泌尿器科医会	棚 田 敏 文	10月号
家庭血圧の意義	内科医会	比 嘉 利 信	10月号
蕁麻疹について	皮膚科医会	小 橋 正 洋	10月号
反復性中耳炎	耳鼻咽喉科医会	牧 元 宏	10月号
骨粗鬆症について	整形外科医会	野 辺 達 郎	11月号
貧血と胃カメラ	外科医会	田 坂 裕 保	11月号

H 1b ワクチンについて	小児科医会	田 原 浩一朗	11月号
小児の夜尿症	泌尿器科医会	郡 山 和 夫	11月号
P E T /C Tによる癌診断	放射線科医会	長 町 茂 樹	12月号
自殺予防	県医師会	吉 田 建 世	12月号
パニック障害について	精神科医会	渡 邊 信 夫	12月号
流涙について	眼科医会	中 馬 秀 樹	12月号
【読者の広場】			
			3 , 4 , 6 ~ 12月号
【その他】			
年頭のご挨拶 (囲み) 宮崎県医師会			1 月号
年頭のご挨拶 (囲み) 宮崎県医師協同組合			1 月号
年頭のご挨拶 (囲み) 宮崎県医師国保組合			1 月号
年頭のご挨拶 (囲み) 宮崎県病院厚生年金基金			1 月号
県医師会役員名簿・理事業務分担			4 月号
各都市医師会役員名簿			4 月号
【告 知】			
第 146回宮崎県医師会定例代議員会・宮崎県医師連盟執行委員会開催			4 月号
第 147回宮崎県医師会定例代議員会・宮崎県医師連盟執行委員会開催			6 月号
【ご案内】			
平成 20年度宮崎県医師会第 64回定例総会, 第 58回互助会総会, 第 60回宮崎県医師連盟大会			6 月号
平成 20年度宮崎県医学会			8 月号
第 9 回宮崎県医師会医家芸術展			8 月号
【お知らせ】			
各都市への送付文書			各 号
宮崎県医師会役員等選挙のご案内			1 月号
日本の医療改革に警鐘を鳴らす映画「SICKO」上映について			2 月号
次期役員等選挙の結果について			2 月号
日州医事投稿についてのお知らせ			3 , 4 , 12月号
会員専用ホームページについて			3 月号
日本医師会医療秘書認定試験合格者			3 月号
県ドクターズテニス大会(春期)のお知らせ			4 月号
宮崎県医師会勤務医住宅ローン融資利率の改定について			4 , 10月号
入会時負担金の変更について			4 月号
医家芸術展作品募集!			5 , 6 月号
診療科名の標榜方法が変わりました			5 , 6 月号
はまゆう随筆原稿募集			5 , 6 月号
諸会費の決定について			5 月号
クールビズについて			6 , 7 , 9月号
会員交流用メーリングリスト加入のご案内			6 月号
予告)宮崎県医師会親善ゴルフ大会			7 , 9月号
お盆期間中も開館しています			8 月号
宮大医学部学生からのお知らせ「心の声を聴かせてください」			8 , 9月号
生命を見つめるフォトコンテスト作品募集			8 , 9月号
本年 10月, 政管健保は「協会けんぽ」に変わります			9 月号

新春随想原稿募集	10, 11月号
宮崎県ドクターズテニスクラブ秋の大会(都城)開催のお知らせ	10月号
宮大医学部学生からのお知らせ - 第4回清花祭	10, 11月号
宮崎社会保険事務局(保険課医療係)の移転について	10月号
日医認定医療秘書養成制度の卒業生求職のお願い!	12月号
診療報酬引当融資及び互助会基金引当融資の金利改定について	12月号
年末・年始の休館について	12月号

## お 知 ら せ

## 年末・年始の休館について

県医師会館(医師会, 医師国保, 医師協同組合・エムエムエスシー, 病院厚生年金基金)は年末・年始休業のため, 下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

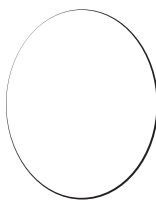
記

期 間 平成 20年 12月 28日(日) ~ 平成 21年 1月 4日(日)

緊急連絡先 総 務 課 長 0 9 0 -3 3 2 5 -4 2 5 7

事務局次長 0 8 0 -1 7 0 5 -5 8 3 0

事 務 局 長 0 9 0 -8 4 1 2 -6 7 6 7



前回のあとがきで「名古屋でなくてよかった」と失言された方が首相になられ、今後を危惧いたしておりました。やはり...でした。漢字が苦手なようで「未曾有(みぞゆう)」「詳細(ようさい)」「頻繁(はんざつ)」「踏襲(ふしゅう)」と読まれたそうです。いずれ増税と言いながら国民の多くが望んでいない「生活支援定額給付金」をばらまくようです。

さらに私達にとって許せないのは11月19日、首相官邸での全国知事会議で、地方の医師不足問題に関連し「社会的常識がかなり欠落している人(医者)が多い。とにかくものすごく価値判断が違う」、「これだけ(医師不足が)激しくなってくれば、責任は医者の方にある話じゃないか」と述べたことです。後に日本医師会長の抗議に自身の発言を撤回、陳謝されましたが、思っていないことが口から出るはずはありません。宮崎市郡医師会病院の内科入院ができなくなり、医療崩壊が対岸の火事ではなくなりました。救急などの最前線で頑張っておられる医師の方々はこの発言にどれ程がっかりされたことでしょうか。

私ども広報委員会でも県内のマスコミ関係者と「宮崎の医療を考える会」を開催し宮崎の医療崩壊に対し何かできないか模索中です。私も漢字の読み書きは苦手ですし、どれほど社会的常識があるのかと問われて胸を張るほどの自信もありませんが、日本のトップの「医療崩壊」の認識がこれではと暗い気持ちになりました。(田坂)

先々週、2か月以上かけて作り上げた学園祭が終わりました。みなさんは清花祭に来られましたでしょうか？ 自分は今、任せられた年齢企画を成功のうちにやりきれた達成感に浸っています。学園祭の運営に関わるとただ楽しむのとは違い、いろいろなものが見えました。大変でしたが、本当にいい経験ができたと思っています。(望月)

今年の学祭も無事終了しました。我がMMC(宮崎メディカルサークル)は、ヘルシースイーツを提供させて頂きました。ローカロリーのキャロットケーキ、洋梨を煮詰めたお菓子、カボチャ90%のカボチャプリンと、お陰様で全て完売しました。来年はさらにパワーアップしたものを提供したいと考えていますので、皆様是非ご来場ください。(川崎)

どうやら総選挙は来年春まではなさそうですね。与党自身の選挙調査が負けそうと出たらしい。勝てそうなデータが出てこない限り任期切れ選挙になるかもしれません。こうなると与野党ともに必死でしょう。公約が空手形にならないように十分に見定めたいものです。今回は我々にとっても重大な選挙です。医療崩壊を食い止めることができるかできないか、冷静に見極めたいものです。(済陽)

米1石はおよそ180リットル。1人を1年間養える量を意味するそうです。雨二モマケズの主人公が食す1日に4合の玄米、これは年間210kgに相当します。日本人はそんなにも米を食べてきました。でも最近の消費量は年間60kg弱にすぎません。工業立国の道を選んで以来、我が国は米の生産と消費を拡大する政策を放棄しました。その結果、縄文から営々と受け継がれた水田は荒廃し、メタボの時代を迎えています。WTOのドーハ・ラウンドが年内大枠合意を誓約したとか。米の行く末が心配です。(荒木康)

お産を取り扱う病院が昨年从今年にかけて全国で8%(104施設)減ったことが、日本産婦人科医学会の調査でわかりました。宮崎は、周産期システムが全国的に模範にされるほどうまくいっている地域ですが、これは宮崎大学産婦人科が長年かけて構築したソフト+ハードの受入れ態勢のみならず、開業しておられる先生方のたゆまぬ努力と協力による賜物といえます。とはいえ、開業の先生方の平均年齢の上昇化、大学病院の人手不足など将来的な不安は否めません。重症妊婦の受け入れが、たびたび問題になる昨今、ごくあたりまえなことですが、女性が安心して身籠もれる社会を皆で維持しなくてはなりません。(和田)

スティーヴン・オッペンハンマーの人類の移動に関する著書によると現生人類は、全て、アフリカに起源を持つそうです。ミトコンドリアDNAの塩基配列に基づいた系統樹が過去10万年以内のアフリカへとまっすぐつながっているそうです。一方、尾田博先生は地球上に有機物質が発生した40億年前の時代から哲学的思考をめぐらせ、生命の起源を模索しています。先生御自身最新の著書「卵が先か鶏が先か」の中でデカルトの如く「我は何故居るのだろうか」と自問されています。私も考えてしまいます。

What men live by? (川野)

12月になると我が家ではクリスマスツリーの飾り付けが始まり、子供達も何やらウキウキしています。特に小学校1年の娘は、サンタさんにどんなプレゼントをお願いするか、毎日真剣に悩んでいます。もし自分がサンタさんにプレゼントをお願いするなら...まっすぐ300ヤードを飛ばせる魔法のドライバー！はたまた、あっという間に痩せちゃう健康マシーン！それとも、まとまったお休み...？んー...現実逃避しか頭に浮かばない...。(坪井)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 日州医談 公益法人制度改革について(最終回)

立元先生が3回にわたり解説して下さった公益法人制度改革の最終回です。現状から想定される問題点等を教唆いただいています。制度が変わるということは何かと難しいものですね。

4 ページ

## 旅行記 スタンド・バイ・ミー

学生時代に、やり残したことへの挑戦。それも充分トレーニングを積んだ上で、自転車。飽くなきチャレンジャー精神とノスタルジアが奏でる、川野先生の素敵な物語です。

6 ページ

## 診療メモ 自傷行為(リストカット)

日常診療で自傷行為に遭遇し困惑することが多くなったような気がします。疾患背景や基本的な考え方について、古郷先生が丁寧に解説して下さいました。

68ページ

日 州 医 事 第 712号 (平成 20年 12月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 社 団 法 人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 荒木 康彦・副 委 員 長 和田 俊朗

委 員 津守伸一郎, 下園 孝司, 尾田 朋樹, 眞川 昌大, 酒井 克也

川野啓一郎, 坪井 康浩, 田坂 裕保, 望月 直矢, 川崎真由美

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 久永 夏樹, 小川 道隆

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)